

平成19年度
飯能市消費動向調査報告書

駿河台大学
飯能信用金庫
飯能商工会議所
飯能市役所

目 次

第1章 調査の実施概要	1
1. 調査方法の概要	1
2. 調査対象者の概要	3
3. 調査対象商品	5
4. 調査資料利用上の注意	6
第2章 飯能市の商圈動向	7
1. 飯能市商業の動向	7
(1) 大規模小売店舗等一覧表	7
(2) 飯能市小売業の推移	8
(3) 飯能市小売業の規模と店舗効率	9
(4) 埼玉県内小売業の吸引率と充足度	10
(5) 商品群別の市内吸引率と市外流出率	11
2. 飯能市の商圈	13
(1) 飯能市の商業集積地別の商圈	13
(2) 商品群別、商業集積地別吸引率	14
3. 商業集積地別の概要	16
(1) 飯能地区	16
(2) 精明地区	17
(3) 加治地区	19
(4) 南高麗地区	20
(5) 吾野地区	22
(6) 東吾野地区	23
(7) 原市場地区	25
(8) 名栗地区	26
第3章 飯能市民の買物行動	28
1. 消費者の買物行動	28
(1) 1週間の買物回数	28
(2) 1回の買物の平均予算	29
(3) 買物時によく利用する交通手段	30
(4) 普段買物をする主な時間帯（平日）	31
(5) 普段買物をする主な時間帯（土日・祝日）	32
(6) パソコンの保有状況とインターネットの利用状況	33
(7) 通信販売の利用状況	34
(8) 通信販売を主に利用している媒体	35
(9) 通信販売で購入する商品	36
2. 商店街の利用状況と改善課題	37
(1) 地元商店街の利用状況	37
(2) 地元商店街の改善課題	38
(3) 消費者の動向と意識	39
(4) 商業者の取組姿勢	44

第4章 消費者の意見、要望	45
1. 自由回答の傾向	45
2. 主な自由回答	48
第5章 資料編	67
1. 飯能市の人口と世帯	67
2. 飯能市各地区の人口ピラミッド	69
3. アンケート調査表	73

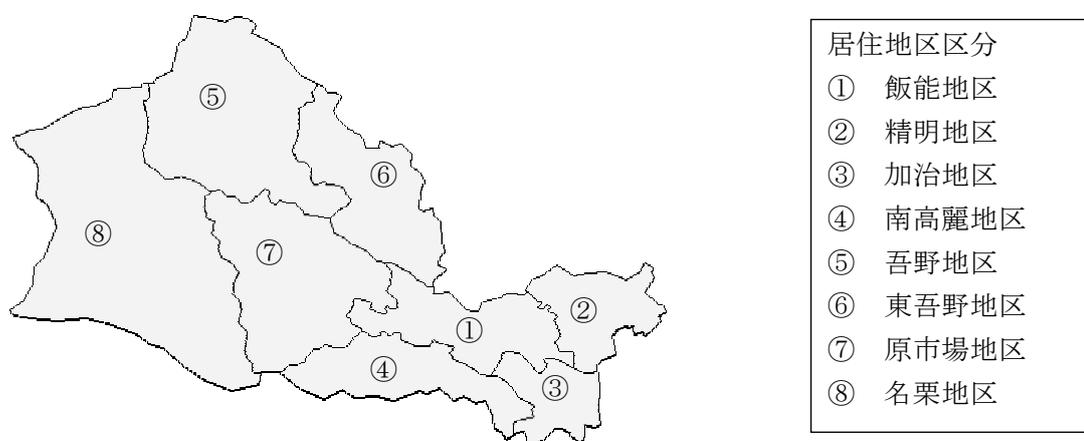
第1章 調査の実施概要

1. 調査方法の概要

- (1)調査実施期間 平成19年11月16日～11月30日
- (2)調査地域 飯能市全域
- (3)調査対象 飯能市に居住する世帯
- (4)調査方法 郵送法による自記式アンケート調査
- (5)調査対象の抽出と回収状況

①抽出方法 平成19年10月1日現在の飯能市の住民基本台帳から、図1-1の8地区の居住地区別に等間隔抽出法により2,000世帯を抽出しました。

図1-1 飯能市内の8居住地区図



②回収状況 配布先：2,000世帯 回収枚数：897枚 回収率：44.9%

③総計回収数に対する各地域の割合

飯能市の地区別回収枚数については、表1-1のとおりです。

表1-1 飯能市の地区別回収枚数等 (%)

地域	回収枚数	構成比	備考
1. 飯能	211	23.5	
2. 精明	141	15.7	
3. 加治	224	25.0	
4. 南高麗	31	3.5	
5. 吾野	53	5.9	
6. 東吾野	54	6.0	
7. 原市場	119	13.3	
8. 名栗	50	5.6	
9. 無回答	14	1.6	
総計	897	100.0	

(6)居住地区及び商業集積地(買物場所)区分

①飯能市居住地区と含まれる町名

図 1-1 の飯能市居住地区に含まれる町名は、表 1-2 のとおりです。町名の番号は巻末のアンケート調査表に対応しています。

表 1-2 飯能市居住地区と町名

居住地区	町名					
1. 飯能	101. 山手町	102. 本町	103. 八幡町	104. 東町	105. 柳町	106. 仲町
	201. 稲荷町	202. 南町	301. 栄町	302. 緑町	401. 中山	402. 新町
	403. 原町	501. 飯能	502. 久下	503. 久須美	504. 小瀬戸	
	505. 永田	506. 永田台	507. 小岩井	508. 大河原		
2. 精明	601. 下加治	602. 小久保	603. 宮沢	604. 平松	605. 川崎	606. 下川崎
	607. 新光	608. 芦荻場	609. 双柳	610. 青木	611. 中居	
3. 加治	701. 岩沢	702. 笠縫	703. 川寺	704. 阿須	705. 落合	706. 前ヶ貫
	707. 矢嵐	708. 征矢町	709. 美杉台			
4. 南高麗	801. 岩渕	802. 下畑	803. 上畑	804. 荻生	805. 下直竹	
	806. 上直竹下分		807. 上直竹上分			
5. 吾野	901. 坂石町分	902. 坂石	903. 吾野	904. 上長沢	905. 高山	
	906. 北川	907. 坂元	908. 南川			
6. 東吾野	1001. 白子	1002. 平戸	1003. 虎秀	1004. 井上	1005. 長沢	
7. 原市場	1101. 原市場	1102. 下赤工	1103. 上赤工	1104. 赤沢	1105. 唐竹	
	1106. 中藤下郷	1107. 中藤中郷	1108. 中藤上郷		1109. 南	
8. 名栗	1201. 上名栗	1202. 下名栗				

(飯能地区の詳細居住地区)

飯能地区を詳細にみると、①西武池袋線、西武秩父線、八高線と飯能河原に囲まれた中心市街地、②その南側、③その東側、④その北側、⑤その西側の5つに区分することができます。中心市街地は、3つの鉄道線路に囲まれて踏切があることが交通のネックと考えられます。この踏切は、消費行動におけるバリアを形成しているとの視点での分析も必要と考えられます。表 1-3 は飯能地区の詳細区分です。

表 1-3 飯能地区詳細区分

居住地区名	詳細区分	町名			
飯能	①中心市街地	101. 山手町	102. 本町	103. 八幡町	104. 東町
		105. 柳町	106. 仲町		
	②中心市街地南	201. 稲荷町	202. 南町		
	③中心市街地東	301. 栄町	302. 緑町		
	④中心市街地北	401. 中山	402. 新町	403. 原町	
⑤中心市街地西	501. 飯能	502. 久下	503. 久須美	504. 小瀬戸	
	505. 永田	506. 永田台	507. 小岩井	508. 大河原	

②飯能市商業集積地(買物場所)

飯能市内には、商店街や大型店舗が出店していますが、分布状況を居住地区と飯能地区の詳細区分で見ますと、表 1-4 のとおり、飯能地区に集中していることがわかります。

表 1-4 飯能市商業集積地 (平成 19 年 11 月 1 日現在)

地区名	地詳細区分	商店街・大型店 (名称等)
1. 飯 能	中心市街地	飯能地区の商店街 西武飯能ペペ 丸広百貨店飯能店 ヤオコー飯能店 高橋ストア ウェルシア薬局飯能柳町店
	中心市街地南	サビア (いなげや) ウェルパーク飯能稲荷町店
	中心市街地東	ビッグ・A 緑町店 ベルク緑町店 島忠エッサン飯能店 セキド飯能店 バイゴー飯能緑町店
	中心市街地北	バイゴー中山店
	中心市街地西	バイゴー飯能永田店
2. 精 明		コピー飯能新光店 スーパービバホーム狭山日高インター飯能店
3. 加 治		ジャパンホームバリュー飯能店 カインズホーム飯能店
4. 南高麗		バイゴー岩淵店
5. 吾 野		-
6. 東吾野		バイゴー東吾野店
7. 原市場		エコス原市場店 バイゴー原市場店
8. 名 栗		-

2. 調査対象者の概要

(1) 職業構成

調査対象世帯の主たる収入のある方の職業は、表 1-5 のとおりで、給与所得者が 56.4%と過半数を占めています。

表 1-5 主収入のある方の職業区分 (%)

給 与 所 得 者 (勤 務 地 別)					商 工 自 営 業	自 由 業	農 業	そ の 他	計
飯 能 市 内	県 内 他 都 市	東 京 23 区 内	東 京 都 下	そ の 他 県 外					
15.7	20.5	8.1	9.5	2.6	7.6	5.4	0.4	30.1	100.0

①年齢構成

主に買物されている方の年代は、表 1-6 のとおりですが、50～60 歳代が半数を占めています。

表 1-6 主に買物をする年代の比率 (%)

20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	計
2.5	11.7	18.8	25.5	26.2	15.3	100.0

②買物担当者の有職状況

買い物担当者が有給の仕事に就いているかどうかの状況は、表 1-7 のとおりとなっています。

仕事に就いていない比率が 53.3%と過半数を若干上回っています。

有職者では、40 歳代の比率が 74.1%と特に高くなっています。

表 1-7 買物担当者の有職状況 (%)

区 分	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代以上	計
就業あり	65.0	52.4	74.1	64.0	25.8	7.5	46.7
就業なし	35.0	47.6	25.9	36.0	74.2	92.5	53.3

3. 調査対象商品

埼玉県が実施している「広域消費動向調査」と同基準として、食品群は商品 5 群 22 商品(表 1-8 参照)、買物行動特性は独自に 1 群 6 項目(表 1-9 参照)に分類しています。

表 1-8 商品区分表

品物一覧(買物品目)		
A 群	1	肉・魚・野菜・果物
	2	一般の飲食料品
	3	調理済み食品(総菜、弁当等)
	4	日用・家庭雑貨
B 群	5	呉服・反物
	6	寝具
	7	紳士服・紳士用品雑貨
	8	婦人服・婦人用品雑貨
	9	子供服・ベビー服
	10	下着・肌着
C 群	11	靴・はきもの
	12	カバン・ハンドバッグ
D 群	13	家具・インテリア
	14	家庭用電気機器(パソコン含む)
	15	自転車
E 群	16	時計・カメラ・メガネ
	17	医薬品・化粧品
	18	書籍・文具類
	19	楽器・CD
	20	玩具(おもちゃ)
	21	スポーツ用品
	22	園芸用品・花木・生花

表 1-9 買物行動特性区分

F 群	23	家族で買物を楽しむ場合
	24	飲食(外食)を楽しむ場合
	25	新しい流行を知る場合
	26	サービス(理美容・旅行会社等)を利用する場合
	27	病院を利用する場合
	28	塾・おけいこごと等を利用する場合

4. 調査資料利用上の注意

本文中の集計方法や用語は次のとおりです。

(1)比率

集計結果は、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを算出していますので、合計欄が100.0にならない場合があります。

(2)集計単位

「市全体」「居住地区別」「商業集積地別」「買物年代別」に集計しています。

(3)使用した用語

①吸引率

全市の吸引率は、市民が飯能市内の商店街などの商業集積地で買物する割合のことであり、算式は次のとおりです。

$$\text{吸引率(\%)} = \text{買物世帯数} \div \text{調査回答世帯数} \times 100$$

居住地区別吸引率は、居住者が同一地区内にある商業集積地で買物をする割合のことであり、算式は上記の全市と同じです。

②流出率

全市の流出率は、市民が飯能市以外の都市の商店街などの商業集積地で買物する割合のことであり、算式は次のとおりです。

$$\text{流出率(\%)} = \text{他市での買物世帯数} \div \text{調査回答世帯数} \times 100$$

居住地区別吸引率は、居住者が住んでいる地区以外の他の地区の商業集積地で買物をする割合のことであり、算式は上記の全市と同じです。

(4)商圈区分

①商圈範囲

商圈区分を区分する目安として、表 1-10 記載の商圈基準を用いています。

表 1-10 商圈区分

商 圏 区 分	商 圏 基 準
地域型商圈	市内の全居住地区（8地区）から5%以上吸引している商圈
準地域型商圈	4居住地区から5%以上吸引している商圈
近隣型商圈	吸引率5%以上が3居住地区以下の商圈

②商圈力

同じ商圈でも、吸引率の程度によって、商圈としての安定度が異なります。その力関係を示す用語として「第1次商圈」、「第2次商圈」などの呼称があります。

- ・第1次商圈：吸引率20%以上の地区
- ・第2次商圈：吸引率5%以上に0%未満の地区

第2章 飯能市の商圈動向

1. 飯能市商業の動向

(1)大規模小売店舗等一覧表

飯能市の平成19年11月1日現在の大規模小売店舗等は表2-1のとおりです。

表2-1 飯能市の大規模小売店舗等一覧 (㎡)

地区	大型店	所在地	取扱品目	開店年	面積	
飯能	中心市街地	西武飯能ペペ	仲町 25-2 外	総合	H4.10	7,200
		丸広百貨店飯能店	柳町 22-11	総合	S36.3	10,120
		ヤオコー飯能店	東町 32-1	食品	—	—
		高橋ストア	本町 13-4	食品	—	—
		ウェルシア薬局飯能柳町店	柳町 15-6	医薬品	—	—
	同 南	サビア (いなげや)	南町 9-23	食品・衣料品・身回品他	H3.5	9,046
		ウェルパーク飯能稲荷町店	稲荷町 15-7	医薬品	H9.11	—
	同 東	ベルク緑町店	緑町 24-2 外	食品・身回品・医薬品	H3.6	2,203
		島忠エッサン飯能店	緑町 18-9	DI 関連用品・家庭用品	S55.7	1,480
		ビッグ・A 飯能緑店	緑町 15-4	食品	—	—
セキド飯能店		緑町 2-6	家電・情報通信機器	—	—	
バイゴー飯能緑町店		緑町 12-1	医薬品	—	—	
同 北	バイゴー中山店	中山 421-1	医薬品	—	—	
同 西	バイゴー飯能永田店	永田 68-7	医薬品	—	—	
精明	コピー飯能新光店	新光 1-1 外	食品・医薬品・衣料品	H16.6	—	
	スーパービバホーム狭山日高	芦荻場字中原 446	DI 関連用品・家庭用品	H19.6	—	
	インター飯能店					
加治	ジャパンホームバリュー飯能店	川寺 215-1	DI 関連用品・家庭用品	S52.6	4,421	
	カインズホーム飯能店	阿須 812-55	DI 関連用品・家庭用品	H12.11	4,893	
南高麗	バイゴー岩淵店	岩淵 480-2	医薬品	—	—	
吾野	—					
東吾野	バイゴー東吾野店	白子 361	医薬品	—	—	
原市場	エコス原市場店	上赤工峯ノ北 32-1	食品	—	—	
	バイゴー原市場店	下赤工 651-1	医薬品	—	—	
名栗	—					

(注)この一覧表は、調査実施時の一覧表となっているため、現在と相違する場合がある。

(参考)(平成16年以降の大規模小売店舗の開・閉店状況)

- | | | |
|----|---------|----------------------|
| 開店 | 平成16年6月 | コピー飯能新光店 (アルプス飯能店) |
| | 平成19年6月 | スーパービバホーム狭山日高インター飯能店 |
| 閉店 | 平成18年4月 | 丸広百貨店東飯能店 |
| | 平成19年秋 | サトームセン飯能店 |

(近隣市における大型店の出店予定)

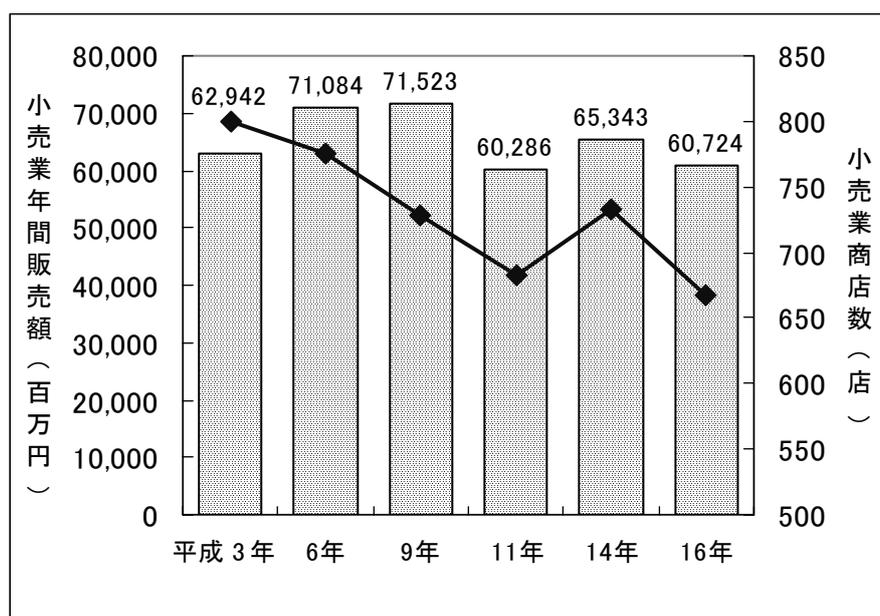
- | | |
|---------|----------------------------|
| 平成20年4月 | コストコホーム入間倉庫店・三井アウトレットパーク入間 |
|---------|----------------------------|

(2)飯能市小売業の推移

飯能市小売業の店舗数は、図 2-1 の折線グラフ(右目盛)のとおり、全体的に減少傾向にあります。平成 14 年には増加しているものの、平成 16 年の店舗数は 668 店となっており、平成 3 年の店舗数 800 店と比べ 16.5%減少しています。

年間販売額は、下表棒グラフ(左目盛)の平成 9 年の 71,523 百万円をピークに全体として減少傾向がみられるものの、平成 11 年以降はほぼ横ばいとみることができます。

図 2-1 飯能市内の小売業の店舗数・年間販売額の推移



(出所：平成 16 年埼玉県商業統計調査)

また、飯能市内の小売業の推移は、表 2-2 のとおりとなっており、店舗数・従業員数・年間販売額・売場面積の 4 項目についてみますと、平成 9 年には店舗数、従業員数が減少したものの、売場面積、年間販売額は増加しています。

その後の 4 指標は、平成 11 年にすべてが減少し、平成 14 年にはすべてが増加に転じ、平成 16 年には再度すべてが減少となるなど上下動しています。

表 2-2 飯能市の小売業の推移 (単位：店・人・万円・㎡)

年	店舗数	従業員数	年間販売額	販売面積	備考
平成 3 年	800	4,034	6,294,224	58,637	網掛けは、ピーク値
6 年	775	4,523	7,108,352	76,268	
9 年	729	4,489	7,152,256	82,746	
11 年	682	4,366	6,028,595	64,535	
14 年	733	4,760	6,534,307	91,385	
16 年	668	4,654	6,072,358	86,604	

(出所：平成 16 年埼玉県商業統計調査)

(3)飯能市小売業の規模と店舗効率

①飯能市と近隣3市及び県内の商店の状況

平成16年の飯能市の商店数、従業員数、年間販売額、売場面積を、近隣市(入間市・狭山市・所沢市)及び埼玉県計と比較しますと、表2-3のとおりとなっており、飯能市の年間販売額と売場面積などは、近隣市と比べ規模が小さいことがわかります。

表2-3 商店数・従業員数・年間販売額・売場面積の状況

項目	飯能市	入間市	狭山市	所沢市	埼玉県計
商店数(店)	668	994	1,006	1,808	45,527
従業員数(人)	4,654	7,788	7,149	15,321	348,040
年間販売額(百万円)	60,724	132,283	114,691	284,728	6,056,135
売場面積(m ²)	86,604	149,791	134,883	289,649	6,421,499

(出所：平成16年埼玉県商業統計調査)

②1店舗当りの従業員数・年間販売額・売場面積の比較

小売業の大型化の指標のひとつである1店舗当りの従業員数・年間販売額・売場面積について、飯能市と近隣3市及び県平均と比較しますと、表2-4のとおりとなっています。飯能市の3項目の値は、近隣3市の中でも最も低く、県平均をも下回っており、小売業の大型化は近隣3市の方が進展していることがわかります。

近隣市の所沢市と入間市は、3指標とも県平均を上回り、小売業の大型化の進展がうかがわれます。

表2-4 1店舗当りの従業員数・年間販売額・売場面積

項目	飯能市	入間市	狭山市	所沢市	県平均
従業員数(人)	7.0	7.8	7.1	8.5	7.6
年間販売額(百万円)	90.9	133.1	114.0	157.5	133.0
売場面積(m ²)	129.6	150.7	134.1	160.2	141.0

(出所：平成16年埼玉県商業統計調査)

③小売業の販売効率(生産性)

小売業の販売効率(生産性)を示す指標である従業員1人当りの年間販売額や、売場面積当りの年間販売額について、近隣3市と県平均と比較してみますと2指標とも最も低い値であり、売場の生産性は低位にあります。

表2-5 従業員1人当りと売場面積当りの年間販売額(百万円/人・百万円/m²)

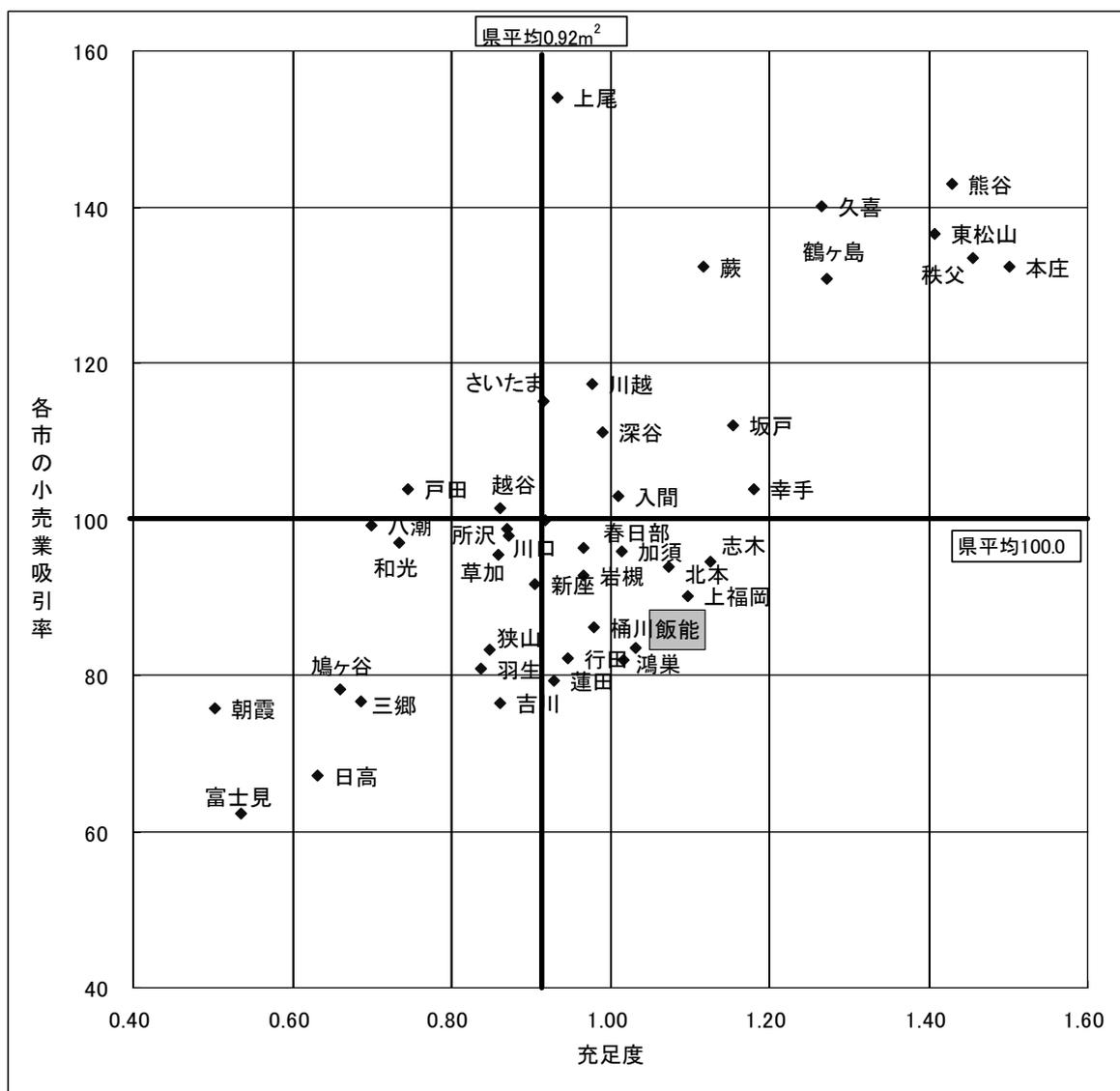
項目	飯能市	入間市	狭山市	所沢市	県平均
従業員一人当たり	13.0	17.0	16.0	18.6	17.4
売場面積(m ²)当たり	0.70	0.88	0.85	0.98	0.94

(出所：平成16年埼玉県商業統計調査)

(4)埼玉県内小売業の吸引率と充足度

埼玉県内の市部における小売業の吸引率と充足度について、小売業吸引率を縦軸とし小売業充足度を横軸とした図 2 - 2 でその相関関係をみると、充足度が高い都市ほど小売吸引率が高く、他市からの買物人口が流入する傾向が高いことがわかります。

飯能市の小売充足度は 1.03m²/人、小売吸引率は 84%であり、充足度は県平均を上回るものの、吸引率が低いことから買い物客は他市に流出していることがわかります。



(注)・「小売業充足度」は、都市商業の充足の程度を見る指標である。数値が高いほど、消費者の買物利便性が高いとされている。 小売業充足度(%) = 売場面積/人口

・「小売業吸引率」は、都市小売業の販売力の程度を見る指標である。当該都市の1人当たり販売額を県民1人当たり販売額で割ったもので示す。100以上なら他都市から買物人口が流入していることを表す。人口は平成16年度末。

$$\text{小売業吸引率}(\%) = (\text{当該市の年間販売額} / \text{当該市の人口}) / (\text{県の年間販売額} / \text{県の人口}) \times 100$$

(5)商品群別の市内吸引率と市外流出率

今回調査で飯能市民の日用品や衣類など商品別に購入する主な場所は、表 2-6 のような結果となっています。飯能市全体でみると、市内で買物をする比率（すなわち、飯能市内の吸引率）は、72.1%となっており、飯能市以外の都市で買物をする比率（すなわち、市外流出率）は、27.9%となっています。

流出先は、県内 16.4%(入間市 7.5%、所沢等 8.9%)、東京都内 10.0%(新宿・池袋等の都区部 4.6%、青梅市・瑞穂町等都下 5.4%)、その他県外が 1.4%となっています。

表 2-6 商品総合からみた市内吸引率・市外流出率（%）

商品群	市内 吸引率	市外 流出率	入間市	県内 他市	東京都 都区部	東京 都下	その他 県外
肉・魚・野菜・果物	91.1	8.9	3.2	4.4	0.0	1.3	0.0
一般の飲食品	91.5	8.5	3.4	4.2	0.0	0.8	0.1
調理済み食品(惣菜、弁当等)	91.0	9.0	3.5	4.1	0.2	1.2	0.0
日用・家庭雑貨	93.8	6.2	0.7	3.4	0.1	1.9	0.0
A 群 計	91.9	8.1	2.7	4.0	0.1	1.3	0.0
呉服・反物	64.9	35.1	2.6	11.6	11.2	5.7	3.9
寝具	65.8	34.2	13.1	10.3	3.0	6.0	1.8
紳士服・紳士用品雑貨	56.4	43.5	11.3	13.2	8.1	9.1	2.0
婦人服・婦人用品雑貨	56.0	44.0	12.1	11.0	8.9	10.3	1.7
子供服・ベビー服	57.1	42.9	18.4	8.1	4.4	11.6	0.4
下着・肌着	66.8	33.2	15.0	8.4	2.7	6.5	0.5
B 群 計	60.8	39.2	12.8	10.4	6.1	8.4	1.5
靴・はきもの	64.0	36.0	6.8	10.1	9.5	7.1	2.5
カバン・ハンドバッグ	45.7	54.3	9.2	10.1	19.6	9.7	5.7
C 群 計	56.3	43.7	7.8	10.1	13.7	8.2	3.8
家具・インテリア	43.2	57.8	18.1	19.1	5.7	9.3	4.7
家庭用電気機器	55.1	44.9	8.8	21.8	4.1	8.5	1.6
自転車	87.9	12.1	2.4	3.4	0.9	4.7	0.8
D 群 計	60.7	39.3	9.7	16.0	3.7	7.7	2.3
時計・カメラ・メガネ	64.6	35.4	3.5	11.3	13.1	5.1	2.4
医薬品・化粧品	92.1	8.9	1.8	3.2	0.8	1.5	0.5
書籍・文具類	77.7	22.3	7.5	6.4	4.0	3.4	1.0
楽器・CD	61.7	38.3	12.7	8.3	8.1	6.2	3.0
玩具(おもちゃ)	50.5	49.5	28.5	7.3	4.4	6.2	3.1
スポーツ用品	51.6	48.4	5.2	20.3	10.5	9.7	2.7
園芸用品・花木・生花	87.5	14.3	1.2	8.6	0.0	4.5	0.0
E 群 計	73.6	26.3	6.3	8.7	5.0	4.8	1.5
商品総合	72.1	27.9	7.5	8.9	4.6	5.4	1.4

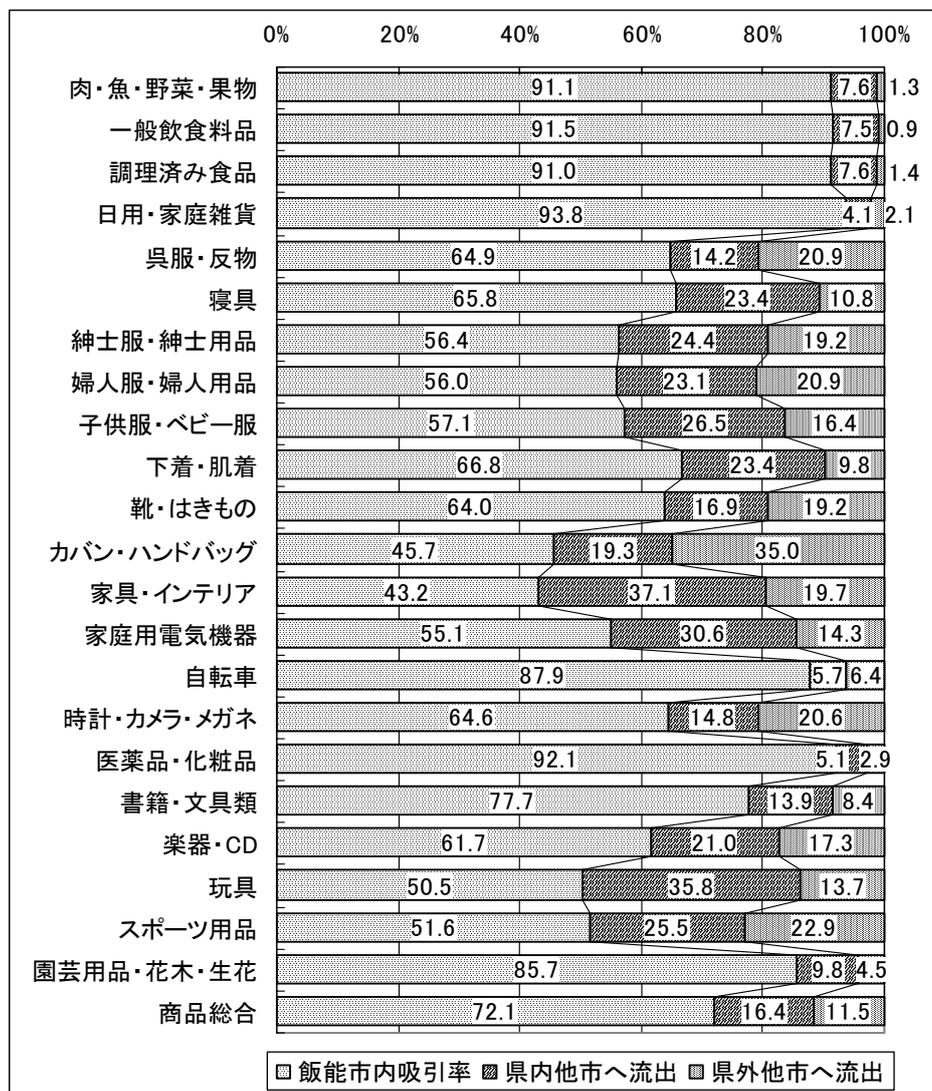
商品別の市内吸引率について図 2-3 のグラフでみると、生鮮食料品や一般食料品など A 群に属する商品群と、D 群の医薬品・化粧品が 90% を超える高い率となっており、自転車や園芸用品、書籍・文房具なども 80% 前後と市内での購入率が高くなっていますが、これらの商品はいずれも最寄品となっています。

一方、買回り品である B・C 群などの市内吸引率は、55~60% 前後と低くなっており、市外への流出率が高くなっています。

市外流出の多い商品としては、①カバン・ハンドバッグ：県外 35.0%・県内 19.3%、②玩具：県内 35.8%・県外 13.7%、③スポーツ用品：県内 25.5%・県外 22.9%、④婦人服・婦人用品：県内 23.1%・県外 20.9%、⑤紳士服・紳士用品：県内 24.4%・県外 19.2%などがあげられます。

これら買回り品の流出先は、入間市や所沢市など県内都市のほか、新宿・池袋などの東京都区部、瑞穂町・立川市・八王子市などの東京都下が多くなっています。

図 2-3 商品別の市内吸引率と市外流出率の比較



2. 飯能市の商圈

(1) 飯能市の商業集積地別の商圈

① 居住地区別吸引率と商圈区分

市内全域と市外の小売吸引率の他に、市内8居住地区からどの商業集積地に買物に行くのか、各地区間の相関的な吸引率については、表2-8のとおりとなっています。この場合、商業集積地(買物をする場所)として、居住地区を区分し直しています。

表2-8 各地区間における吸引率 (%)

区 分	居 住 地 区									
	商業集積地	飯能	精明	加治	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市全体
飯能		70.0	46.5	51.8	62.8	46.7	44.2	48.8	48.7	54.2
精明		2.6	13.9	3.1	1.8	0.7	2.1	1.6	1.3	4.7
加治		5.5	4.9	14.1	8.9	2.5	5.1	6.4	6.1	8.3
南高麗		0.1	0.0	1.0	6.0	0.0	0.2	0.1	0.2	0.6
吾野		0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.5	0.0	0.0	0.2
東吾野		0.1	0.0	0.0	0.0	7.7	12.3	0.1	0.0	0.7
原市場		0.4	0.1	0.0	1.8	0.0	0.0	17.8	18.3	3.3
名栗		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	0.1
飯能市内吸引率		78.7	65.4	70.1	81.3	61.4	64.3	74.9	77.4	72.1
飯能市外流出率		21.3	34.6	29.9	18.8	38.6	35.7	25.1	22.6	27.9
入間市		4.4	13.9	10.0	1.8	1.2	3.8	4.2	5.2	7.5
県内他都市		6.6	13.4	7.0	0.9	25.6	27.5	6.1	1.8	8.9
東京都区内		5.0	3.1	5.6	3.9	4.5	3.4	5.0	1.6	4.6
東京都下		4.2	3.0	5.9	11.9	5.2	0.2	7.5	13.1	5.4
その他の県外都市		1.2	1.2	1.5	0.3	2.2	0.8	2.3	0.9	1.4

(注) 表の見方：左の商業集積地を主体に、居住地区とクロスする数値が吸引率。

例えば商業集積地「飯能」は、居住地区内「飯能」から70.0%、「精明」から46.5%、「名栗」から48.7%吸引していることを表す。網掛けは5%以上の吸引率である。

上記表2-8の8商業集積地の吸引率を、6ページの表1-10の「商圈区分の基準」に当てはめて分類しますと、市内の商業集積地は、表2-9の商圈区分となります。

表2-9 飯能市内の商圈区分

商 圏 基 準	商 業 集 積 地	商 圏 区 分
市内の全居住地区から5%以上吸引	飯能	地域型商圈
4居住地区から5%以上吸引	加治	準地域型商圈
吸引率5%以上が3居住地区以下	精明、南高麗、吾野、東吾野、原市場、名栗	近隣型商圈

②A群(食料品)からみた商圈

A群による地区別吸引状況をみると、表2-10のとおりとなっています。

地区によっては食品スーパーなどによる商業集積地を形成しているところもありますが、商業集積地「飯能」は商品総合と同様に、吸引率がひときわ高く、地域型商圈となっています。また、「加治」も商品総合と同様に準地域型商圈となっていますが、「精明」が準地域型商圈に区分されることになります。

なお、東吾野は吾野から、原市場は名栗からの買い物客の吸引率が高くなっているのが目立ちます。

表2-10 A群からみた商圈 (%)

区 分	居 住 地 区									
	商業集積地	飯能	精明	加治	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市全体
飯能		82.9	50.2	62.4	62.6	41.5	35.3	38.6	24.8	59.7
精明		5.7	37.0	8.3	3.3	0.6	5.2	3.1	2.9	11.3
加治		5.2	3.7	21.6	9.9	2.4	3.5	5.9	3.6	9.6
南高麗		0.0	0.0	1.4	15.4	0.0	0.6	0.5	0.7	1.0
吾野		0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	1.2	0.0	0.0	0.2
東吾野		0.1	0.0	0.0	0.0	16.5	26.0	0.5	0.0	1.5
原市場		1.4	0.0	0.0	4.4	0.0	0.0	44.2	49.3	8.3
名栗		0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	0.3
飯能市内吸引率		95.3	90.9	93.9	95.6	65.9	71.7	92.8	89.2	91.9
飯能市外流出率		4.7	9.1	6.1	4.4	34.1	28.3	7.2	10.8	8.1
入間市		1.3	3.7	4.5	1.1	0.0	2.3	1.5	3.6	2.7
県内他都市		2.1	4.8	0.5	0.0	32.3	26.0	3.6	0.7	4.0
東京都区内		0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
東京都下		1.1	0.6	0.9	3.3	1.8	0.0	2.1	6.5	1.3
その他の県外都市		0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注) 網掛け部分は、5%以上の吸引率である。

(2)商品群別、商業集積地別吸引率

商品群別の商業集積地の吸引率については、表2-11のとおりとなっています。

A群計では、飯能地区、精明地区、加治地区、原市場地区における吸引率が高くなっています。

B群計～E群計についても、飯能地区の吸引率が高いものとなっていますが、D群においては、加治地区が19.9%と比較的大きな比率となっていることが注目されます。

表 2-11 商品群別、商業集積地別吸引率 (%)

商品群区分	商業集積地								
	飯能	精明	加治	南高麗	吾野	東吾野	原市場	名栗	市内計
A群:食料品・日用雑貨	59.7	11.3	9.6	1.0	0.2	1.5	8.3	0.3	91.9
B群:衣料品・男女用品	53.7	2.1	3.9	0.0	0.1	0.0	0.9	0.0	60.8
C群:靴・カバン	53.6	0.3	2.3	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	56.3
D群:家具・家電・自転車	38.4	1.7	19.9	0.0	0.4	0.1	0.0	0.2	60.7
E群:医薬・化粧品・書籍・ 玩具・園芸品	57.2	3.3	7.8	1.1	0.0	1.1	3.1	0.0	73.6
商 品 総 合	54.2	4.7	8.3	0.6	0.2	0.7	3.3	0.1	72.1

(注) 網掛け部分は、5%以上の吸引率である。

3. 商業集積地別の概要

ここでは、各地区の居住者がどこの商業集積地に買物に行くかという流出比率と、その集積地にどの地区から買物に来るのかという流入比率を商品群別に算出しています。

(1) 飯能地区

① 飯能地区の居住者が買物に行く商業集積地について

飯能地区居住者が商品群毎に買物をする主な場所は、表 2-12、図 2-4 のとおりです。

表 2-12 飯能地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (%)

	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能(地元で買物)	82.9	65.3	61.9	49.3	73.9	70.0
精明	5.7	2.0	0.0	0.9	2.0	2.6
加治	5.2	3.1	2.5	16.4	4.1	5.5
南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
原市場	1.4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯能市内吸引率	95.3	70.5	64.4	66.6	80.7	78.7
飯能市外への流出率	4.7	29.5	35.6	33.4	19.3	21.3
入間市	1.3	6.4	5.0	8.2	3.8	4.4
その他県内都市	2.1	6.8	6.5	15.0	7.0	6.6
東京都区内	0.1	7.7	14.4	3.2	4.6	5.0
東京都下	1.1	7.4	6.8	5.6	2.8	4.2
その他県外都市	0.1	1.3	2.9	1.5	1.3	1.2

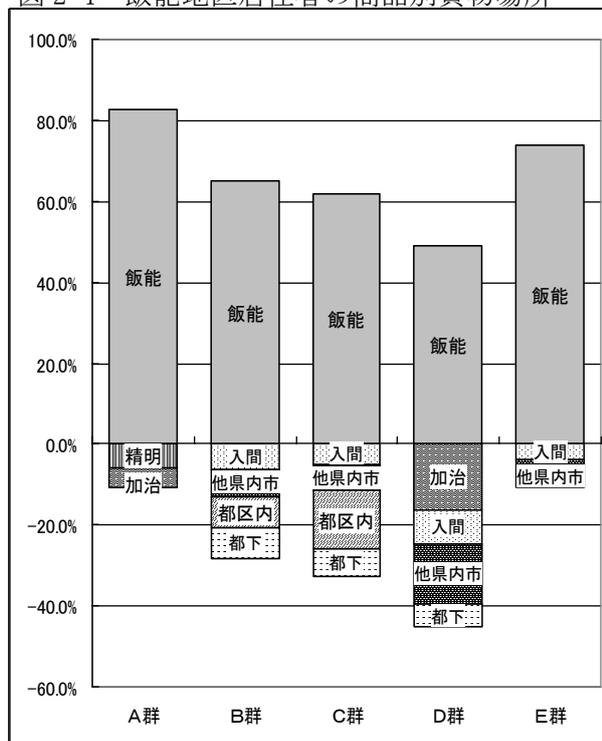
飯能地区居住者の地元購買比率は、商品総合で 70.0%と非常に高くなっています。この地区は、飯能市の中心市街地としての商業施設の集積度が高い地域であることが分かります。

商品群別では、A群(食料品・日用品等)の 82.9%が最高で、D群(家具・家電・自転車)が 49.3%と最低となっています。

飯能地区居住者の購買流出状況は、市内での流出は加治地区への流出率が 5.5%と比較的高く、市外への流出は、21.3%となっています。

商品群別では、C群(身の回り品)・D群の流出が高く、D群ではその他県内都市への流出率が 15.0%、C群では東京都区内(池袋・新宿)へ

図 2-4 飯能地区居住者の商品別買物場所



の流出率が14.4%と高くなっています。

②飯能地区への流入先

他の居住地区から飯能地区への流入状況は、表2-13のとおりとなっています。

商品総合では南高麗からの流入が62.8%と最も高くなっています。

商品群別では、A群では精明・加治・南高麗からの流入が高くなっています。B群・C群では、南高麗、名栗からの流入率が特に高く、D群では、全地区とも流入率は比較的低くなっています。

表2-13 各地区から飯能地区へ買物に来る割合(%)

飯能へ	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
精明	50.2	35.2	46.7	34.9	57.6	46.5
加治	62.4	49.0	45.7	31.1	56.1	51.8
南高麗	62.6	71.8	73.3	33.3	65.3	62.8
吾野	41.5	51.8	34.0	41.5	53.1	46.7
東吾野	35.3	56.6	56.6	35.2	42.7	44.2
原市場	38.6	58.5	59.1	39.0	51.2	48.8
名栗	24.8	68.5	71.4	38.3	50.6	48.7
市全体	59.7	53.7	53.6	38.4	60.1	55.2

(2)精明地区

①精明地区の居住者が買物に行く商業集積地について

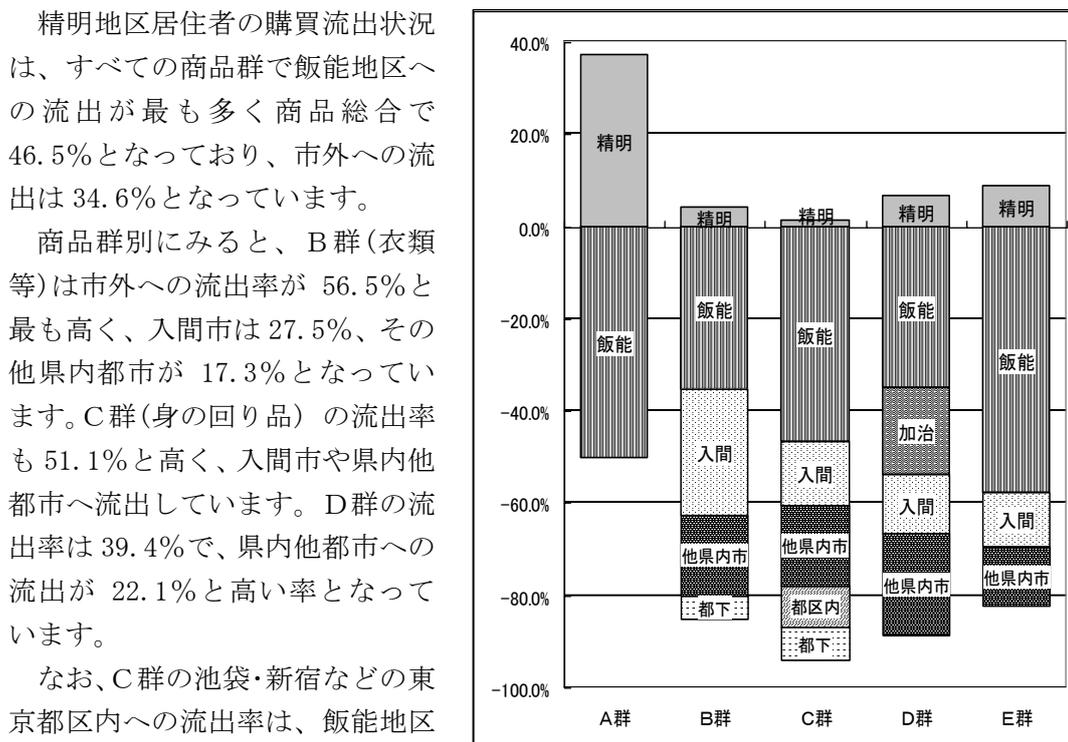
精明地区居住者の商品群毎に買物をする主な場所は、表2-14、図2-5のとおりです。

表2-14 精明地区居住者の商品群別にみた主な買物場所(%)

	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	50.2	35.2	46.7	34.9	57.6	46.5
精明(地元で買物)	37.0	4.3	1.1	6.8	8.6	13.9
加治	3.7	3.6	1.1	18.9	2.5	4.9
南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原市場	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯能市内吸引率	90.9	43.5	48.9	60.6	68.7	65.4
飯能市外への流出率	9.1	56.5	51.1	39.4	31.3	34.6
入間市	3.7	27.5	13.9	12.8	12.0	13.9
その他県内都市	4.8	17.3	17.5	22.1	12.8	13.4
東京都区内	0.0	4.3	8.7	1.8	3.4	3.1
東京都下	0.6	5.2	7.1	2.3	2.3	3.0
その他県外都市	0.0	2.2	3.8	0.5	0.8	1.2

精明地区居住者の地元購買比率は、商品総合で13.9%であり、商品群別にはA群(食料品・日用品等)は37.0%と最も高く、地区内の食品スーパーの利用が多いようですが、B群～E群の商品の地元購買率は低いものとなっています。

図 2-5 精明地区居住者の商品別買物場所



精明地区居住者の購買流出状況は、すべての商品群で飯能地区への流出が最も多く商品総合で46.5%となっており、市外への流出は34.6%となっています。

商品群別にみると、B群(衣類等)は市外への流出率が56.5%と最も高く、入間市は27.5%、その他県内都市が17.3%となっています。C群(身の回り品)の流出率も51.1%と高く、入間市や県内他都市へ流出しています。D群の流出率は39.4%で、県内他都市への流出が22.1%と高い率となっています。

なお、C群の池袋・新宿などの東京都区内への流出率は、飯能地区ほど高い比率とはなっていません。

②精明地区への流入先

他居住地区からの購買の流入状況は、表 2-15 のとおりとなっています。精明地区の商業施設の集積は食品スーパーのみと小さいことから、商品総合でも隣接する加治からの流入が高くて3.1%と、全体の流入率は4.5%と低いものとなっています。

5%以上を超える商品群別の流入比率は、A群の飯能・加治・東吾野の3地区であり、その他はすべて5%以下となっています。

表 2-15 各地区居住者が精明地区に来て買物する割合 (%)

精明へ	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	5.7	2.0	0.0	0.9	2.0	2.6
加治	8.3	1.5	0.0	0.5	1.9	3.1
南高麗	3.3	2.6	0.0	2.4	0.0	1.8
吾野	0.6	0.7	0.0	0.0	1.1	0.7
東吾野	5.2	2.1	0.0	0.0	0.5	2.1
原市場	3.1	0.9	0.8	0.0	1.5	1.6
名栗	2.9	1.6	0.0	0.0	0.6	1.3
市全体	11.3	2.1	0.3	1.7	2.9	4.5

(3)加治地区

①加治地区の居住者が買物に行く商業集積地について

加治地区居住者が商品群毎に買物をする主な場所は、表 2-16、図 2-6 のとおりです。

表 2-16 加治地区居住者の商品群別にみた主な買物場所 (%)

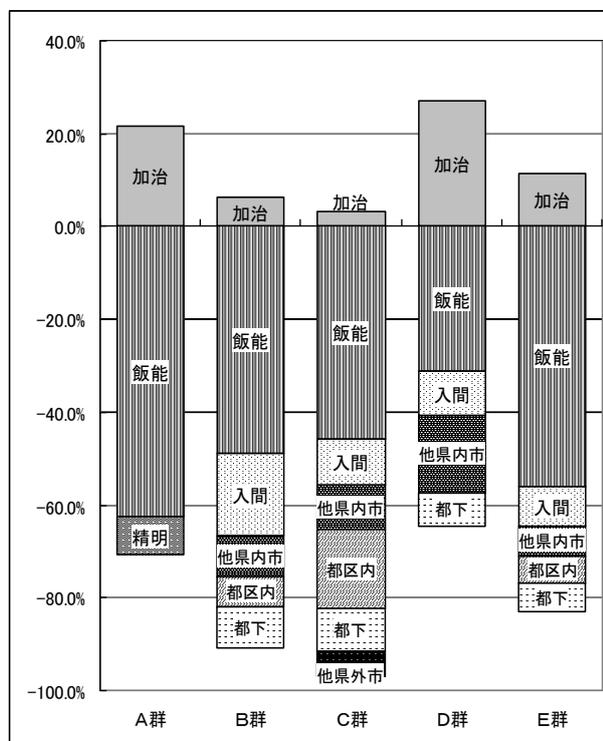
	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	62.4	49.0	45.7	31.1	56.1	51.8
精明	8.3	1.5	0.0	0.5	1.9	3.1
加治(地元で買物)	21.6	6.3	3.2	27.2	11.4	14.1
南高麗	1.4	0.1	0.0	0.0	2.3	1.0
吾野	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
名栗	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯能市内吸引率	93.9	56.9	49.0	59.1	71.8	70.1
飯能市外への流出率	6.1	43.1	51.0	40.9	28.2	29.9
入間市	4.5	17.7	10.0	9.8	8.6	10.0
その他県内都市	0.5	8.7	9.4	16.5	6.3	7.0
東京都区内	0.1	6.5	17.0	4.9	6.0	5.6
東京都下	0.9	9.1	9.2	7.1	6.0	5.9
その他県外都市	0.0	1.2	5.4	2.6	1.3	1.5

図 2-6 加治地区居住者の商品別買物場所

加治地区居住者の地元購買比率は、商品総合で 14.1%と全体的に低い比率となっています。商品群別では D群(耐久消費財等)が 27.2%、A群(食料品・日用品等)が 21.6%となっています。

加治地区居住者の購買流出状況は、全ての商品で飯能地区への流出が多く、商品総合で 51.8%となっています。

また市外への流出では商品群別には B群(衣類等)、C群(身の回り品)、D群での流出率が高くなっています。なかでも C群は市外への流出率が 51.0%と非常に高く、東京都区内(池袋・新宿)への流出率は飯能地区よりも高い 17.0%となっています。B群の流出は 43.1%となっており、入間市へは 17.7%と高い流出率となっています。D群も 40.9%と高い流出率となっており、県内他都市への流出が 16.5%となっています。



②加治地区への流入先

他の居住地区からの購買の流入状況は、表 2-17 のとおりとなっています。
商品総合でみると、全体的に流入率は 8.0%と低く、隣接する南高麗からの流入が 8.9%と最も高くなっています。商品群別には、D群(耐久消費財等)の流入が 19.9%と最も高く、南高麗から 26.2%と最も高い流入率となっています。

表 2-17 各地区居住者が加治地区に来て買物する割合 (%)

加治へ	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	5.2	3.1	2.5	16.4	4.1	5.5
精明	3.7	3.6	1.1	18.9	2.5	4.9
南高麗	9.9	1.3	0.0	26.2	9.5	8.9
吾野	2.4	0.0	0.0	9.2	2.8	2.5
東吾野	3.5	3.5	0.0	14.1	5.9	5.1
原市場	5.9	2.4	3.0	13.6	8.4	6.4
名栗	3.6	4.7	2.0	16.7	6.6	6.1
市全体	9.6	3.9	2.3	19.9	6.8	8.0

(4)南高麗地区

①南高麗地区の居住者が買物に行く商業集積地について

南高麗地区居住者が商品群毎に買物をする主な場所は、表 2-18、図 2-7 のとおりとなっています。

表 2-18 南高麗居住者の商品群別にみた主な買物場所 (%)

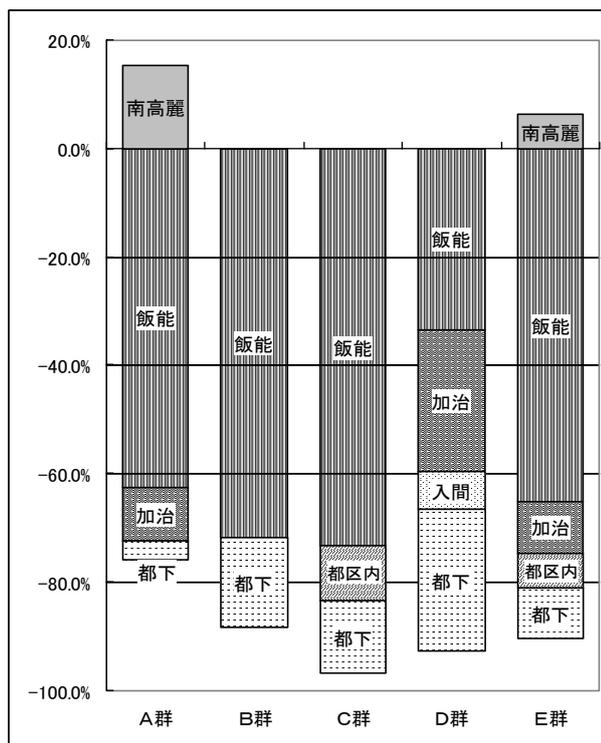
	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	62.6	71.8	73.3	33.3	65.3	62.8
精明	3.3	2.6	0.0	2.4	0.0	1.8
加治	9.9	1.3	0.0	26.2	9.5	8.9
南高麗(地元で買物)	15.4	0.0	0.0	0.0	6.3	6.0
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原市場	4.4	0.0	0.0	0.0	2.1	1.8
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯能市内吸引率	95.6	75.6	73.3	61.9	83.2	81.3
飯能市外への流出率	4.4	24.4	26.7	38.1	16.8	18.8
入間市	1.1	1.3	0.0	7.1	1.1	1.8
その他県内都市	0.0	2.6	3.3	0.0	0.0	0.9
東京都区内	0.0	3.8	10.0	2.4	6.3	3.9
東京都下	3.3	16.7	13.3	26.2	9.5	11.9
その他県外都市	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	0.3

南高麗地区居住者の地元購買比率は、商品総合では 6.0%と低いものとなっており、商品群別にみると、A群(食料品・日用品等)が最も高く 15.4%となっています。

南高麗地区居住者の購買流出状況は、全ての商品で飯能地区への流出が多く、商品総合で 62.8%、飯能市内での吸引率は 81.3%と高いものとなっています。

市外流出率は18.8%と低く、隣接の東京都下への流出は、商品総合で11.9%となっており、中でも比率が高いのは、D群(耐久消費財等)26.2%、B群(衣類等)16.7%、C群(身の回り品)13.3%となっています。

図 2-7 南高麗地区居住者の商品別買物場所



②南高麗地区への流入先

他の居住地区からの流入率は、表 2-19 のとおりとなっており、南高麗地区の商業集積は他地区からの吸引力は非常に弱いものとなっています。

表 2-19 各地区居住者が南高麗地区に来て買物する割合 (%)

南高麗へ	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1
精明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治	1.4	0.1	0.0	0.0	2.3	1.0
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
原市場	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
名栗	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
市全体	1.0	0.0	0.0	0.0	0.9	0.5

(5)吾野地区

①吾野地区の居住者が買物に行く商業集積地について

吾野地区居住者が商品群毎に買物をする主な場所は、表 2-20、図 2-8 のとおりです。

表 2-20 吾野居住者の商品群別にみた主な買物先 (%)

	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	41.5	51.8	34.0	41.5	53.1	46.7
精明	0.6	0.7	0.0	0.0	1.1	0.7
加治	2.4	0.0	0.0	9.2	2.8	2.5
南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吾野 (地元で買物)	4.9	2.9	1.9	10.8	1.7	3.8
東吾野	16.5	0.0	0.0	0.0	10.6	7.7
原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯能市内吸引率	65.9	55.5	35.8	61.5	69.3	61.4
飯能市外への流出率	34.1	44.5	64.2	38.5	30.7	38.6
入間市	0.0	0.0	1.9	4.6	1.7	1.2
その他県内都市	32.3	27.0	26.4	20.0	20.1	25.6
東京都区内	0.0	5.8	22.6	0.0	3.9	4.5
東京都下	1.8	10.2	5.7	6.2	3.9	5.2
その他県外都市	0.0	1.5	7.5	7.7	1.1	2.2

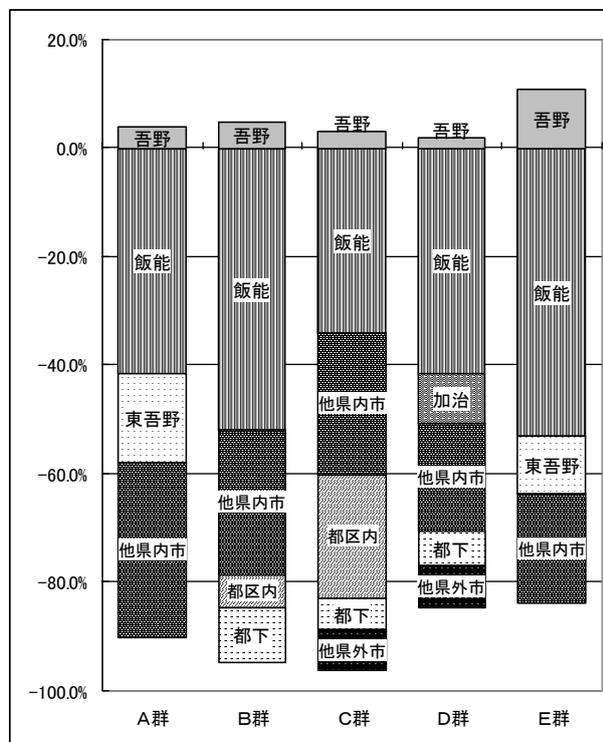
図 2-8 吾野地区居住者の商品別買物場所

吾野地区居住者の地元購買比率は、地元吾野に商業集積地がないことから、商品総合で 3.8% と低い率となっています。

吾野地区居住者の購買流出状況は、飯能地区への流出が 46.7% と最高となっており、飯能市全体の吸引率は 61.4% となっています。

一方、市外への流出率は 38.6% と高く、秩父市、日高市など県内他都市への流出が 25.6% となっています。

商品群別では、C群(靴・カバン等)の流出率が特に高く、電車を使うことも多いことから東京都区内への流出率が 22.6% と高くなっています。



②吾野地区への流入先

他の居住地区からの吾野地区への流入状況は、表 2-21 のとおりとなっています。商品総合の吸引率は、東吾野地区からの 0.5% のみで弱いものとなっています。

表 2-21 各地区居住者が吾野地区に来て買物する割合 (%)

吾野へ	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	1.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.5
原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市全体	0.2	0.1	0.1	0.4	0.1	0.1

(6)東吾野地区

①東吾野地区の居住者が買物に行く商業集積地について

東吾野地区居住者が商品群毎に買物をする場所は表 2-22、図 2-9 のとおりです。

表 2-22 東吾野居住者の商品群別にきた主な買物場所 (%)

	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	35.3	56.6	56.6	35.2	42.7	44.2
精明	5.2	2.1	0.0	0.0	0.5	2.1
加治	3.5	3.5	0.0	14.1	5.9	5.1
南高麗	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
吾野	1.2	0.7	0.0	0.0	0.0	0.5
東吾野(地元で買物)	26.0	0.0	1.9	4.2	15.1	12.3
原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯能市内吸引率	71.7	62.9	58.5	53.5	64.3	64.3
飯能市外への流出率	28.3	37.1	41.5	46.5	35.7	35.7
入間市	2.3	1.4	7.5	8.5	4.3	3.8
その他県内都市	26.0	30.1	28.3	32.4	24.9	27.5
東京都区内	0.0	5.6	5.7	4.2	3.8	3.4
東京都下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2
その他県外都市	0.0	0.0	0.0	1.4	2.2	0.8

東吾野地区居住者の地元購買比率は、商品総合で 12.3%となっています。

商品群別では、A群(食料品・日用品等)が 26.0%と最大であり、E群(書籍・園芸用品等)が 15.1%となっています。

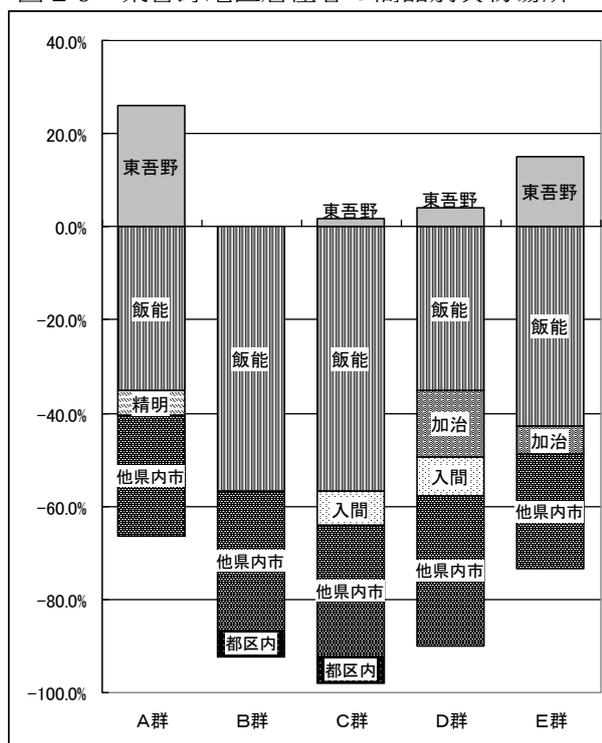
吾野地区の購買流出状況は、飯能地区 44.2%、加治 5.1%となっており、飯能市全体では 64.3%となっています。

市外への流出は、日高地区など県内他都市への流出 27.5%を含め、35.7%と高めとなっています。

また、全ての商品群別で流出率が高くなっています。

なお、吾野との相違点は、買物に電車利用がそれほど多くなく、C群(靴・鞆等)で東京都区内への流出率も吾野の22.6%に比べ、5.7%と低いものとなっています。

図 2-9 東吾野地区居住者の商品別買物場所



②東吾野地区への流入先

他の居住地区から東吾野への流入状況は、表 2-23 のとおりとなっています。

隣の吾野地区からA群(食料品・日用品等)で16.5%、E群(書籍・園芸用品等)で10.6%となっている他は、他地域からの流入はほとんどない状況となっています。

表 2-23 各地区居住者が東吾野地区に来て買物する割合 (%)

東吾野へ	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
精明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吾野	16.5	0.0	0.0	0.0	10.6	7.7
原市場	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市全体	1.5	0.0	0.0	0.1	0.9	0.7

(7)原市場地区

①原市場地区の居住者が買物に行く商業集積地について

原市場地区居住者が商品群毎に買物をする主な場所は、表 2-24、図 2-10 のとおりです。

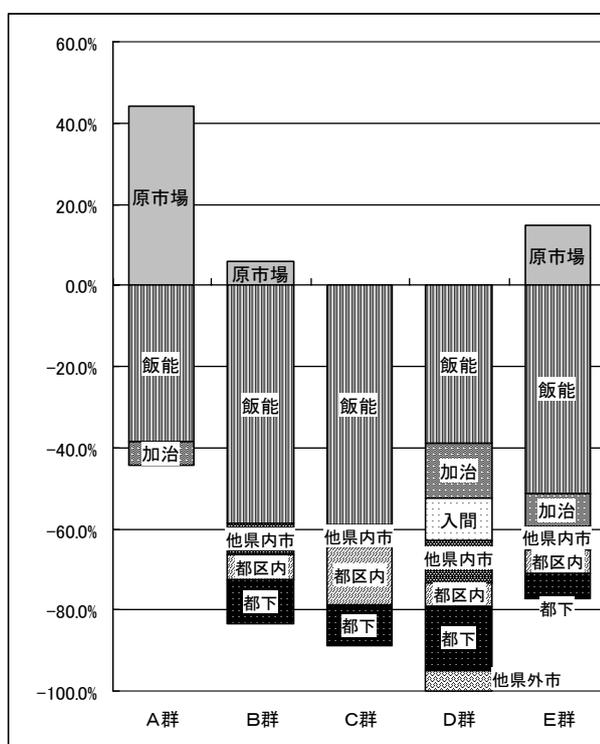
表 2-24 原市場居住者の商品群別にみた主な買物場所 (%)

	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	38.6	58.5	59.1	39.0	51.2	48.8
精明	3.1	0.9	0.8	0.0	1.5	1.6
加治	5.9	2.4	3.0	13.6	8.4	6.4
南高麗	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
原市場 (地元で買物)	44.2	5.8	0.0	0.0	14.8	17.8
名栗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飯能市内吸引率	92.8	67.7	62.9	52.6	75.9	74.9
飯能市外への流出率	7.2	32.3	37.1	47.4	24.1	25.1
入間市	1.5	4.9	3.8	10.4	3.9	4.2
その他県内都市	3.6	7.9	5.3	10.4	5.7	6.1
東京都区内	0.0	6.1	14.4	5.8	5.7	5.0
東京都下	2.1	11.0	9.8	15.6	6.2	7.5
その他県外都市	0.0	2.4	3.8	5.2	2.7	2.3

図 2-10 原市場地区居住者の商品別買物場所

原市場地区居住者の地元購買比率は、商品総合で 17.8% となっています。商品群別の吸引率は、地区内に食料品、医薬品の商業施設が存在することから、A群(食料品・日用品等)が 44.2% と高い比率となっています。

原市場地区の購買流出状況は、市内では飯能地区への流出が商品総合で 48.8% となっています。市外への流出は 25.1% となっており、東京都下と隣接している地理的事情から、東京都下への流出が 7.5% となっています。商品群別には B群(衣類等)で青梅市、瑞穂町などの東京都下が 11.0%、C群(靴・カバン等)は東京都区内が 14.4%、D群(家具・家電等)は東京都下が 15.6% と高い比率になっています。



通勤通学では、市内から飯能駅利用が多く、買物は東京都下の青梅市、瑞穂町に目が向いているものと思われます。

②原市場地区への流入先

他の居住地区から原市場地区への流入状況は、表 2-25 のとおりとなっています。

隣りの名栗地区からA群(食料品・日用品等)で 49.5%、E群(書籍・園芸用品等)で 17.8%とかなりの流入がある他は、他地域からはほとんど無い状況となっています。

表 2-25 各地区居住者が原市場地区に来て買物する割合 (%)

原市場へ	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	1.4	0.0	0.0	0.0	0.3	0.4
精明	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.1
加治	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
南高麗	4.4	0.0	0.0	0.0	2.1	1.8
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
名栗	49.3	0.8	0.0	0.0	17.8	18.3
市全体	8.3	0.9	0.0	0.0	2.8	3.2

(8)名栗地区

①名栗地区の居住者が買物に行く商業集積地について

名栗地区居住者が商品群毎に買物をする主な場所は、表 2-26、図 2-11 のとおりです。

表 2-26 名栗居住者の商品群別にみた主な買物先 (%)

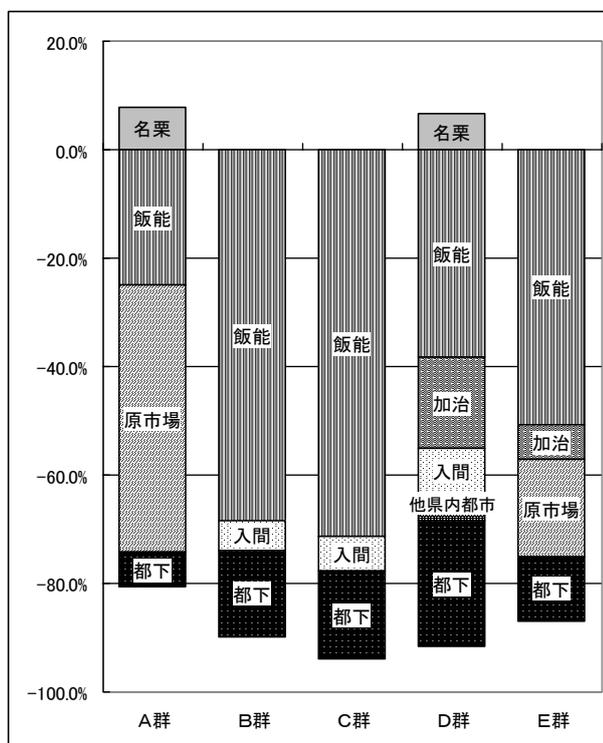
	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	24.8	68.5	71.4	38.3	50.6	48.7
精明	2.9	1.6	0.0	0.0	0.6	1.3
加治	3.6	4.7	2.0	16.7	6.6	6.1
南高麗	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原市場	49.3	0.8	0.0	0.0	17.8	18.3
名栗(地元で買物)	7.9	0.0	0.0	6.7	0.0	2.8
飯能市内吸引率	89.2	75.6	73.5	61.7	75.6	77.4
飯能市外への流出率	10.8	24.4	26.5	38.3	24.4	22.6
入間市	3.6	5.5	6.1	8.3	4.8	5.2
その他県内都市	0.7	0.8	0.0	5.0	3.0	1.8
東京都区内	0.0	2.4	4.1	1.7	1.5	1.6
東京都下	6.5	15.7	16.3	23.3	12.0	13.1
その他県外都市	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.9

図 2-11 名栗地区居住者の商品別買物場所

名栗地区にはまとまった商業施設がないことから、居住者の地元購買比率は商品総合で 2.8%と 8 居住地区中最も低く、購買流出状況は最も 97.2%と高くなっています。

市内での流出比率の高い先は、飯能地区 48.7%、原市場地区 18.3%となっています。商品群別で市内流出比率が高いのは、A群(食料品・日用品等)の原市場地区 49.3%であり、その他は飯能地区が高くなっています。

市外流出は 22.6%となっており、隣接する東京都下への買物が多くなっています。都下への流出を商品群別にみると、D群(家具・家電)が 23.3%、C群(靴・カバン等)16.3%、B群(衣類等)15.7%、E群(書籍・園芸用品等)が 12.0%と高い値を示しています。



②名栗地区への流入先

他の居住地区からの名栗地区への流入状況は、表 2-27 のとおりで、商業施設がないことから、他地域からの流入はほとんど無い状況となっています。

表 2-27 各地区居住者が名栗地区に来て買物する割合 (%)

名栗へ	A群	B群	C群	D群	E群	商品総合
飯能	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精明	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
加治	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
南高麗	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
東吾野	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
原市場	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
市全体	0.3	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1

第3章 飯能市民の買物行動

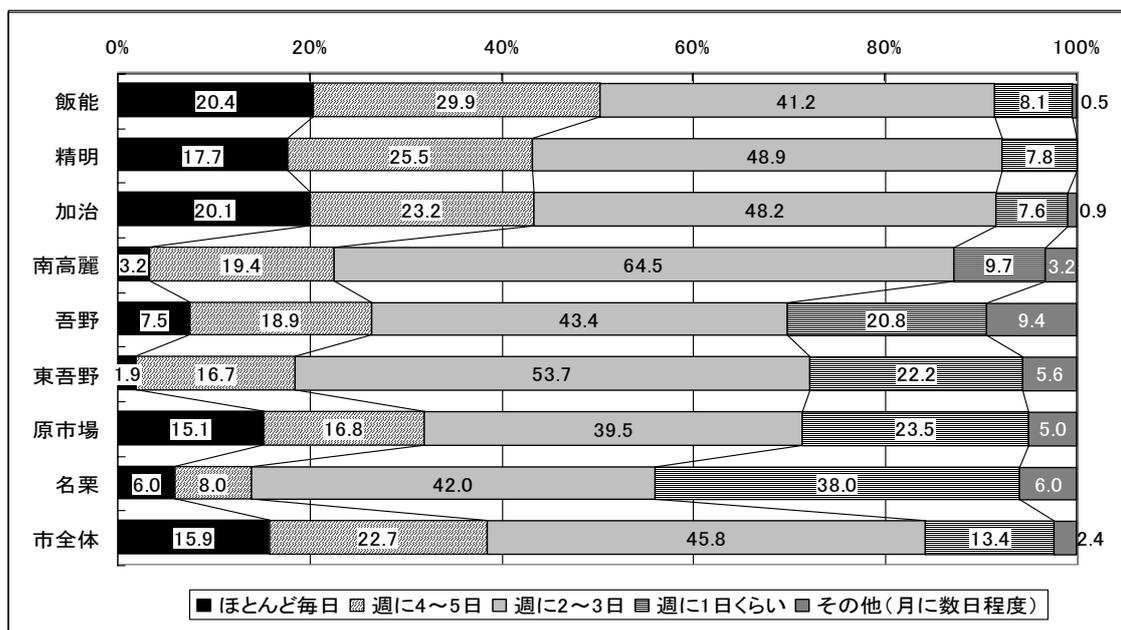
1. 消費者の買物行動

(1) 1週間の買物回数

1週間の買物回数は、図3-1のとおり、市全体で「週に2~3回」が45.8%と最も多く、次いで「週に4~5回」が22.7%、「ほとんど毎日」が15.9%の順となっています。

居住地区別に見ると、南高麗地区で「週に2~3回」が6割を超えており、市街地周辺の飯能・精明・加治地区では、「ほとんど毎日」と「週に4~5回」を併せると4割を超えており、1週間の買物回数が多くなる傾向にあります。

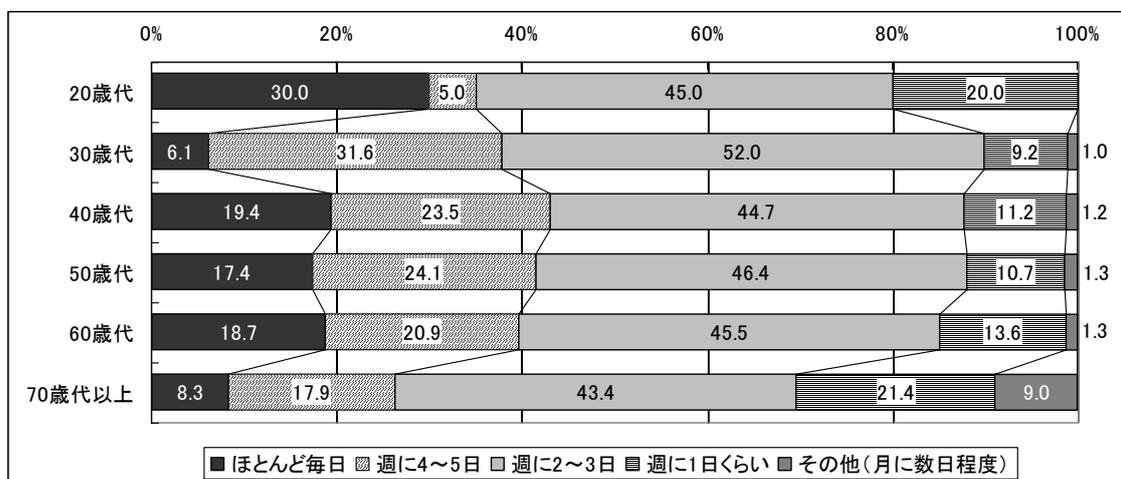
図3-1 居住地区別にみた1週間の買物回数 (%)



年代別の買物回数は、図3-2のとおりとなっています。

20歳代から60歳代まで「週4~5回以上」の多頻度回数はあまり変わらず、40%前後となっていますが、70歳代以上では、多頻度回数はやや減少傾向にあります。

図3-2 年代別にみた1週間の買物回数 (%)

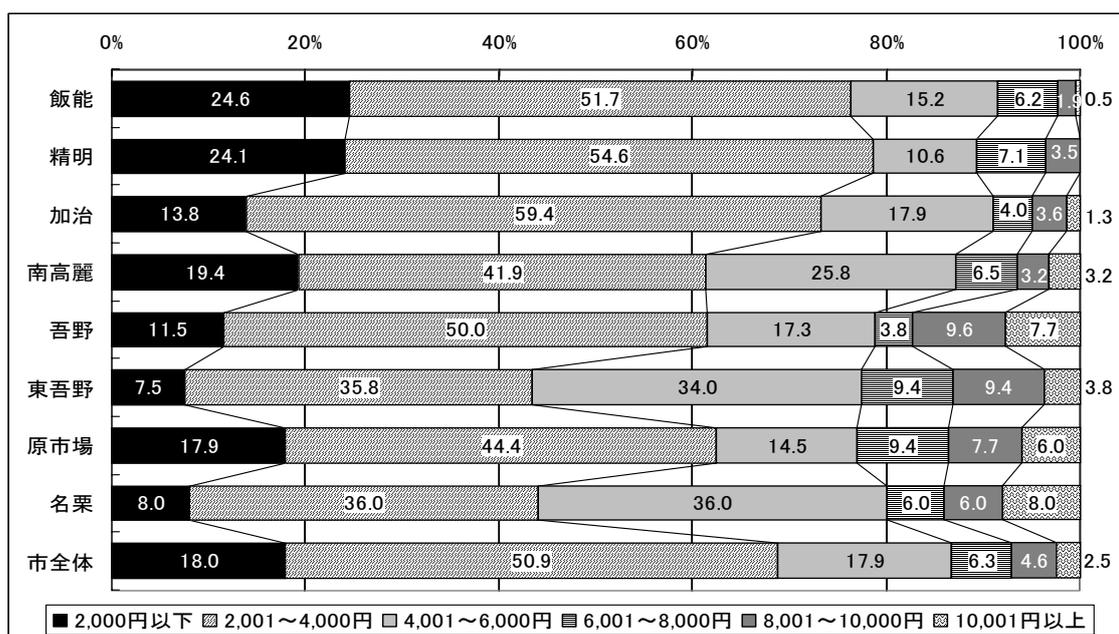


(2)1回の買物の平均予算

1回の買物の平均予算は、図3-3のとおり、市全体では「2,001～4,000円」が50.9%と最も多く、次いで「2,000円以下」が18.0%、「4,001～6,000円」が17.9%の順となっています。

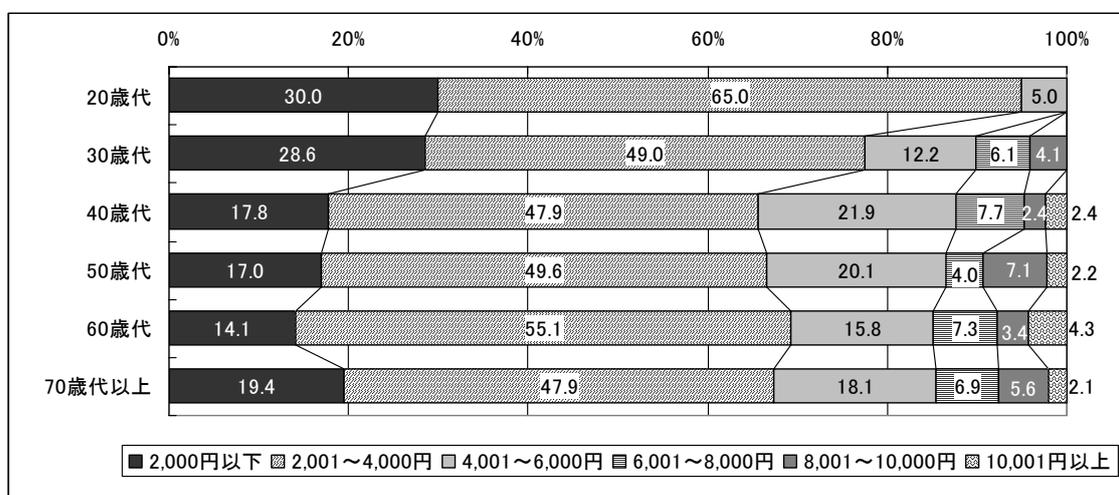
居住地区別では、商業集積地が不十分なためか、名栗地区及び東吾野地区の1回の買物予算は比較的高額の「4,001～6,000円」が3割を超えています。

図3-3 居住地区別にみた1回の買物の平均予算 (%)



年代別については、図3-4でみるとすべての年代で「2,001～4,000円」が最多となっています。

図3-4 年代別にみた1回の買物の平均予算 (%)

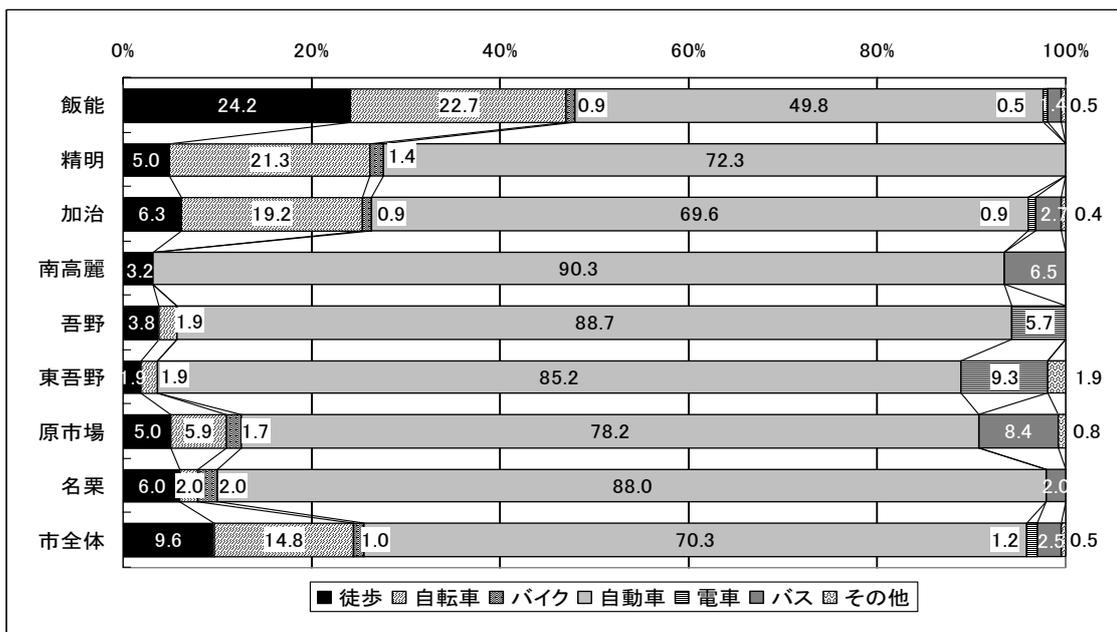


(3)買物時によく利用する交通手段

買物時の主な交通手段については、図 3-5 のとおり、市全体では「自動車」の比率が 70.3%と最多となっています。

居住地区別では、「自動車」の利用比率が南高麗・吾野・東吾野・名栗地区が高く、「徒歩」・「自転車」の利用比率では、飯能・精明・加治が高くなっています。

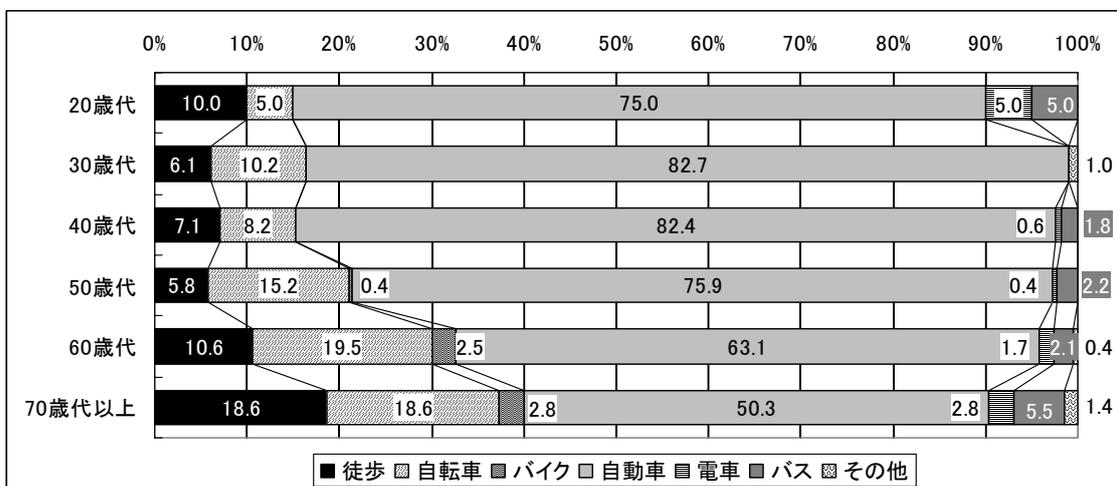
図 3-5 地域別の買物時によく利用する交通手段 (%)



年代別の交通手段については、図 3-6 のとおり、50 代以降は年代が上がるにしたがって「徒歩」・「自転車」・「バイク」の利用が増加し、「自動車」の利用が減少しています。

なお、「電車」・「バス」の利用は、20 歳代と 70 歳代以上でやや多くみられますが、20 歳代は都内への買物などの際に利用しているものと思われます。

図 3-6 年代別の買物時によく利用する交通手段 (%)

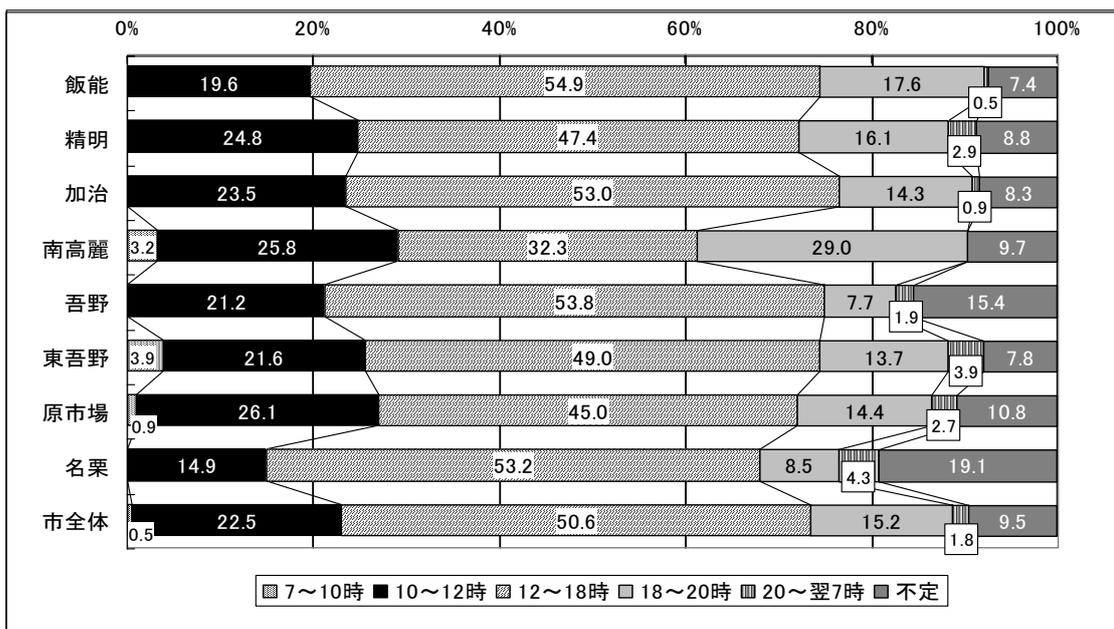


(4) 普段買物をする主な時間帯(平日)

平日に買物する主な時間帯については、図 3-7 のとおり市全体では、「12 時～18 時」が 50.6% と過半数を占めており、次いで「10 時～12 時」が 22.5% の順となっています。

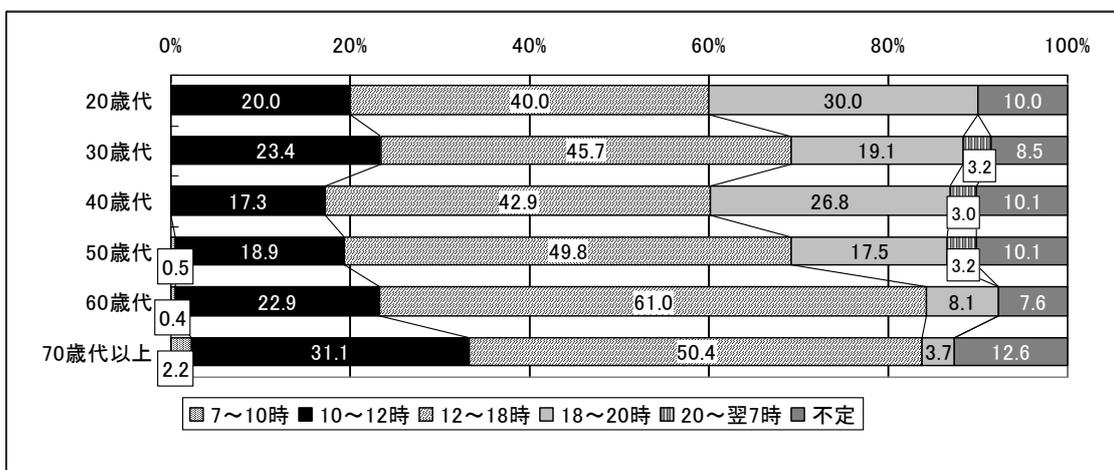
居住地区別にみると、南高麗地区では、「10 時～12 時」が 25.8%、「12 時～18 時」が 32.3%、「18 時～20 時」が 29.0% と、比較的買物の時間帯が分散しています。

図 3-7 地域別の普段買物をする主な時間帯(平日) (%)



年代別については、図 3-8 のとおり、各年代とも「10～12 時」・「12～18 時」が多くなっています。有給の仕事を持つ率の高い 20 歳代、40 歳代、50 歳代では、「18～20 時」の利用も多くなっています。また、「20～翌 7 時」が 30～50 歳代で 3% 程度、「7～10 時」が 70 歳代以上で 2.2% 存在することが特徴としてあげられます。

図 3-8 年代別の普段買物をする主な時間帯(平日) (%)

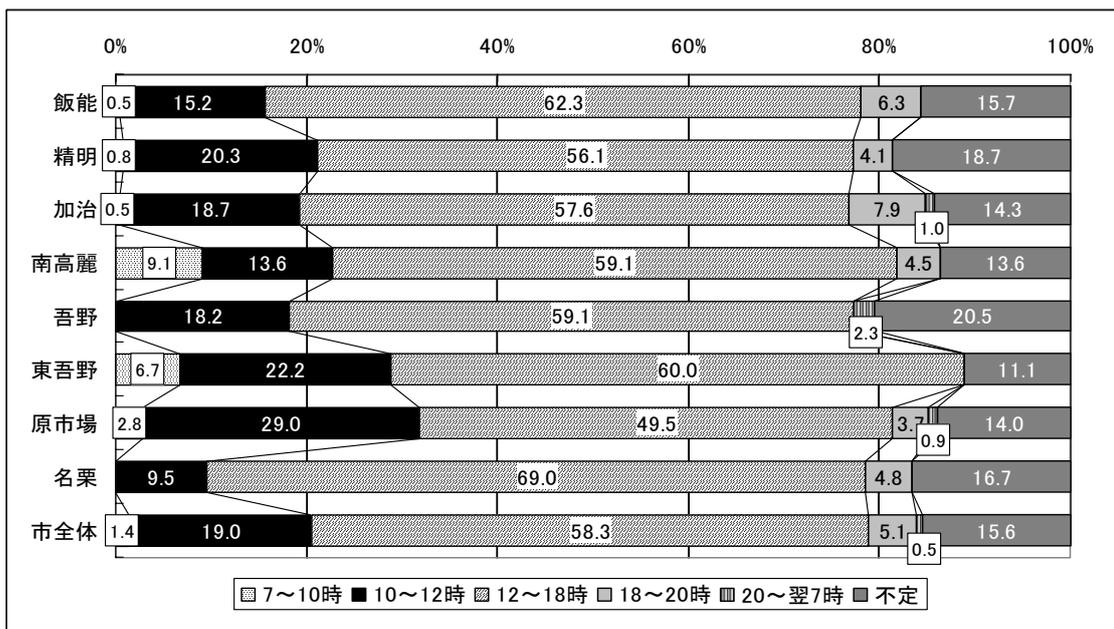


(5) 普段買物をする主な時間帯(土日・祝日)

土日(祝日)に買物する主な時間帯については、図 3-9 のとおり、平日と同様に「12時～18時」が58.3%と最も多く、次いで「10時～12時」が19.0%と続いています。

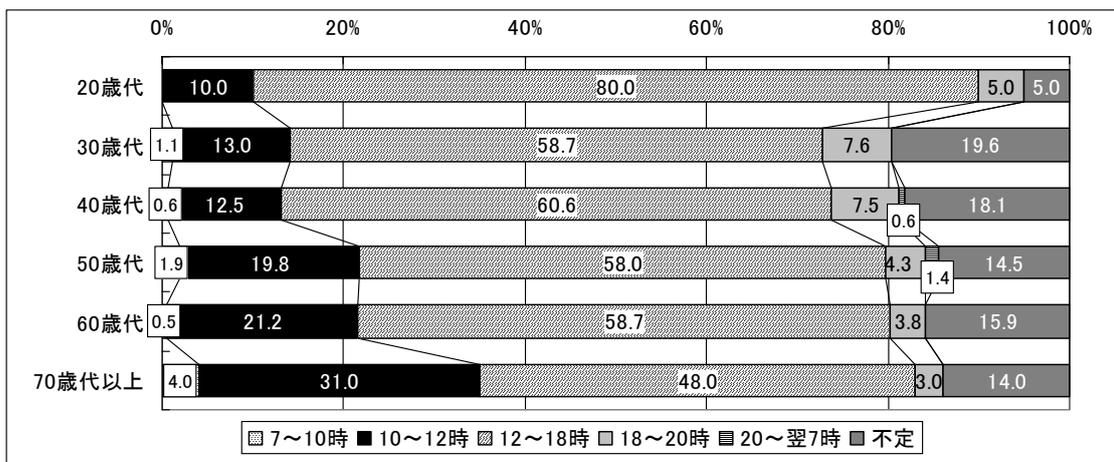
居住地区別では、名栗地区の「12時～18時」の買物が69.0%と最多となっています。また、原市場地区では「10時～12時」の買物が29.0%と多くなっています。

図 3-9 地区別の普段買物をする主な時間帯(土日・祝日) (%)



年代別では、図 3-10 のとおりとなっており、20歳代では「12～18時」が80.0%と平日の2倍となっているほか、「不定」が30歳代以降のすべての年代で増加しています。

図 3-10 年代別の普段買物をする主な時間帯(土日・祝日) (%)

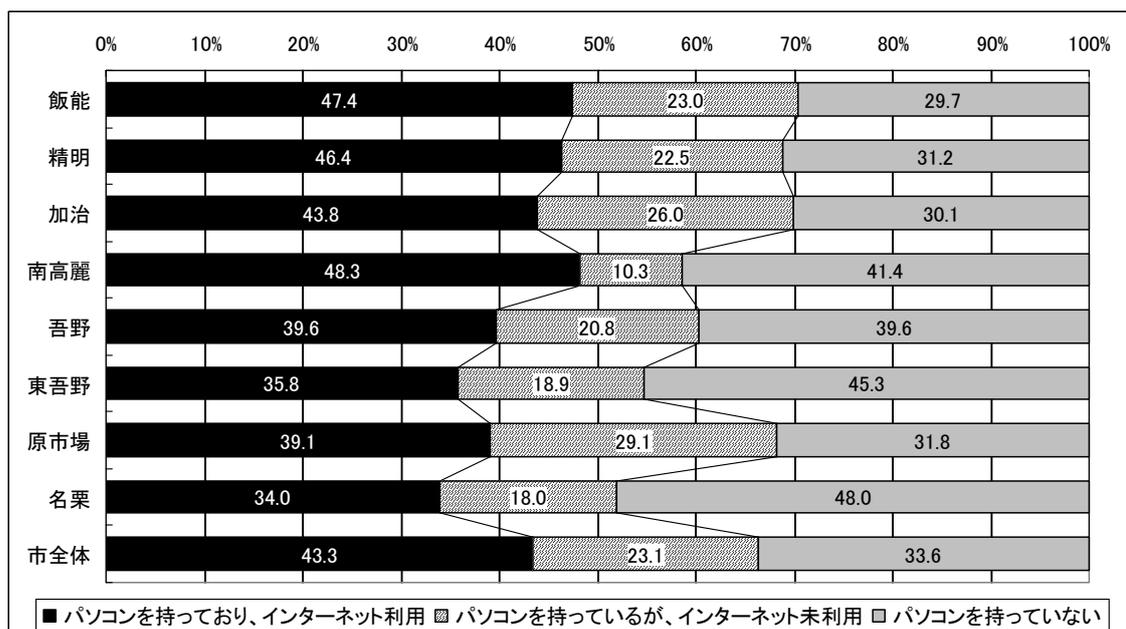


(6)パソコンの保有状況とインターネットの利用状況

パソコンの保有状況は、図 3-11 のとおりとなっています。

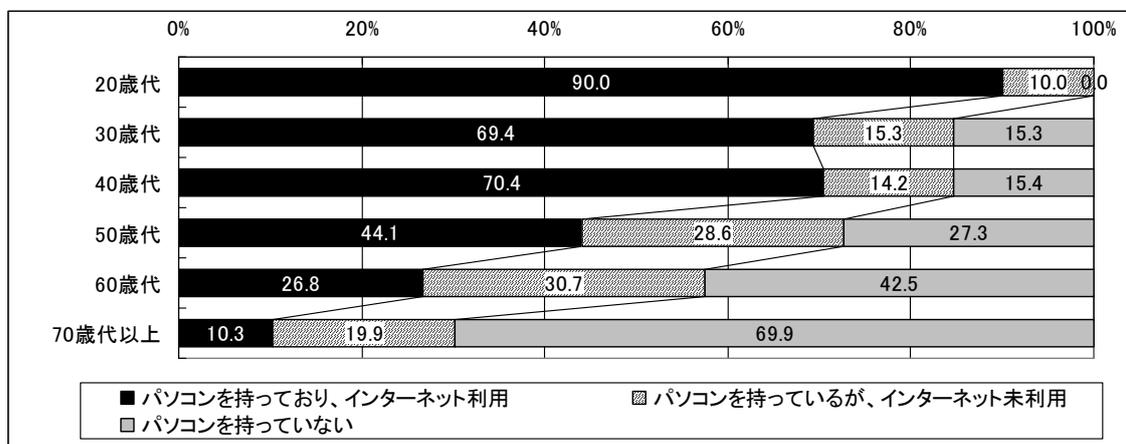
飯能市全体で「パソコンを持っている」は 66.4%、「パソコンを持っており、インターネットを利用している」は 43.3%となっており、パソコン所有者の 65%がインターネットを利用しています。居住地区別のパソコン所有割合は、飯能地区 70.4%、加治地区 69.8%、精明地区 68.9%、原市場地区 68.2%の順となっています。

図 3-11 地区別のパソコンの保有状況とインターネットの利用状況 (%)



年代別のパソコン保有状況については、図 3-12 のとおり、60 歳代以上が過半数を超えています。インターネット利用率は、若い世代ほど高く 40 歳代までは 70%を超えています。50 歳代以上は年代が上がるにつれて利用率が急減しています。

図 3-12 年代別のパソコン保有状況とインターネットの利用状況 (%)

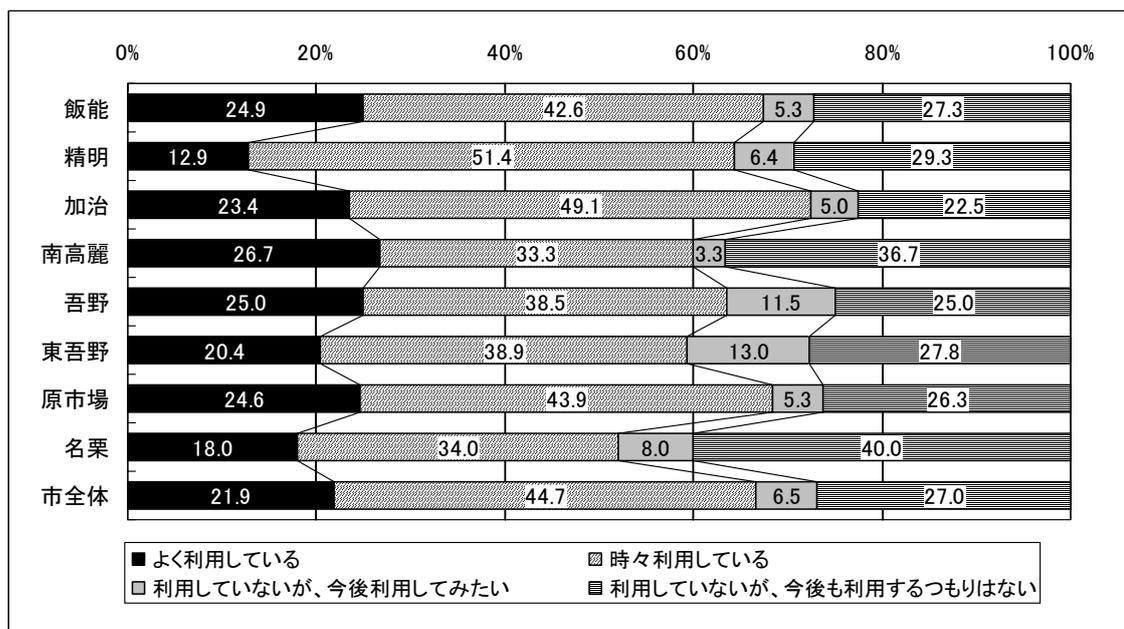


(7)通信販売の利用状況

通信販売の利用状況は、図 3-13 のとおりであり、市全体では「よく利用している」が 21.9%、「ときどき利用している」が 44.7%と、通信販売の利用率は併せて 66.6%と高い比率となっています。

居住地区別では、名栗地区の利用率が 50%とやや低くなっています。

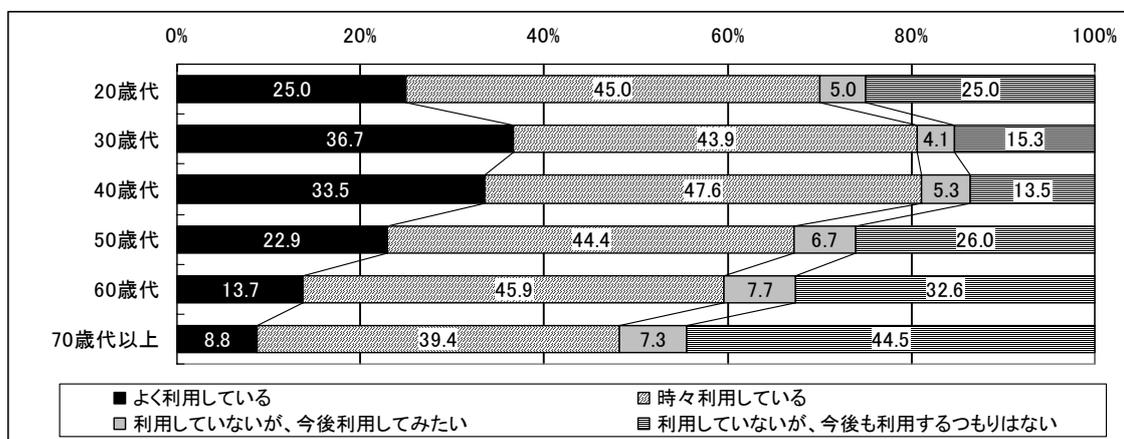
図 3-13 地区別通信販売の利用状況 (%)



年代別については、図 3-14 のとおりとなっています。

「よく利用している」と「時々利用している」を併せると、30 歳代と 40 歳代では利用率が 8 割を超える高いものとなっていますが、年代が上がるにつれて利用率は低下しています。

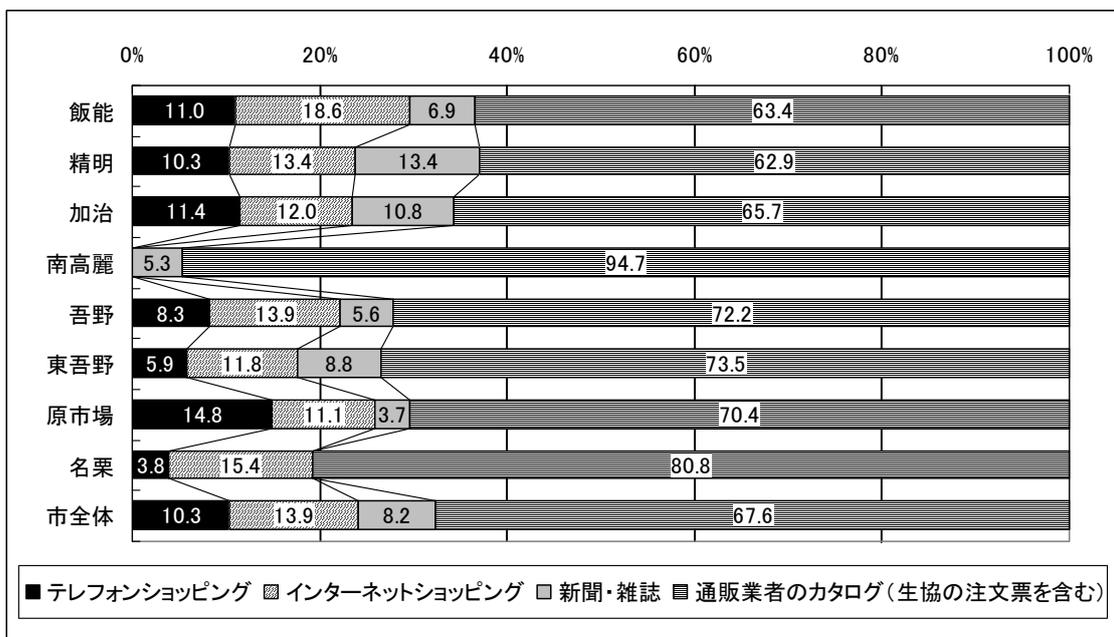
図 3-14 年代別通信販売の利用状況 (%)



(8)通信販売を主に利用している媒体

通信販売での利用媒体は、図 3-15 のとおり、市全体では通信カタログでの買物が 67.6%と最も多くなっており、次いで、インターネットショッピングが 13.9%となっています。

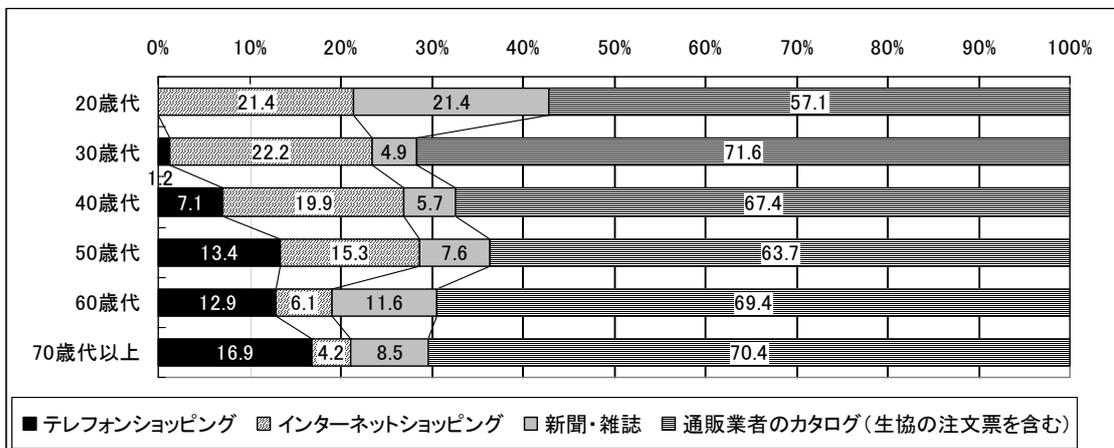
図 3-15 地区別通信販売を主に利用している媒体 (%)



年代別に通信販売の利用媒体について図 3-16 をみますと、全階層で通販業者からのカタログが最多となっています。

カタログに次いで多いのは、40 歳代までの世代では、インターネットショッピングが 20%前後と多く、年代が増すにつれてテレフォンショッピングが増加しています。60 歳代では「テレフォンショッピング」と「新聞・雑誌」が 12%程度となっていますが 70 歳代以上では、「テレフォンショッピング」が 16.9%となっています。

図 3-16 年代別通信販売を主に利用している媒体 (%)

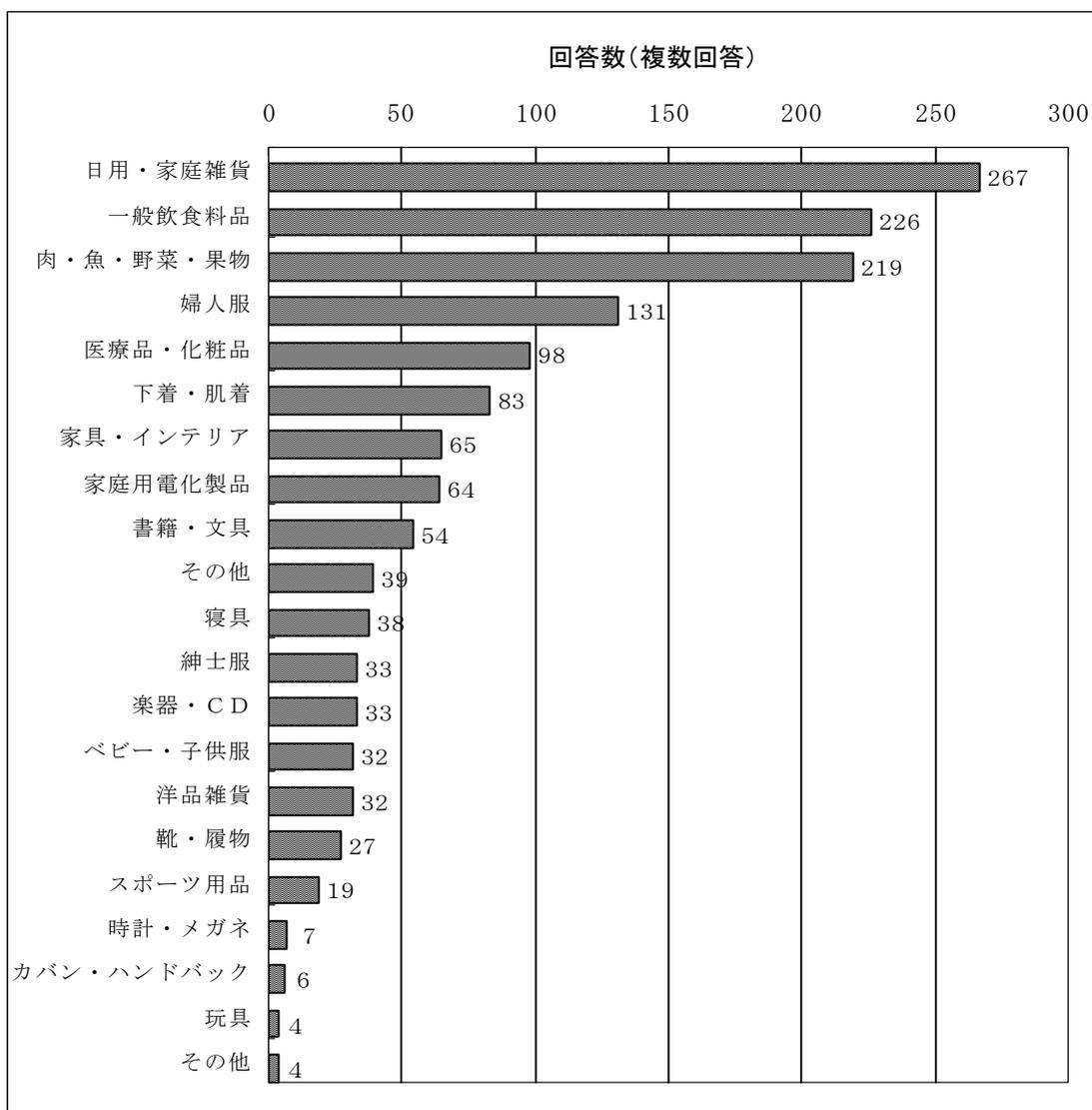


(9)通信販売で購入する商品

通信販売を利用して購入する商品については、図 3-17 のとおりとなっています。

購入件数が多い商品は、「日用・家庭雑貨」が 267 件と最も多く、次いで「一般飲食料品」226 件、「肉・魚・野菜・果物」219 件の順となっています。

図 3-17 通信販売で購入する商品 (件)



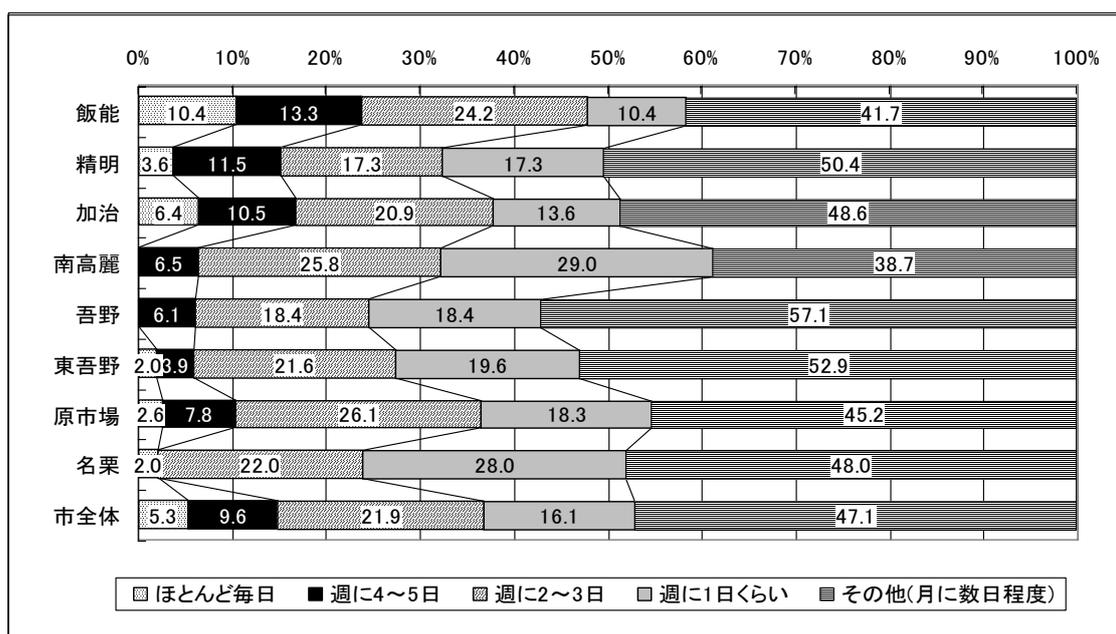
2. 商店街の利用状況と改善課題

(1) 地元商店街の利用状況

地元商店街の利用状況については、図 3-18 のとおり、市全体で 52.9%が週 1 回以上利用しており、そのうち「ほとんど毎日」と「週に 4~5 回」の多頻度利用者は 14.9% となっています。

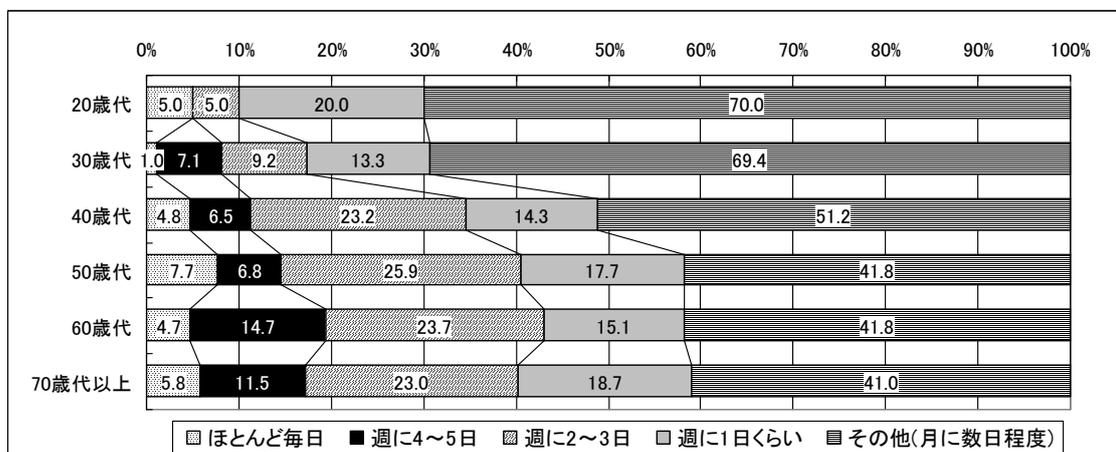
居住地区別に見ると、飯能地区では「週に 4 回以上」の多頻度利用者が 23.7%と 4 分の 1 近くにのぼっています。一方で吾野地区、東吾野地区、名栗地区の利用度は、「週 1 回以下」が 70%を超えているなど利用頻度は低いものとなっています。

図 3-18 地元商店街の利用頻度 (%)



年代別は、図 3-19 のとおり、20 歳代~30 歳代は「週に 1 回以下」の利用が 70%にもなっているものの、年代が増すにつれて地元商店街の利用頻度が高まる傾向がみられます。

図 3-19 年代別地元商店街の利用頻度 (%)



(2)地元商店街の改善課題

図 3-20 商店街を利用しない理由(複数回答)(件)
(商店街の利用頻度の少ない人への限定質問)

①地元商店街を利用しない理由

地元商店街を利用しない理由については、図 3-20 のとおりとなっており、「一箇所で買物がすまない」との回答が最も多く「駐車場がない」が突出しており、「魅力ある商品が少ない」が続いています。

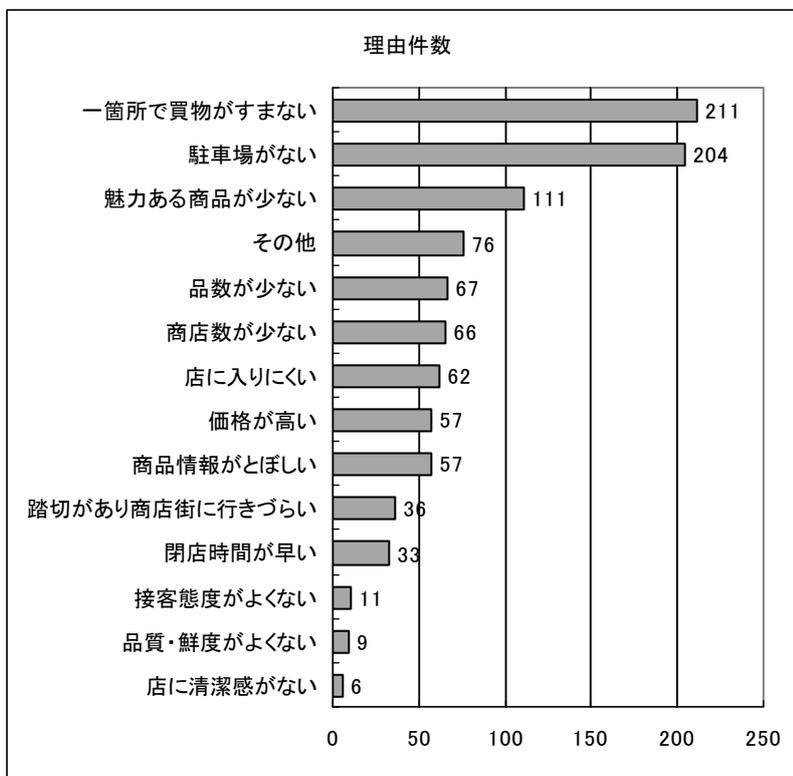
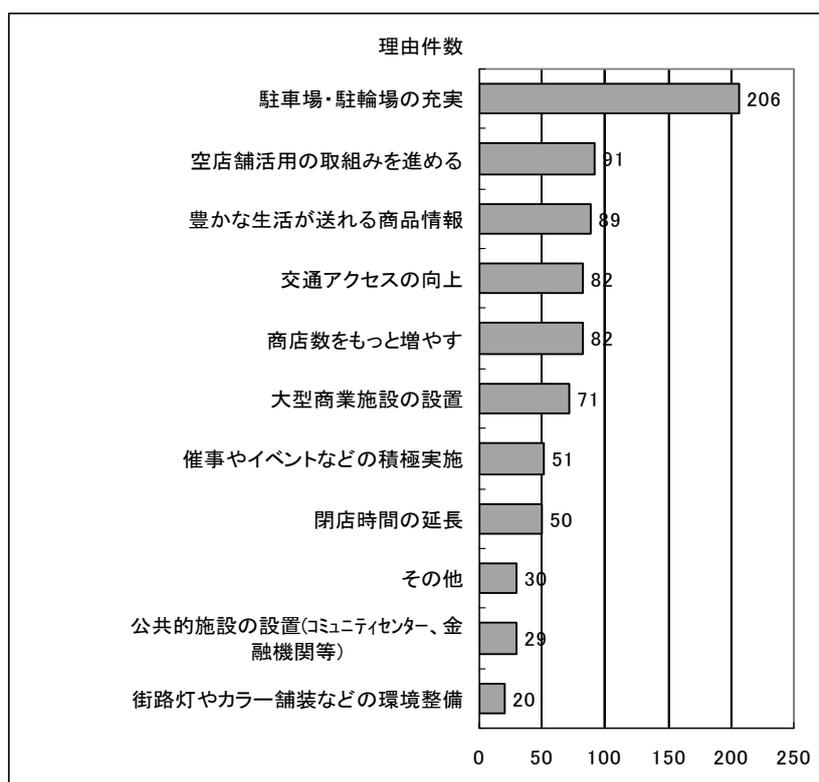


図 3-21 より魅力的な商店街にするために重要なこと(複数回答)(件)

②より魅力的な商店街にするために重要なこと

地元の商店街の利用頻度が低い人に、商店街の魅力をあげるために重要なことを訊ねたところ、図 3-21 のとおり、「駐車場・駐輪場の充実」が 206 件と突出して多くなっているほか、「空き店舗の活用」や「商品の情報提供」などが続いています。



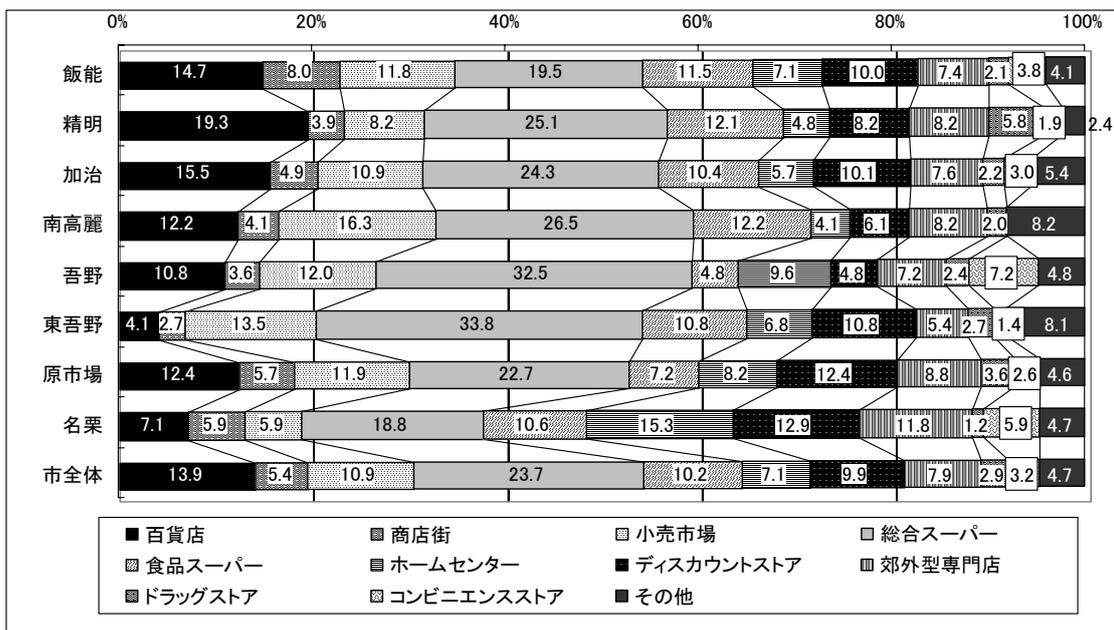
(3)消費者の動向と意識

①身近にほしいと思う買物施設

身近にほしいと思う買物施設については、図 3-22 のとおり、市全体では「総合スーパー」が 23.7%と最多となっており、次いで「百貨店」、「小売市場」、「食品スーパー」、「ディスカウントストア」の順となっています。

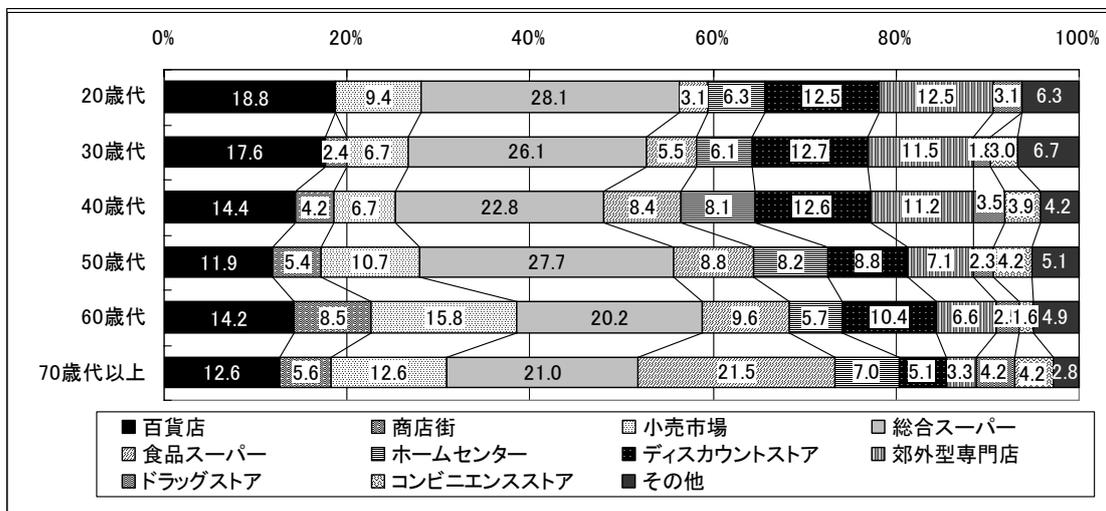
居住地区別に見るといずれの地区においても、「総合スーパー」に対するニーズが高くなっています。名栗地区では「ホームセンター」のニーズも 15.3%と高くなっています。

図 3-22 身近に欲しい買物施設(複数回答)(%)



年代別の身近に欲しい施設は、図 3-23 のとおり、各年代でも「総合スーパー」に対するニーズが最も高くなっています。70歳代以上では「食品スーパー」に対するニーズも 21.5%と高いものがあります。

図 3-23 年代別の身近に欲しい買物施設(複数回答)(%)

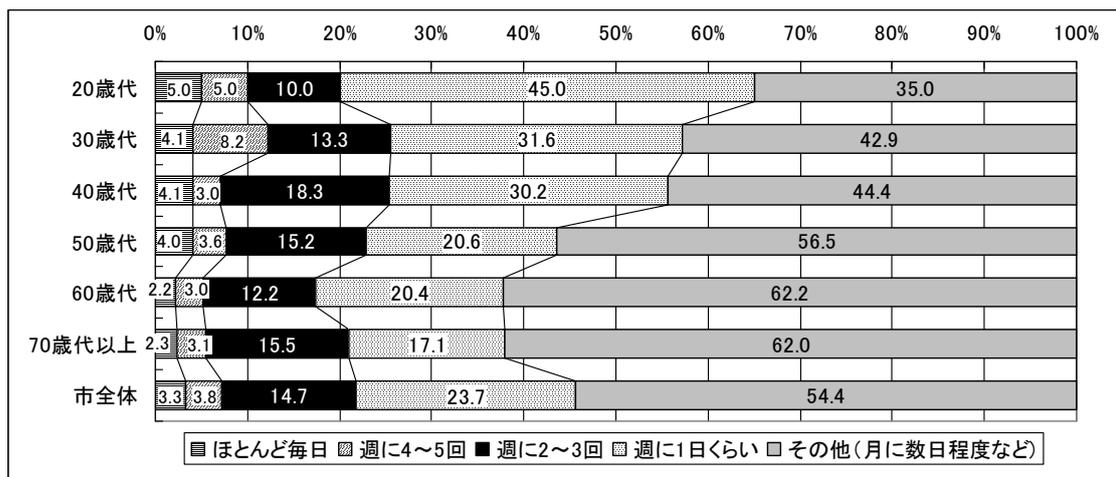


②コンビニエンスストアの利用頻度と購入商品

コンビニエンスストアの利用頻度については、図 3-24 のとおり、市全体では「その他」の「ほとんど利用しない」が 54.4%と半数を超えています。

年代別に見ると、他頻度利用者は年代的には若くなるほど多く、年代が上がるに従い「利用しない」率が増加しています。

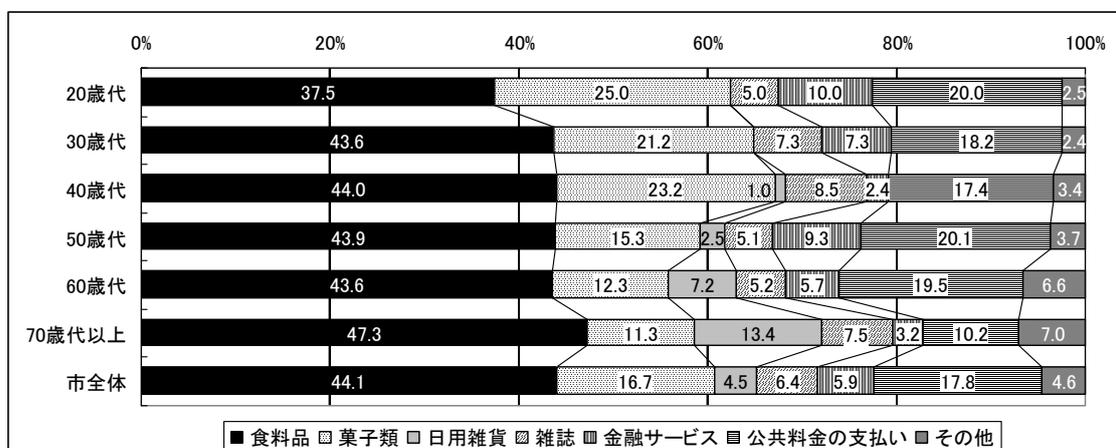
図 3-24 コンビニエンスストアの利用頻度 (%)



コンビニエンスストアでの年代別購入商品は、図 3-25 のとおり、市全体では「食料品」が 44.1%最も多く、3 番目に多い「菓子類」の 16.7%と併せると 60.8%が「食品」となっています。「公共料金の支払い」は 17.8%で 2 番目となっています。

年代別にみても「食品」が最も多くなっていますが、若い年代ほど菓子類が多くなっています。

図 3-25 年代別コンビニエンスストアの購入商品 (複数回答) (%)

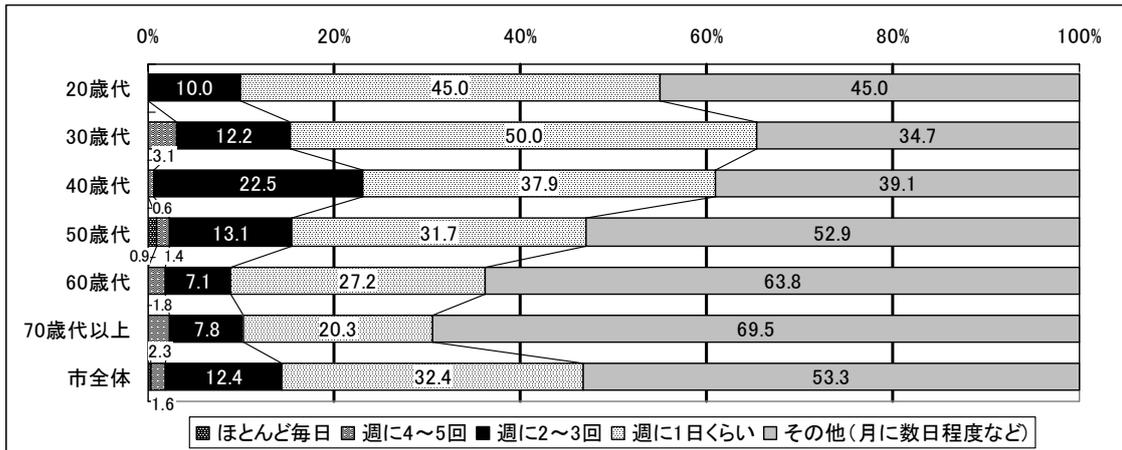


③ドラッグストアの利用頻度と購入商品

ドラッグストアの利用頻度については、図 3-26 のとおり、市全体では「その他」のほとんど利用しないが 53.3%と半数を超えています。

年代別に見ると、30 歳代、40 歳代、20 歳代の順に利用回数が多く、年代が上がるに従って「利用しない比率」が増加しています。

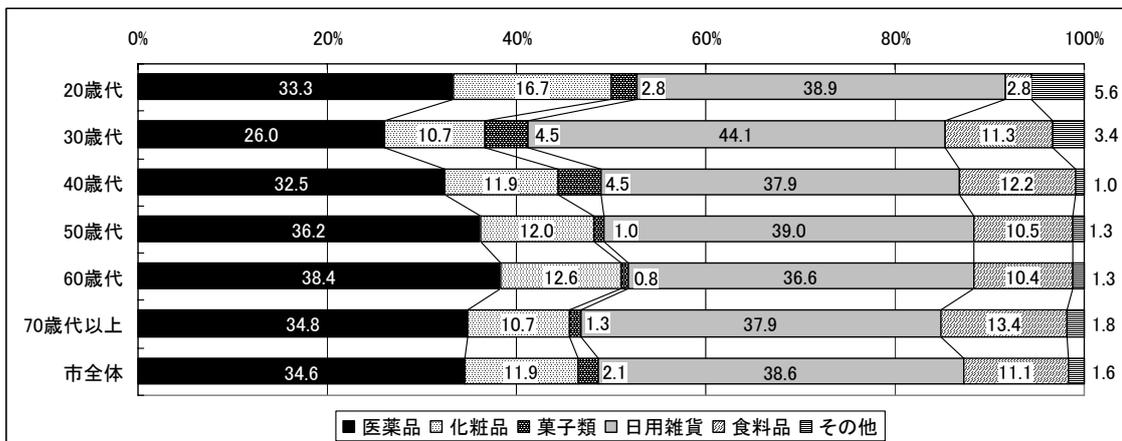
図 3-26 年代別ドラッグストアの利用頻度(複数回答)(%)



ドラッグストアの購入商品は、図 3-27 のとおり、市全体では「日用雑貨」が 38.6%と最も多く、次いで「医薬品」34.6%、「化粧品」11.9%、「食料品」11.1%の順になっています。

各年代とも日用雑貨が一番多くなっています。年代での特徴としては、20 歳代では化粧品、30 歳代では日用雑貨、40 歳代以降は医薬品の比率も高くなっています。

図 3-27 年代別ドラッグストアの購入商品(複数回答)(%)

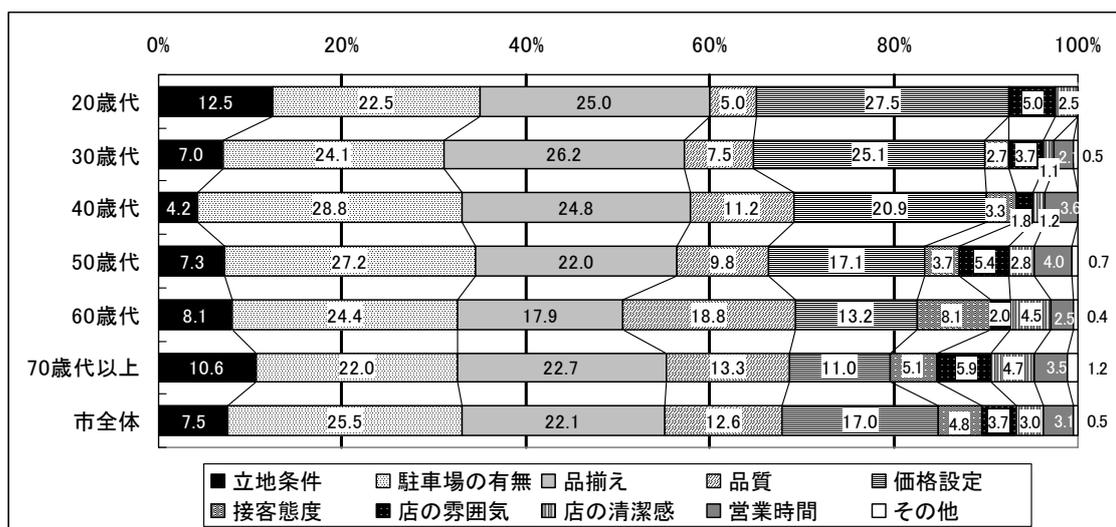


④店舗の選定要件

店舗を選ぶ際の要件は、図 3-28 とおりであり、市全体では、「駐車場の有無」を第 1 要件としており、次いで「品揃え」、「価格設定」、「品質」の順となっています。

年代別にみた特徴は、年代が若いほど「価格設定」を重視しており、逆に、年代が上がるほど「品質を重視」する傾向がみられます。

図 3-28 年代別店舗選定要件(複数回答)(%)

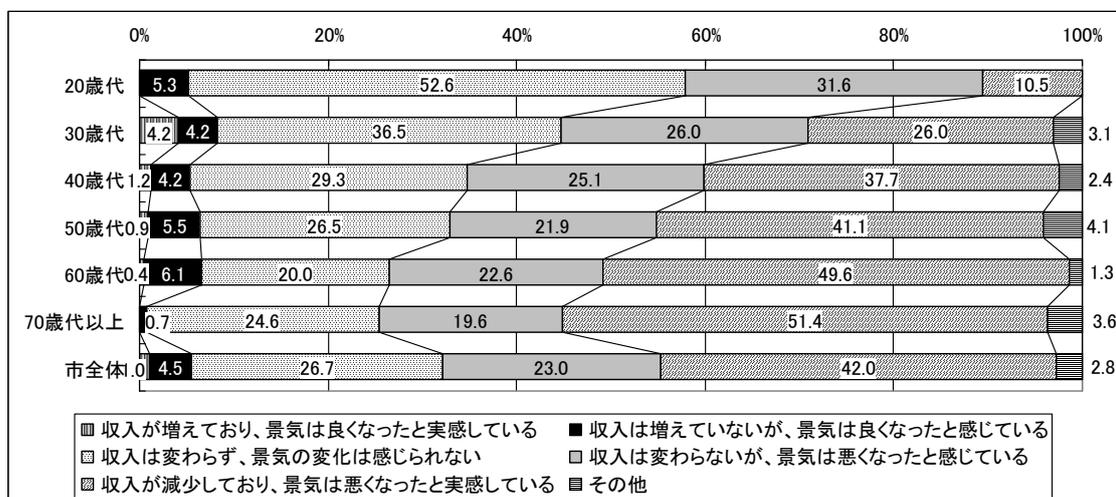


⑤消費者の景況感

過去 3 年と比べた現在の景況感については、図 3-29 のとおりとなっており、市全体では「収入が減少しており、景気は悪くなったと実感している」が 42.0%で最多となっています。次いで「収入は変わらず、景気の変化は感じられない」が 26.7%、「収入は変わらないが、景気は悪くなったと感じている」が 23.0%と続いています。

年代別では、若い世代ほど「収入は変わらず、景気の変化は感じられない」との比率が高く、逆に年代が上がるにつれて「収入が減少しており、景気は悪くなったと実感している」との回答割合が高くなっています。

図 3-29 年代別の景況感 (%)

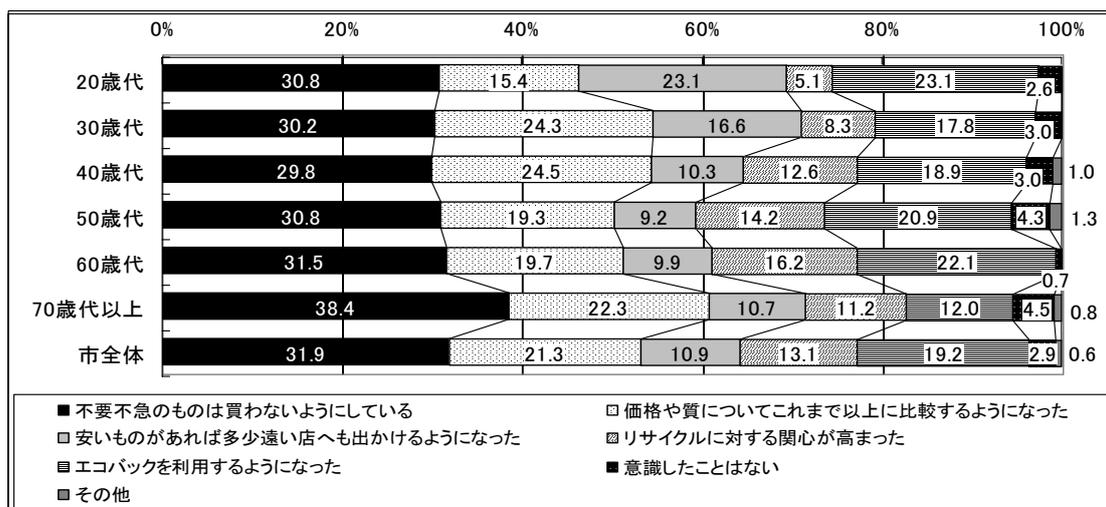


⑥消費者の節約意識

消費者の節約意識についてみると、図 3-30 のとおり、市全体では「意識したことはない」はわずかに 2.9%であり、節約意識が浸透しているとみられます。また、「不要不急のものは買わないようにしている」が 31.9%と最多となっており、次いで「価格や質についてこれまで以上に比較するようになった」が 21.3%となっています。

年代別では、いずれの年代も「不要不急のものは買わないようにしている」が最も多くなっています。

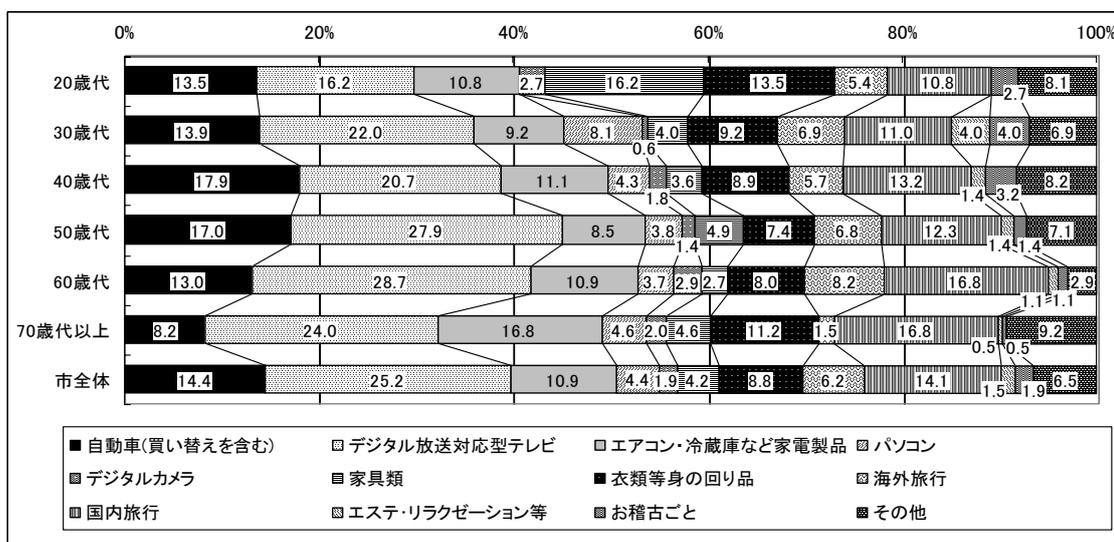
図 3-30 年代別節約意識(複数回答)(%)



⑦収入が増加した場合の購入希望品目等

収入が増加した場合の購入希望品目や使いみちについては、図 3-31 のとおり、市全体では、今後予定されるアナログ放送停止の影響からか「デジタル放送対応型テレビ」が 25.2%と最多となっており、次いで「自動車」が 14.4%、「国内旅行」が 14.1%となっています。年代別では全世代で「デジタル放送対応型テレビ」が最も多く、2 番目として、60 歳代以上が「国内旅行」を、40～50 歳代は「自動車」を挙げています。

図 3-31 収入が増加した場合の購入希望品目等(複数回答)(%)



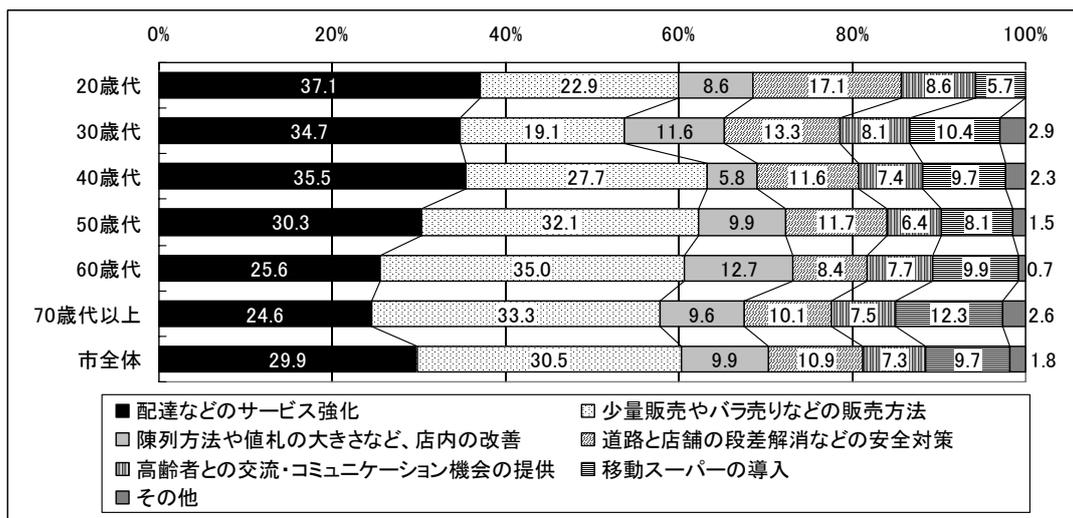
(4) 商業者の取組姿勢

① 高齢化社会へ向けて商業者が取り組むべきこと

高齢化社会への対応については、図 3-32 のとおり、市全体では「少量販売やバラ売りなどの販売方法」が 30.5%と最多で、「配達などのサービス強化」が続いています。

年代別には「少量販売やバラ売りなどの販売方法」は年代が上がるにつれて増加し、「配達などのサービス強化」は若い世代で多くなっています。

図 3-32 消費者の望むサービス(複数回答)(%)

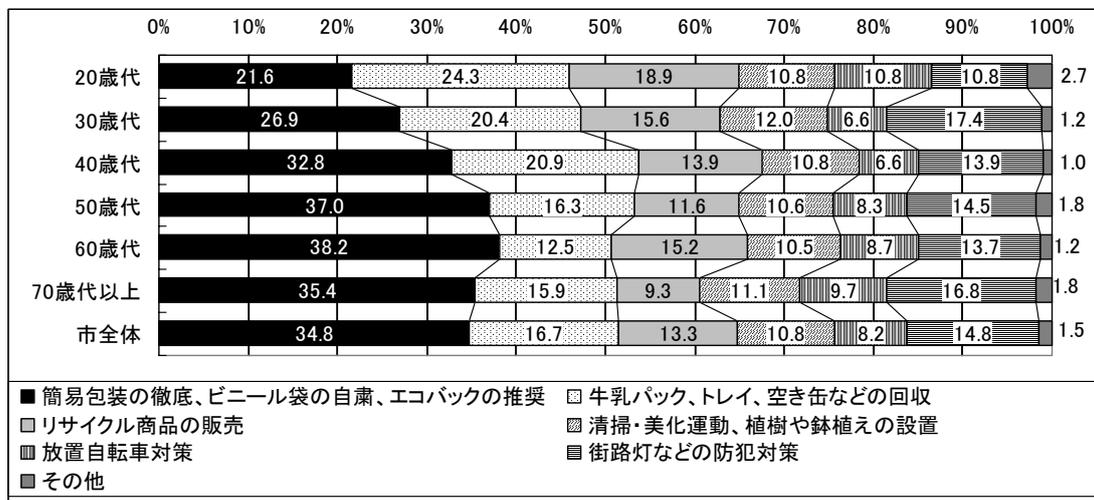


② 商店や商店街の環境保全への取組

商店や商店街が取り組むべき環境保全については、図 3-33 のとおり、「簡易包装やビニール製買物袋の廃止」が 34.8%と最も多く、「牛乳パック、トレイ、空き缶などの回収」16.7%、「街路灯などの防犯対策」14.8%の順となっています。

年代別では「簡易包装やビニール製買物袋に廃止」は年代が高くなるほど比率が高く、「牛乳パック、トレイ、空き缶などの回収」は若い年代ほど比率が高くなっています。「街路灯などの防犯対策」は年代に関係なく 15%前後となっています。

図 3-33 商店や商店街の環境保全への取組(複数回答)(%)



第4章 消費者の意見・要望

1. 自由回答の傾向

今回の消費動向調査において、市内中心部の商店街等の集客力はかつてほどの勢いが
ないことなどから、次の設問を設け、意見や要望を自由に記入していただきました。

- ①「飯能駅周辺の市内の中心部に今後必要と思うもの、力を入れていった方がよいと
思うこと」
- ②「市内の大型店に地域貢献として期待すること」

(1) 飯能駅周辺の市内中心部に今後必要と思うもの、力を入れていった方がよいと思うこと

この点に関する意見・要望等は、543件でその内容は表5-1のとおりです。意見
や要望が多い項目は、以下のとおりとなっています。

意見が最も多かったのは、「街づくりへの要望等」であり、具体的な提案や要望など
が141件に達しています。このうち、「あって欲しい具体的な店舗等」に関するものが
47件あり、東飯能駅の「旧まるひろ百貨店」跡に関して再活用等を望む声が36件寄
せられています。その他飯能市独自の物産の販売や、駅周辺の賑わいを取り戻すため
にスーパーや電気店などの大型店の出店やショッピングモール街の設置を希望するも
の、個人商店でもハイセンスな店やきめ細かいサービスを望んでいます。

2番目に多かったのが、道路の現状と改善を訴えるものが90件あります。
飯能駅北口のロータリーが狭く歩道に信号が無く危険であること、市内道路の狭いこ
と、歩道が未整備なこと、市内を南北に貫通する道路が無いこと、踏切の改良が必要
なことなど、市内中心部の道路状態が全般的に良くないとの声が多く出ています。

3番目は、駐車場や駐輪場の設置を要望するものが69件となっています。多くの
人が、銀座通りや駅前通りに寄りたくても駐車場が無いため寄れないなど、買い物時
に利用できる駐車場・駐輪場が少ないので郊外的大型店に出向いているとしており、無
料もしくは割安な大型駐車場の設置を望んでいます。

4番目は、環境に関するもので56件あり、休憩所やトイレの設置、緑が多い環境の
保持、防犯、街灯増設などを課題として挙げています。

5番目には、地域市街地再開発が必要だとする意見も52件出ています。
街づくりの具体策として、集客力のある図書館・商業施設などの設置や電線の地中化、
踏み切りの改良を含めた中心市街地再開発に関する意見が多く、活気を取り戻す街づ
くりを望んでいます。

6番目は、共働きが多いため、駅中もしくは駅付近に保育所などの子育て施設を設
置してほしいとの声が50件出ています。

また、行政へは、市内中心部に図書館の移設し、充実化を望む意見・要望が27件出
ています。

そのほかの意見・要望として、福祉に関して20件、地域交流関係19件、観光関係
13件となっています。

表5-1 市内中心部に今後必要なもの、力を入れたほうがよいと思うこと

No	大項目	番号	中項目(内容など)	件数	構成比
1	子育て施設	1-1	子育て施設・子育て支援施設	32	5.9
		1-2	買い物中などの一時的託児所	2	0.4
		1-3	子供用公園や遊び場など	12	2.2
		1-4	子供・老人等がコミュニケーションできる場所	4	0.7
			小 計	50	9.2
2	環 境	2-1	環境・環境美化	9	1.7
		2-2	街路樹・緑の保護など	10	1.8
		2-3	街路灯・照明灯の設置など	9	1.7
		2-4	防犯関係	10	1.8
		2-5	休憩所・公園・緑地・トイレの設置など	18	3.3
			小 計	56	10.3
3	福 祉	3-1	福祉施設の充実等	9	1.7
		3-2	高齢者の為の福祉施設の充実	4	0.7
		3-3	総合病院の設置	7	1.3
			小 計	20	3.7
4	地域交流	4-1	地域交流センターの設置・イベント開催	16	2.9
		4-2	幼児・小中学生向けの催し物等	3	0.6
			小 計	19	3.5
5	地域市街地再開発	5-1	市街地再開発関係	16	2.9
		5-2	電線の地中化	5	0.9
		5-3	街づくりの具体策	28	5.2
		5-4	その他	3	0.6
			小 計	52	9.6
6	道路等交通関係	6-1	飯能駅北口・南口関係	13	2.4
		6-2	駅周辺関係	13	2.4
		6-3	銀座通り・駅前関係	9	1.7
		6-4	道路事情	14	2.6
		6-5	道路整備関係	21	3.9
		6-6	バス関係	10	1.8
		6-7	踏み切り関係	4	0.7
		6-8	違法駐車等	6	1.1
			小 計	90	16.6
7	駐車場・駐輪場	7-1	駐車場設置要望など	56	10.3
		7-2	駐輪場設置要望など	13	2.4
			小 計	69	12.7
8	街づくりへの要望等	8-1	旧丸広東飯能店跡地関係	36	6.6
		8-2	大型店・ショッピングモールの設置	10	1.8
		8-3	映画館などアミューズメント施設	8	1.5
		8-4	銀座通り関連	5	0.9
		8-5	子供連れ・高齢者を対象とした施設など	7	1.3
		8-6	若者を対象とした施設など	5	0.9
		8-7	あって欲しい具体的な店舗等	47	8.7
		8-8	飯能独自の物産等販売施設	8	1.5
		8-9	現状に不満	11	2.0
		8-10	現状肯定	4	0.7
	小 計	141	26.0		
9	行政への意見・要望	9-1	市役所のサービスコーナーなど	6	1.1
		9-2	図書館・美術館などへの要望	18	3.3
		9-3	その他	3	0.6
			小 計	27	5.0
10	観光関係	10-1	観光関係	13	2.4
11	そ の 他	11-1	金融機関への要望	6	1.1
		11-2	その他	0	0.0
			小 計	6	1.1
	合 計			543	100.0

(2) 市内の大型店に地域貢献として期待すること

この点に関する意見・要望等は、表5-2のとおり324件であり、意見や要望が多い項目は次のとおりとなっています。

- ①大型店舗に望む事項で一番多いのは、環境問題に関するもので74件あり、内容としては、環境保全、簡易包装やエコバッグ使用、リサイクル活動の推進などです。
- ②次いで多いのは、店内商品の充実化が63件となっています。内容としては、地元物産等の販売、安全・安心な商品の品揃えなど店内商品の充実化を望んでいます。
- ③3番目は、店舗内施設等の充実化で47件となっています。
買物のための一時託児所や子供の遊び場、高齢者が一息つける休憩コーナーの設置、障害者やベビーカーが通れる通路幅の確保など店内施設の充実化を望んでいます。
- ④4番目は、イベントの開催要望とイベントの内容に関する希望が30件出ています。
- ⑤5番目は、市民との交流や交流施設の設置を要望するものが24件となっています。
- ⑥その他、駐車場・交通関係が20件、地域貢献関係13件、その他44件となっています。

表5-2 市内の大型店に地域貢献として期待すること

No	大項目	番号	中項目(内容など)	件数	構成比
1	環境	1-1	環境・自然保護・交通関係など	35	10.8
		1-2	簡易包装・エコバッグの使用など	15	4.6
		1-3	資源ごみの回収・リサイクルなど	15	4.6
		1-4	施設内の公園・緑地化など	4	1.2
		1-5	防犯・防災など	5	1.5
			小計	74	22.8
2	福祉	2-1	福祉対策・高齢者対応など	9	2.8
3	市民との交流	3-1	市民との交流	4	1.2
		3-2	交流の場の提供	20	6.2
			小計	24	7.4
4	イベント	4-1	イベント開催	8	2.5
		4-2	イベントの内容など	22	6.8
			小計	30	9.3
5	店内施設等の充実化	5-1	買物のための一時託児所・子供の遊び場など	14	4.3
		5-2	高齢者等弱者向け施設	13	4.0
		5-3	市役所窓口やコミュニティ施設など	11	3.4
		5-4	カルチャア・アミューズメント施設	6	1.9
		5-5	その他	3	0.9
			小計	47	14.5
6	店内商品等の充実化	6-1	安全・安心な商品の品揃え	11	3.4
		6-2	地元物産等の販売	22	6.8
		6-3	高齢者向け商品の取り揃え	10	3.1
		6-4	商品の充実化	11	3.4
		6-5	その他	9	2.8
			小計	63	19.4
7	駐車場・交通関係など	7-1	駐車場の充実化など	16	4.9
		7-2	シャトルバスの要望・その他	4	1.2
			小計	20	6.2
8	地域貢献	8-1	大型店舗の地域貢献に期待するもの	13	4.0
9	その他	9-1	大型店の設置歓迎	5	1.5
		9-2	大型店は不要・期待していない	13	4.0
		9-3	地元商店の活用・現状肯定	9	2.8
		9-4	東飯能まるひろ跡地の活用	5	1.5
		9-5	行政等への意見・要望	5	1.5
		9-6	その他	7	2.2
			小計	44	13.6
合計				324	100.0

2. 主な自由回答

2.1 「駅周辺を中心部に今後必要だと思うもの、力を入れていった方がよいと思うこと」に対する自由回答の主なもの

(1) 子育て施設

(1-1) 子育て施設・子育て支援施設に関するもの …… 32 件

- ・子育て施設（14 件）
- ・共働きが多いので働く母親のために土曜日保育もある子育て施設(保育所・幼稚園・託児所)や、休日等に子ども達が集まれる施設を、駅近くの買物に便利な場所に設置する。(4 件)
- ・電車通勤者のため駅の近くに保育所があれば通勤が楽になる。夜間保育所もあれば夜働く母親が安心して仕事ができると思う。
- ・飯能は都内勤務者のベッドタウンとして注目されているが、駅周辺施設が不十分。保育所やスーパーが夜遅くまで営業している駅はポイントアップになる。若い世代を呼び入れるなら駅前地区を重点的に「便利なエリア」にして欲しい。共働きが当り前の現在、若い夫婦が子供を育てることが出来ることで市内の少子化は改善されるはず。他市にある病時保育所を作って欲しい。
- ・通勤に便利なところに託児施設があると、少子化対策として有効だと思う。
- ・人口が増えない理由を考えて、もっと出産や育児に安心して対応できる施設を作ってほしい。

(1-2) 買い物中などの一時的託児所 …… 2 件

- ・買い物中の一時託児所
- ・現在育休中ですがベビーカーで駅周辺の商店街を歩くのは、結構きつい。買い物中子どもを一時的に預けられる施設等があるとよい。子育て中は子どもが最優先なので、駐車場から売り場まで、お天気を気にせずベビーカーで移動できる大型店舗ばかり利用しているのが現況である。

(1-3) こども用の公園や遊び場など …… 12 件

- ・幼児・学童用を含む子供の公園や遊び場の設置(4 件)
- ・校庭以外で野球・サッカーなどのボール遊びができる安心な場所が欲しい。
- ・子供を買い物に連れていった時、子供が楽しめ、遊べる場所を作って欲しい。
- ・マンションが多く、子供を遊ばせる公園などの場が少ないので、育児に不安。せっかく飯能というこの清らかで雄大な自然をもっと活用してほしい。昔を思い出して原点に帰って下さい。
- ・小さい子供を預ける施設があり、おけいこやフィットネスクラブや買物もできる様な所があって、映画も観られたり遊べたりできる所があればよい。(2 件)

(1-4) 子供・老人等が交流できる場所 …… 4 件

- ・若い方達の為に利便性の良い所に子育て施設とか、年配の方々のコミュニケーションが出来る場所があれば良いと思うが、何をするにも先立つものが必要であるので、市が豊かになるようなるべく飯能市内での買物等をして市内にお金が落ちるように努力したいと思う。
- ・老人のコミュニケーションがとれるお茶のみ場。
- ・老人や主婦など、世代を問わず集まることができ、消費できる場所がほしい。

(2) 環境

(2-1) 環境・環境美化等 … 9件

- ・環境美化運動や環境保全（3件）
- ・道路に前日からゴミが出してあり、通り難く環境が損なわれる。また、自転車の放置が多いためベビーカーの使用が困難である。
- ・飯能駅北口周辺は飲食店が増えて舗道が油まみれで汚く臭いもするので、店主が責任を持って改善してほしい。商店街のメンバーが掃除しているのが、とても追いつかない様子である。
- ・美しい街づくり、つまり、環境整備と美化に力を注いだらと思う。例えば統一性のある街路樹、ポイントとなるような噴水などの設置である。近隣市街地に無い個性的な街づくりを望む。
- ・「環境問題で地域の活性化を図った市町村特集」は、生ゴミ処理機を商店街に設置し、主婦達が持ち込んだ家庭の生ゴミの量によって買い物ができるポイントが与えられる仕組であった。処理済の生ゴミは肥料として地元農家の畑で利用され、採れた野菜を使って料理コンテストも行ってた。これなら飯能でもどうかと思った。

(2-2) 街路樹・緑の保護等 … 10件

- ・街路樹などの緑化など、緑をもっと多くする。（5件）
- ・ゆったりとした環境・公園・美術館・映画館などゆとりある時間が過ごせる空間。（2件）
- ・植木を多くして、さわやかな場所に。地域交流する位置にする。図書館や医療がある施設を中心にして、バスが各方面に出る位置。
- ・ビルが立ち並び一昔前の飯能とは大分変わってきた。都会的になり便利になったが緑が減って寂しい。各家庭に石榴の木を配り、石榴並木を作り、石榴を溢れさせて、石榴と言えば飯能を思い浮かべられる様に推進して欲しい。花や木をもっと植えて、ほっとする空間を作って貰いたい。

(2-3) 街路灯・照明灯の設置など … 9件

- ・駅周辺の道路（通勤路等）の街路灯が暗すぎる。防犯上もっと増やして明るくする。（6件）
- ・一步路地に入ると街路灯がない所がある。裏通りに慣れている人や車の人達は感じないかも知れないが、冬場だけでも街路灯を増やす事は出来ないか。
- ・イルミネーション等で夜を明るくし、行ってみたいくなる楽しい街並。
- ・深夜の無駄な照明をやめ、自販機もむやみに増やさない。

(2-4) 防犯関係 … 10件

- ・治安の確保・防犯の強化。（7件）
- ・小学生を巻き込んだ事件・悪質な事件が多く発生している昨今、事件の起こる前にある程度対策すれば多少は防いでいけるので、対応方法・手段を取って貰うと明るい町作りにつながる。

(2-5) 公園・休憩所・トイレの設置など … 18件

- ・公園が少ないので増やして欲しい。（2件）
- ・ベンチ類があると疲れた時など、高齢者が買い物した後、ゆっくり休めても便利。（5件）
- ・スーパーや百貨店には、椅子が所々にあり気軽に休め、食事やお茶が飲める場所がある。駅の周辺や商店街の一角にも休む場所があれば、若者も老人も小さな子も立ち寄るのではないか。

- ・公衆トイレがもう少し必要だと思う。(6件)
- ・飯能駅北口と、南口の近い所に、ハッキリ分かる喫煙コーナーの設置。
- ・自然をもっとアピールして、市への外部からの出入りを多くし活気ある街づくりにしたらよい。
- ・飯能市だけではなく、店舗の前に小さくとも良いので広場が欲しい。

(3) 福祉

(3-1) 福祉施設の充実化 … 9件

- ・福祉・福祉施設の充実。(6件)
- ・福祉により交流できれば、地域の活力としていきたい。お互いに心置きなく話しができると思う。
- ・福祉・社会教育実施(図書館etc)を駅前誘致して、充実公開された駅前作りをすべきである。

(3-2) 高齢者のための福祉施設の充実化 … 9件

- ・高齢者のための福祉施設の充実。(2件)
- ・介護施設を多く作って欲しい。お年寄りの施設が欲しい。憩いの家。

(3-3) 総合病院の設置 … 7件

- ・飯能市に総合病院があるといいと思う。(5件)
- ・医療施設やリハビリ施設などが、交通の便の良い駅周辺にあると高齢者が利用しやすい。

(4) 地域交流

(4-1) イベントの開催・地域交流センターの設置 … 16件

- ・市内に地域交流や情報発信基地のような集客施設があるとよい。
- ・誰でも入れるコミュニティ施設の設置。
- ・老若男女を問わず集えるコミュニティセンターがあると、ひとり暮らしの人や他者とのかかわりを持つ機会のない人にやさしい街になると思う。
- ・老人・女性・子供の施設の他に、働き盛りの30～50才前後のコミュニティ施設を作してほしい。
- ・狭山市にあるサピオのような施設は、子供からお年寄りまで交流の場として良く、運動もできるので健康維持にもつながる。
- ・若者・子供達に魅力あるコミュニティ広場
- ・市民同志の交流の場(スポーツ施設等や外国語の講習等)
- ・緑や噴水がある公園、ジョギングや散歩で地域の人と交流の場になる様。
- ・少子・高齢化社会に入り、市街地と郊外、子供と年寄りの交流施設を是非とも建設してほしい。
- ・以前の東飯能駅の丸広のように地域交流の場となり、イベントなどが企画されるともっと人が集まると思う。そのためにも生涯学習センター的なものの一部として子育て施設的な場もあると買物するのに便利である。市内に駿河台大があるので、学生が市民とともに学べる場にもなるスペースが大切になっていく。そこでの交流が市民の活性化にもなるのではと考える。

(4-2) 幼児・小中学生向けの催事等 … 3件

- ・児童センター(図書館、プラネタリウム、乳幼児・小学生も動き回って遊べる室内、お年寄りも活動できるような室内)や、ブラッと立ち寄れる店、昭和の香りがある店、今はやりの店がある

と、老若男女が楽しめる（例えば川越のような）。行楽で飯能へ来た場合、駅周辺にこのような所があると立ち寄って行こうと思うのではないか。

- ・小中高校生が安心して遊べて交流が出来る環境。

(5) 地域市街地再開発

(5-1) 中心市街地再開発関係 … 16 件

- ・駅周辺の中心市街地再開発（9件）
- ・中心市街の再開発で人口増、及び市の発展を。
- ・再開発をして、駐車場・駐輪場も増やしてほしい。

(5-2) 電線の地中化 … 5 件

- ・中心市街地再開発、特に電線を地下に入れる事、そうすれば広々と空間が出来、環境にやさしい清流の流れる観光都市飯能になるのではないか。（5件）

(5-3) 街づくりの具体的提案 … 28 件

- ①現状：市中心部は、踏切と川に囲まれ特別な用事がない限り行く気がしない。
- ②道路：青梅と狭山日高インターの間に市中心部が来るように新道路を建設し、駅周辺には店舗・事務所・住宅を有する高層ビルを造り、都市部の人口を増加させる。
- ③希望：高麗駅と東飯能駅間に新駅を設け、新駅と飯能駅、東飯能駅をT字に結び、広い歩道のある商店街を造る。商店は小公園を必ずはさんで片側は若者向けの店舗、もう一方は高齢者向けの店舗を設ける。歩道は広く、車道は納品車両のみ進入可として、裏通りは駐車場を多くし、ゆっくり買物ができ、歩道や商店街で買い求めた物を飲食できるようにする。（参照として、横浜元町、川越西町通り、秩父仲店通り等）都内及び周辺の者が飯能近辺の豊かな自然を楽しんだ後のんびり買物やくつろげる都市を目指す。若者も高齢者も集まり、楽しく過ごせる町とする。
- ④地域への意見：相対的に保守的で新しいことに挑戦しない、社会基盤が弱く、道路は鎌倉時代とほとんど変わらない。何もしなければ反対もなく、平穏なのかな。
- ・多くの人が買い物を楽しめるよう商業施設の充実を図り、人が集まる飯能をアピールする。その為にも中心市街地再開発が必要である。特に東飯能の丸広が撤退後そのままの状態ですぐ暗くさびしい。早期に大小スーパー・コンビニ・映画館・図書館などを積極的な企業誘致する。飯能市ならではの特色を生かせるよう商店街等、飯能市と連携を密にし、商売に対しやる気を出せる街づくりができれば活性化に繋がるのではないかと思う。
- ・ごちゃごちゃと店を増やすのではなく、シンプルな美しい街づくりを心掛けて欲しい。散歩がしたくなるような石畳のある商店街。おしゃれな小物を扱うような店で、女性に人気のある店が出来ると客足が増え、自然とその通り全体が活気づくと思う。市立図書館の設備が整備されていないので、書店が店内に椅子を設けて子ども用や大人にもゆっくり本探し出来る店にしてほしい。
- ・川のある自然の美しさを満喫出来る公園を作り、他市からの観光客も呼び込める程に思い切ってデザインをしてもらい、市民の憩いと魅力のある飯能市をアピール出来るものにする。
- ・ジムや屋内型プール・カルチャースクールや子育て施設等の複合型の施設が良い。中央図書館も老朽化が進んでいるので、公民館+図書館+体育館+子育て施設の役割をする公共施設が良い。

- ・イベント開催や空き店舗を無くして商店街の店を充実させる。昔の感じや昭和の感じなど雰囲気のある街づくり。若い人が集まるような子育て施設の充実。公園が少ないので屋内で遊べるような施設。健康に気を使った店やcaféなど。古いものと新しいものを融合させた街づくり。飯能の町中は、路地など歩くととても楽しいので、店の紹介や散策コースなどのMAPがあると面白い。
- ・図書館・コンサートホール・診療所・集会所など人の集まる施設を作る。
- ・イベントホール等集客力のある施設が必要である。(4件)
- ・駐車場付きのショッピングモールを駅周辺に作って、市外からも集客できる様にする。習い事のできる施設。(2件)
- ・北口市街地再開発(西武線八高線踏切の立体化。街路樹等環境整備を含む)
- ・近隣から来ている方が便利に感じる街づくり。
- ・歩行者専用区域を作り(駐車場別途必要)、子供達が走り廻れ、親がゆっくり買物出来る方法も。
- ・歩道の整備、中央図書館から名栗に向かう方面の歩道、けやきの根元を縫うように歩道を広げたらどうか。国立市のような町にしてほしい。緑がたくさんあって、人々が町に出て来ると思う
- ・子育て施設にはベビーカーが利用しやすいバリアフリーがとても大切だと思う。
- ・シャッターのしまった店をなくしてほしい。

(5-4) その他 … 3件

- ・商店街をシャッター通りにしないで守ってほしい。マンションやビルなど高層な建物は建築できない様にし、開発しないで昔ながらの町並みを残してほしい。
- ・高層化して人口を増やす事。回りに広げるとドーナツ化してしまう。ドーナツ化すると自然は失われ、学校・病院・道路・上下水道など、ムダな税金がかかる。
- ・風俗店等が多く、夜8時以降は街の雰囲気が一変する。帰路はもちろんのこと、一旦家路についてから再び家を出ようとは思わない。夜の治安を守って欲しい。今現在空いているテナントがいつ風俗店に様変わりするか心配している。

(6) 道路等交通関係

(6-1) 飯能駅北口・南口関係 … 13件

- ・飯能駅北口からみずほ銀行への横断歩道と車道との段差が大きい。ベビーカーで横断歩道を渡っても歩道に上がるにはベビーカーを抱えないと上がれない。信号が無いので車は来るし、危険。他にもベビーカーは何とか通れても車イスでは無理と思われる箇所が多数ある。
- ・飯能駅の北口ロータリーは車が多く横断時に人と車の流れがスムーズにいかない。また、駅前通りは駐車が多いので車がスムーズに流れない。歩道にも自転車などがあり歩くのも危ない。何とか買い物をしやすくしてほしい。
- ・飯能駅前のみずほBK前歩道は、車が徐行しているので事故発生はないが、高齢者が横断時に時々危ない場面が見られる。立地条件で改良不可能と思うがいい方法はないものか。
- ・駅前北口ロータリーが狭くて非常に困る。自動車と歩行者がうまくいくように整備してほしい。
- ・飯能駅前北口の歩行者と車の関係に特に危険性を感じるので、安心して通行できる様に願いたい。
- ・とにかく駅周辺に活気がない。車の往来だけは多くて、買い物などをする歩行者が、飯能駅北口の道を渡るのも危なく安心して買い物を楽しむ雰囲気ではない。駅周辺に用事のない車が、駅前を通らなくて済む道や、駐車場も車や人の流れを考えて作るなどの交通、道路整備をしてほしい。

- ・飯能駅南口に歩道橋があると良い。又は信号。歩行者と車でいつも混雑している様子で危ない。特に歩行者は走って横断歩道を渡っており危険。
- ・飯能駅周辺の道路の整備。北口⇔南口にぬける道があればいい。(2件)

(6-2) 飯能駅周辺関係 …… 13件

- ・駅周辺は道が狭く駐車場も少ないので、もっと道幅を広くすればよい。狭くても一方通行ではないので、すれちがう時に道が混んでしまい、車が人や自転車等とすれちがう彩の危険が多い。歩道も少ない。もっと人にやさしい市であってほしい。
- ・駅周辺の道路が狭すぎるし、車で買物したくても駐車場がない。駅周辺の中心部に明るさがない。
- ・駅周辺の道路の広さは歩行者への安全性に欠ける。全体的に明るいイメージがあった方がよい。
- ・駅周辺部は特に道幅が狭い。歩道をもっと取らなければ、自転車や子供達の安全も確保できない。
- ・駅周辺は車が多く、歩道が狭い。歩道があると子供も老人も出かけるときに安心できる。
- ・駅周辺は市街地に偏らず、山間地域(東吾野、吾野、原市場、名栗など)の幹線道路沿線ゾーンを中心にコミュニティの形成、にぎわいを求めていきたいと思う。
- ・駅の広場にゆとりのスペースがあるといいな！樹木とか花・ベンチ。

(6-3) 銀座通り・駅前通り関係 …… 9件

- ・銀座通りの駐車は如何と思う。道を狭くし、走って来る車両が怖くて安心して歩くことが出来ない。
- ・銀座通り商店街には100台以上の駐車場の確保が必要と思われる。各店舗とも現在は特長がない。このままでは大型店舗には太刀打ちできない。一店一店が魅力を感じる店作りがよいと思う。客が寄ってくる商店街作りが早道か。
- ・駅前通り線の駐車禁止の徹底。飯能駅前の市街地再開発として、駅への歩行と車の右左折を安全に出来る様に歩行専用の信号を設置してもらいたい。
- ・駅前の道路の混雑、迂回路等と駐輪場などの整備。
- ・川寺に住んでいるが、買物に駅周辺へ行くには道幅が狭く歩道がない所が多いため、子供連連れで自転車や徒歩で行くには不便。車で郊外的大型店には行くが、駅周辺の店には行かなくなった。

(6-4) 道路事情 …… 14件

- ・道路の整備。飯能は車利用人口が多いがそれに見合う「安全で、見通しがよく、運転しやすい」道が少ない。道の拡張、通行量の多い箇所の歩道用スペース確保をし、人も車も安心して出かけられる街づくりを長期的視点で行ってほしい。商店街へ行きたくても「狭い、危ない、わかりづらい、駐車しづらい」では、結局大型店へ気持ちが向いてしまう。
- ・違法駐車が依然としてあり交通の妨げとなっている。放置自転車が減少は良い傾向。今後も取締りを強化して欲しい。駅周辺はその街の顔とも言えるので、美しく整理されているのが望ましい。
- ・東西南北に抜けられる大きな道路、駅前には大駐車場の完備、歩行者道路の段差をなくしベビーカーでも楽にすれ違いが出来るように。まずは人が集まる条件を揃えないと、良い商品があっても代替品で我慢してしまう。市街地の活性化のためには「道路完備」しかない。
- ・サビア前のスクランブル交差点の良否は分からない状態。午後5時頃サビア前は駅に向かう車線が橋の上まで渋滞する。以前はなかった。昼は、図書館から駅側へ向かう車線が渋滞する。
- ・美杉台から北口に行く道路が整備されておらず、アクセスが悪い。駐車場が充実していない為、

入間や青梅のほうへ買物に行っていると思う。

(6-5) 道路整備関係 … 21 件

- ・道路整備（拡幅・歩道の設置など）。（7件）
- ・飯能市の場合、駅をはさんで北と南の道路が通じて居ないので大変不便。自動車や自転車、人が通れる丸広通りがまっすぐ南に抜ける道があると良い。地下道等できないものか。（5件）
- ・歩行者道路の整備（商店が品物・道具類を歩道に置いている）。（3件）
- ・道路の幅を広く、人・自転車・車それぞれが余裕を持って動ける様にした方が良い。
- ・飯能駅前南口の駐停車スペースの確保。多少歩道をせばめても良いから車道（ロータリー付近）の幅を広げるべき。今後、マンションの建設等で車が増えることが予想されるので、可及的速やかに実施して欲しい。
- ・飯能駅北口(丸広通り)の道路は狭い。地方の駅前通りは三車線である。観光地であれば拡幅すべし。

(6-6) バス関係 … 10 件

- ・バスの本数を増やし駅へバスで行けるようにして欲しい。
- ・バスの発車回数が少ないと乗りそこねた場合や、接続が悪いと待っていなければならないので、待合所があればよい。
- ・狭山市や入間市行きバスの本数も増やしてほしい。今の飯能に住んでいると、車がないと生活しにくく、駅からバスや電車を利用するにも本数や防犯面を考え、利用したくても殆ど出来ない。
- ・市民・老人を含めた市内循環バスを運行してほしい。（3件）
- ・駐車場か市内バス（市役所・図書館・市民会館・駅・病院などをまわるマイクロバス）。
- ・市バスなど公的交通が不便。バスの本数も少ないし、高い。無料バスとかあるといい。

(6-7) 踏み切り問題 … 4 件

- ・踏み切り等渡る時の歩行者と車の区別が出来たら良い。（例えば歩行者専用道路等）
- ・道路特に踏み切り対策が必要
- ・踏切多く、道路が狭く、一方通行も多いので駅を渡るのが非常に面倒である。
- ・元加治駅岩沢側の踏切が狭いので、巾を広くして欲しい。車が、2台すれ違いが出来るようにしてほしい。事故があつてからは遅い。あの踏切は危険が一杯あるので至急お願いしたい。

(6-8) 違法駐車問題 … 6 件

- ・飯能駅前通りの両側を駐車禁止にし、歩道上の自転車や置き物も取り締まってほしい。（4件）
- ・中心商店街は車の違反駐車が多く、車で買物等が遠のく。駐車場のある他市の大型スーパー等へ出かける方が安心して買物出来る。当市は時代への移行が立遅れている感がする。車社会の為、安く豊富な品揃えが有る大型総合店へ流れてしまっているのが現状である。

(7) 駐車場・駐輪場関係

(7-1) 駐車場の設置要望 … 56件

- ・有料・無料・公営を含めて、駐車場の設置。（31件）
- ・美杉台からはどうしても自動車でとなってしまうので駐車場(できれば無料)がほしい。でなけれ

ば、バスの本数を増やす等。

- ・駅の送り迎えの際、乗り降りがしやすいロータリーにしてほしい。(2件)
- ・安い駐車場があれば、ゆっくり街中を歩いてみたいと思うが。今は通り過ぎるだけである。
- ・有料駐車場でも安いのを望む。例えば、電車利用の場合で1泊旅行に行く時、プリンス駐車場等は何千円もかかるので安くなると思う。
- ・駐車場が有料なので、駐車場のあるサークル活動(友好)ができる場所があるとよい。市内の友人はもちろん、他市の友達を呼んで交流の時間をもちたい。
- ・飯能駅を念頭に調査されているようであるが、西武鉄道沿線の駅でも駐車場・駐輪場(特に老人用の電動車・電動自転車用)の拡充を望む。老人が自動車以最寄の駅まで行き後、鉄道を利用するといった形態が今後進むのではないか。
- ・パーク&ライド。車が止められる店には人がいると思う。
- ・移動には車を使用するので駐車場を充実させてほしい。どんな商品をいくらで売っているのかよくわからないので、もっと商店は宣伝してみた方がよい。魅力ある商品や陳列を望む。中・高生は映画館などもあるといいとのこと。おいしいスイーツの店などがあれば女性客など集まると思う。
- ・駅周辺にちょっと用事がある時の車の駐車に困っている。少し止められる駐車場があると便利。
- ・駅付近だと店も多い為、どうしても路上駐車の車が多くなり、運転している方も歩行者の立場からも危険である。駐車場の確保を希望する。安い方がよい。
- ・駅前通り、銀座通りの違法駐車が多く車で買物に行く気が起こらない。駐車場のある郊外等の大型店に行ってしまう。買物時の駐車無料券配布をもっと宣伝すべきである。歩道に商品を陳列している店舗が多く歩きにくく苦勞する。駐車も多い。
- ・大型駐車場がある総合スーパーが駅周辺にもっとあると良い。商店街は駐車場がなく品数が少ないため、利用者が減少傾向になっていると思う。
- ・車を交通手段としているので駅周辺には興味が無い。路駐等で道は狭く大型店しか駐車場が充実していない。あっても見るだけでは料金がかかってしまう。それなら確実に購入出来る店に行った方がよいので他市街地もしくは郊外の方が良い。駅周辺部は電車利用者に便利であれば良い。
- ・車を利用して買物をするので、駐車場がないところは避けている。
- ・商店街の近くに無料の駐車場があれば、スーパーばかりでなく商店街に買い物に行きたい。
- ・大型の駐車場を整備する、そして商店を配置する。
- ・歩き回れるように低価格の駐車輪場が欲しい。行きたい所はあるがバスで行く程でもない。
- ・飯能駅前の商店街など、ゆっくり回りたいと思っても、駐車場がないので回った事がない。飯能の場合は車で移動が前提だと思うので、そこが残念だ。

(7-2) 駐輪場設置要望 … 13件

- ・飯能駅北口の車で送迎をスムーズに出来るよう、自転車置場を整備してほしい。(9件)
- ・駐輪場、無料で利用できる大型駐車場。(2件)
- ・駅周辺の放置自転車を撤去すると、安全できれいになる。自分勝手に指定外の所に置いていく人がいる。学生達が自転車で何人も横並びに走るとこわい。
- ・駅周辺の放置自転車対策の強化をされたい。

(8)街づくりへの要望等

(8-1) 東飯能駅周辺と旧丸広東飯能店跡地関係 … 36 件

- ・東飯能駅周辺の再開発の必要を強く感じる。東口、西口を含めてショッピングモール等の導入や道路整備、中心街への人の流れをよくするためにも駐車場の設置、整備が絶対に必要だ。これは飯能駅北口、南口にも一部当てはまることである。
- ・東飯能駅の丸広跡を新しく地域交流の場として、図書館や店舗など入れ、活性化して欲しい。
- ・飯能駅のまるひろが閉店してしばらく経つが、このままでは東飯能駅周辺が活気づかず、近くの住民達や駅利用者達もさびしい限りだと思う。早急に建物の利用が復活するよう願う。
- ・丸広百貨店（東飯能駅店）跡の商店等による早期再開。（25件）

(8-2) 大型店・ショッピングモール等の設置要望 … 11 件

- ・中心市街地に駐車場のある公共施設を造れば、帰りに商店街で買物が出来る。飯能は環境が良い。緑が多いので将来のため教育と子育てに力を入れ、若い人達が安全で安心して住める町づくりをして下さい。
- ・飯能市内は狭いし活気がない。人間も暗い。大型店を作って、飯能市内のお店を持っている方々の出店希望を取り、店舗として大型店に入れてあげると良いと思う。
- ・色々な物が一度で購入できるモールのような店舗があれば、他の所へは行く人が少なくなると思う。一日家族でいても、良いような所。
- ・買い物に行きたい施設としては、車で行って、商店が近くにある所に行く事が多いので、安価なものから高価なものまで、バラエティに富んだ品物をそろえた総合施設がよいと思う。大きい物は、サービスが良いとそこに行くが、どこも同じだと品揃えの良い所、食事もお茶も出来る所へ行く。パン等は、自分の好きなパン屋さんへ遠くても買いに行く。
- ・商店があまりにバラバラなのでアーケードなどでまとまりをもったものが欲しい。

(8-3) 映画館などアミューズメント施設 … 8 件

- ・映画館がないので作って下さい。（4件）
- ・人が集まれる大型レジャー施設（映画館など）の設置はどうでしょうか。
- ・近くにあればいいと思うのは安く見られる映画館。おいしい惣菜屋さん。それとリーズナブルなスーパー。難しいことを考えている訳ではないが、これだけでもあるともっと活気づくと思う。

(8-4) 銀座通り関連 … 5 件

- ・駅前、銀座通り車が多くてゆっくり買物が出来ない。せめて銀座通りだけでも、車を通さず、ブラブラしたい。
- ・小売店が大型スーパーに対抗するには、商店街の集約が必要だ。飯能銀座商店街でいえば、共同駐車場の確保、肉屋、魚屋、八百屋、荒物屋、酒屋、米屋、そば屋、寿司屋などがそれぞれ専門店として上級であり個性豊かな店作りをしつつ、運命共同体として商店街が結束する必要がある。
- ・飯能の街中も銀座通りもさびしくなっている。空き店舗など利用してコミュニケーションの場などの開設。特にシルバーの立ち寄れる場所などがあつたらいいと思う。

(8-5) 子供連れ・高齢者を対象とした施設など … 7件

- ・子育て施設、福祉、カルチャーセンターなど人が集まって来る様な施設の設置やイベントを企画し、特色ある店と商品の販売を心掛けて欲しい。
- ・子供連れ、高齢者に優しくてあたたかいこと。飯能に住んでいて良かったと思える心の充実感。自然はみごとで私は飯能が好きになった。駅ビルペペがもう少し何とかならないかなと思う。自然食品店があつたりトカ。
- ・オムツ交換や授乳などゆとりを持ってできる場所がないのと、子供連れで入れるトイレが少なく、子供連れは商店街などには行きたいとは思わない。ベビールームなどの充実を。
- ・高齢化が進むこれからの時代に合った、お年寄りが一カ所で、ゆっくりと安心していろいろな買物ができる店舗が駅に近い所にできたらよい。

(8-6) 若者を対象とした施設 … 5件

- ・若年層をターゲットとして、ファーストフード店、映画館の設置。
- ・商店街がもったいないと思う。川越のクリアモールのように、若者向けの店も出店し、既存の店も努力し良い部分をもっとアピールすると活気が出てよいのではないかと思う。できれば、シネコンが出来るとういこと。とりあえず人の流れを作り、飯能の良さを（自然など）アピールする。
- ・若い者がウィンドウショッピング出来る華やかさと活気のある町にするには、雨天でも街を歩けるアーケードを作る。飯能市の10万人足らずの地域にこれ以上大型店を許可しない事。

(8-7) 具体的な店舗の要望等 … 46件

- ・飯能駅は道路が狭く、大型のスーパーなどが少ないが、人口が限られている中で大型店をつくっても維持できないことを考えると、小規模でも質の良いものを扱っている上品で楽しい店、買物だけでなく行けば「良かった」と思えるような雰囲気のある店舗があつたら良いと思う。
- ・人口が少ないにかかわらず、商業施設が飯能駅と東飯能に分散しかけているのが問題。町の活性化のためには一箇所に集中して魅力ある町づくりをすべきである。このままでは入間、所沢に客が流れてしまう。南北道路を早急に開通させてほしい。
- ・大型店の影響か商店街も淋しく、益々足が遠のいてしまった。やはり飯能の自然を残しつつ、たとえ100円のもので、あそこのお店のあれが食べたいと思わせる工夫をし、そういう店が並ぶ商店街にしてもらいたい。
- ・市内商店街の活性化。個人商店ならではのきめ細やかなサービス、専門店としての情報・技術等を駆使し、人々の暮らしに密着した温かみのある心のこもったやすらぎの空間というような商店街をつくる。地場の産物を売るのも良い。周辺に駐車場を設け、商店街は歩行者専用にする。各商店が協同で商品を仕入れるなど、品質・価格の安定に努めることも必要だ。
- ・駅周辺に活気をつけた方がいい。周辺は大型商店の進出で商店街はドーナツ状態である。商店の中には接客態度が良くないお店もあるし、駐車場がないので安心して買物ができない。
- ・本当に銀座通りのシャッターの多いことが残念だ。駅北口を降りても居酒屋とパチンコ店などが目立つ。やはり買い物をするというのは町の持つ印象が大切だ。双柳方面は多くの新しい店ができてきているが、線路を2つ渡るという気の重さが、足を遠のかせている。駅の向こう側へは行きづらい。丸広だけでなく何か大きなものでもあればと思う。
- ・何しろ駅周辺は狭いと思う。狭いので、大型の駐車場とか作っても道も込むし、商店街とか活性

化させるのなら、駅の乗降客とかりサーチして、学生が多いなら、若い人の行くお店とかあるといいし、無料の巡回バスなどがあればお年寄りには便利。でも、お店自体数が少ない。親切だったり、専門的だったり、魅力的なお店が並ぶとうれしい。

- ・南側は良いが、北側が後回しになってしまっている。北側の道路など、商店を見直したら良い。銀座通りに車を入れずアーケードにし、バスから降りてすぐアーケードに入れば買物がしやすいのではないかと。通りには昔ながらの良いお店があるので、ゆっくり歩いて買物をしたい。
- ・店の目玉や特徴のPR。宣伝カーとかタウン通信の発行で情報の提供を。土・日曜、遊歩道を設け、家族で買物。お楽しみコーナーも。荷物を持っているので一休みできる椅子があったよ。
- ・路面に接した大型書店やコーヒー店（禁煙）や観光客を意識した飲食店や美容院の数の多さをうまく利用できるようにしてはどうか。特にうどんのレベルが高いので、もっと効率よくアピールしてはどうか。
- ・駅前に商店街があると便利に感じる。
- ・同じ職種の商店が多くあった方が、人が集まって来ると思います。
- ・雑貨店・趣味の味などの充実。買物だけでなく「見たいなあ」と思える店。又、編物カフェやのんびりできるスペース、集まりたくなる様な店。下北沢・吉祥寺・中野ブロードウェイの様に、昔からある商店街で今も活きている街を見習って欲しい。
- ・シャッターを閉めている店をなくし、小さな店が集中している通り、鎌倉にある小町通りの様な街を作る。
- ・専門的でハイセンスな商店街、ウィンドウショッピングなど、ブラッと歩きにだけでも行きたくなるような街並みを。
- ・他地域から若い人達がやってくるような施設。「飯能に行こうか？」といえるような環境作り。
- ・土曜日・日曜日の商店街の朝市などどうだろう。
- ・肉・魚・野菜・果物の生鮮食品については、或1ヶ所に集めた集合商店街区を作って欲しい。
- ・ファーストフード店。子供と一緒に出かけの店がなく、市内で買物する機会がない。平日は市内で食品を少しだけ、休日は車で出かけ大量購入してしまう。市内のスーパーには良い品物がなく遠ざかってしまう。
- ・まち中水族館、木馬など市では力を入れているのは分かるが、アピール性が足りないと思う。

(8-8) 飯能市独自の物産等販売など・・・8件

- ・飯能市の古い町並み保存により、特徴ある商店街の復活。
- ・飯能市の道の駅、地場産センターなどを開設し、飯能市の産業、物産など観光客・市民など1つのところで飯能市の特産品などを購入したり、食べたり体験したりなど、市民も行ってみたいと思えるようなものを作る。
- ・飯能の名産品、飯能で作っている野菜・食物などスーパーではなく、駅に降りたら買えるとよい。
- ・飯能にしかない物産を、積極的に売り出して、スーパーなどに取り入れてほしい。
- ・力を入れて欲しいもの。飯能といえば〇〇というふうな他県に手土産になるようなものがない。“ざくろの里”といっても木の本数も少ないし、どの辺りが“ざくろの里”なのか？駅周辺にして欲しいですね。
- ・地元根付いた“これぞ飯能”と思えるもの。具体的には、まだ分からないが。飯能は、駅周辺に商店・デパートがありよく利用するが、少し離れた場所に住宅があるため、車を利用することが多い。

いくら以上の買物で駐車料金の割引というのではなく、車を自由に止められるようにして欲しい。以前の東飯能マルヒロは大変便がよく、車もよし、悪天候でも駅と直結していてとても助かった。今は残念。駅周辺では、ゴミが多く見られ、不衛生を感じる店も多いので、市として衛生の向上に力を入れ、環境をよく整備することも集客力アップにつながると思う。

(8-9) 現状に不満 … 11件

- ・商店の閉店が早すぎる為、買物が出来ない。
- ・年令的に駅の方にも外出することはなくなり、これという事は思いあたらない。マイカーで出かけてしまうと、商店街へはほとんど用事がない。市外へ出かけることが多い。最近、全国的にシャッター通りと言われているが、商店が少なくなって買物客はだんだんと足が遠のいてしまう。店主も昔のままではなく、客を呼び込む催物等を計画して欲しい。店での販売品のマップなどの作成はどうか。
- ・パソコンで知りたい情報を無料で索できる場所があると便利だと思う。気に入った商品をパソコンで注文もしたい。パソコン操作が苦手な人は、フリーダイヤルでオペレーターが答えてくれるとありがたい。飯能市の商店の宣伝になり、注文があれば売上に結び付くと思う。以上の事がコスト的に難しくても、商品情報のホームページやアドレスを広報にのせ多くの人にPRし、意見を書き込めるようにしてほしい。
- ・入間市にパート勤務しており、殆ど入間市寄りの店で済ませている。飯能の商店街は丸広東飯能店があった時は車でよく行った。銀座通りの商店も閉まっている所が多くわざわざ行く事はない。もっと飯能の人口が増えれば活気付くでしょうが、下水道が整っていないし、住みにくい。
- ・駅周辺に住んでいるが、人通りが少なく市内でショッピングしている人をあまり見かけない。ブラブラして楽しい所がないので、商店街は目的の場所へ目的の物を買に行く所という感じです。

(8-10) 現状肯定 … 4件

- ・電話、病院、百貨店 スーパーも揃っているのだから、特別新しくは必要ないと思う。駅に向かっていくと百貨店が入口に設置したイスがコミュニティの場になっていると思うし、「まち中水族館」も中で泳ぐ魚を見ながら、子供からお年寄りまでの話の場になっている。駅に向かって行くと、人々とのふれあいのチャンスが出来る。

(9) 行政への要望等

(9-1) 市役所のサービスコーナー … 6件

- ・公共施設、大きな図書館、保育園、若い人たちの子育て支援により、少子化対策となる。特に駅のそばにあると便利だと思う。
- ・公的サービス施設。今、住民票などをとることができる施設があるが、もっとサービスや機能を増やして欲しい。
- ・市役所営業時間延長して夜間や休日に住民票が取得できる施設。夜でもやってるJRみどりの窓口を飯能駅に必要。

(9-2) 図書館・美術館などへの要望 … 18件

- ・図書館の充実化のため、市内中央部への移設（9件）

- ・市の図書館（大人用）が必要。現在の建物は古くて行く気がしない。本の種類も少ない。
- ・ぜひ図書館を建ててほしい。今の場所は非常に利用しづらい。他の市にはりっぱな図書館があると思う。子供ともよくその話をしている。
- ・地域交流の場としてミニ図書館、多目的ホール（展示物、お茶会）があると良い。高齢化が進み、歩いて参加できるような場所、又、駅に近い場所に望む。
- ・図書館や子育て施設など、そこで時間を過ごせる場所、人に会える場所をつくり、買物したり、本を読んだり、借りたり、人とおしゃべりしたりする空間や、拠点となる場所が欲しい。図書館も商店街も、日曜や日・月の連休などに休業になるが、その時こそゆっくり時間をかけて品物を選んだり、本を読んだり、借りたりしたいのにできない。市民にとっては使いづらく過ごしにくい。ただ単に用をすます場所になってしまっている。
- ・図書館等公共施設が駅付近にあれば便利。市役所関連は駅ステーション内にあり便利になった。
- ・書籍数が少なく、狭いので、図書館の充実化。子供の教育、成人においても必要だと思う。
- ・文化施設が少なすぎる。せめてまともな図書館のひとつくらい力を入れて計画してほしい。大人から子供までゆっくり過ごせる場にしてほしい。
- ・駅周辺に住んでいるため、コミュニティ施設がどんどん遠のいていくような気がする。図書館も又、遠くなりそうだ。中央公民館は移転させないで絶対にあそこに残してください。福祉施設も車移動で遠くへ運ばれるだけ。最近街中に老人が見当たらないと言う人がいますが、これはその最たるものの1つだと思います。あまり僻地へやらないで。
- ・美術館。（2件）

（10）観光関係

（10-1）飯能市内の観光施設の案内板の設置等・・・13件

- ・“観光飯能”を目指し、駅から市内を通り、河原、山へ行く道の一部を木材チップの遊歩道にし、観光客に優しい町並にする。又、銀座通りの空いている土地に西川材を使ったお店を建て、市が補助していく。
- ・飯能市中心市街地以外の地域情報。例えば四季の山間部の情報、花の見ごろや紅葉等々飯能市の特徴であるエコに関する事柄など、駅周辺に情報提供の場があれば良い。特に健康維持に歩くことの大切さがあり、一日一万歩をテーマにして、山間地域の活用法があり、情報発信の場が中心にあればと思います。
- ・飯能には、都内から遠足やハイキング客が多く、小学校は100校を超えると聞くと、天覧山までの道はわかりにくく、歩道も無く、案内もない状態である。天覧山まで歩道を作るとか、車が通れないよう整備して、通りに商店を配置すれば、市内の人たちだけでなく観光客も立ち寄り、売品の幅も広がり、町に元気が出ると思う。今は駅周辺に魅力のあるお店がなく、元気がないと思うので、ぜひ、実現してほしい。
- ・自然の良さを取り入れ、飯能の川や山での遊び方やキャンプ、アウトドア、つり等のテーマ作りがまず一番必要。次に運用方法を考え、自然があふれる町にしたい。
- ・秩父をお手本に飯能の紹介をステキに行う観光インフォメーションや観光ガイド。（3件）

2. 2 「市内の大型店に地域貢献として期待すること」に対する自由回答の主なもの

(1)環境

(1-1)環境・自然保護・交通関係など … 35 件

- ・環境（環境保全・福祉環境）の整備（22 件）
- ・大型店は、品揃えが整っており地域住民の毎日の生活には欠かせないが、豊かな自然は、飯能の宝であるため、この大事な自然を守る取り組みに力を入れて欲しい。大型店がもっと環境問題に取り組み、皆にPRをしてくれると多くの人の意識改善に有効だと思う。
- ・もっと環境保全に力を入れた商品や販売方法を考慮し、市民に呼びかけてほしい。
- ・他市等からの集客、環境への取り組み
- ・飯能中心街の活性化と環境を含め、自然に囲まれた心温まる、より楽しめる活気のある街作りを期待する。
- ・道路の渋滞等、交通に配慮した施設を希望する。
- ・自動車の渋滞解決を含めた環境活動（2 件）
- ・自店周辺の掃除やゴミ拾いとかわかりやすい地域貢献がいいと思う。これからは地球に優しいお店が増えなくてはいけないと思う。
- ・月に一度の清掃デーなどで店近隣の清掃活動。（2 件）

(1-2)簡易包装・エコバックなど … 15 件

- ・エコバック・簡易包装・ビニール袋などに配慮した対策を積極的に行い、地域住民の意識を高めてくれる様な活動。（10 件）
- ・環境面ではゴミ資源の分別回収にもっと力を入れて欲しい。（2 件）
- ・ビニール袋を止め、エコバック持参の方には何かメリットがあったり、少量販売・バラ売りなどの商品がたくさんできればいいと思います。
- ・マイバック利用者にポイント制（はんこではなく）、ビニール袋有料化、過剰包装をせず 量り売りなど環境対策。

(1-3)資源ごみの回収・リサイクルなど … 15 件

- ・リサイクル品の有効活用と環境整備の運動の推進。（7 件）
- ・過剰包装の廃止等か環境問題（ゴミ削減）に特に力を入れて欲しい。
牛乳パック、トレイ、ペットボトル、空き缶、古着等は今や立派な資源です。回収量に応じて消費者に還元できる仕組みを作って欲しい。（3 件）
- ・きれいな生ゴミを回収（ポイント制で）し、乾燥ゴミで有機肥料にすれば、個人で生ゴミ処理器を購入するより効果が大きく、店に買物をしに行く回数も増すのではないかな。
- ・家でのゴミ分類が容易ではないので容器を持って行くバラ売りコーナーを設けて欲しい。

(1-4)施設内の公園・緑化など … 4 件

- ・大型店の敷地内や周辺に植林（樹木、草花等）し、公園や緑を増やして欲しい。駐車場の一部に緑地を設け、木陰とベンチを設置してほしい。（4 件）

(1-5) 防災・防犯など … 5件

- ・ 少年少女の防犯、風紀・風俗への気配り等非行の溜まり場にならない工夫をして欲しい。(3件)

(2) 福祉

(2-1) 福祉対策・高齢者対応など … 9件

- ・ 高齢者や障害者などの恵まれない人達の事を考えた福祉対策の充実(5件)
- ・ 値札等の文字を大きくすると、車イスの高齢者にも読みやすく買物が楽しめる。

(3) 市民との交流

(3-1) 市民との交流など … 4件

- ・ 市民のニーズを探り、食育の安全性を考えたり、高齢者用の惣菜を提供するなどの催事を通して、幅広い世代が参加できるチャンスを考慮した市民との交流イベントを募ってほしい。
- ・ 営業時間・営業日等、消費者にはありがたく、お店の方々やその家族には感謝している。今後、高齢者が目立つ来店者層になると思うが、今後も店員と客がお互いに思いやりをもち、優しい対応があれば充分だと思う。
- ・ 店の一部で料理の講習会をしたり、靴の修理や生活用品の修理などしてくれる場所を作るなど日常生活で困った事の相談所を設置してほしい。

(3-2) 交流の場の提供 … 20件

- ・ 市民交流広場の充実など、仲間同士がコミュニケーションを取る事が出来るよう集まれる場所、地元の要望を理解するきっかけとなる場所を作るべきだと考える。(15件)
- ・ 市民のための文化活動が出来る場所の提供

(4) イベント

(4-1) イベント開催 … 8件

- ・ 飯能祭等地域活性化のため、地域のイベントにスポンサーとして積極的に参加してほしい。(2件)
- ・ 町内のイベントや市のイベントに協力してほしい。
- ・ 定期的に様々なイベントを開催し、普段はあまり店に行かない人達が足を向けるようにしてほしい。
- ・ 祭りやイベントに協賛してくれると身近に感じる。大型店だけの独自イベントではなく、市民参加型イベントを催すと良い。
- ・ お祭りやバザー時に駐車場の開放など、現在の地域への貢献には、多いに感謝している。
- ・ サビアで行っているような、子どもの遊び場を作りその一角に子育て相談コーナーを作って相談員を常駐させたり、小さなステージを設けてコーラスグループや子どものダンスの発表の場として開放すると良いと思う。
- ・ 先日サビアの中に西川材のコーナーが出来たのを見て、良い事だと思った。他にも地元の物産があれば、人が多く集まる場所なので良い宣伝になると思う。

(4-2) イベントの内容 … 22件

- ・ 郷土料理試食会・音楽・スポーツなど種々のイベント企画と開催及び協賛・補助。(7件)

- ・お祭りやクリスマス・お正月など季節的なイベント。現在よりも一層全面的に参加してみてもよいのではないか。
- ・遠くに出掛けるにはまだ子供が小さいという家族が、休みの日に行き易く、子供が喜ぶようなイベント(子供達が乗れる乗り物、ヒーローもの)開催や、ペット売り場などが欲しい。
- ・特別な商品の価格の何%かを福祉に役立てる等のチャリティ。

(5) 大型店内施設等の充実化

(5-1) 買物のための一時保育施設・休憩所など … 11件

- ・買い物時「一時託児所」があると安心して買物を楽しめる。(8件)
- ・子供が遊べたり、皆が憩える空間作り。駐車場の開放。
- ・店内(各階)にもっとイス等をおいてほしい(4件)
- ・一休み出来るような癒しの空間が重要。室内よりむしろ自然環境が充実(新緑・紅葉)した屋外に求めるので、景色の良い飯能を生かせるようなデザインを求める。
- ・買物をしながら休める場所があり、その場所で出会った人達が様々な事が出来たり会話が出来たりすれば、地域社会のためになっていくと思う。

(5-2) 高齢者等弱者向け施設など … 13件

- ・老人の行きやすい施設にしてほしい。(2件)
- ・子供連れでも安心して買い物できる店
- ・1階にベビーカーや車イスの人が利用しやすいトイレを設置して欲しい。
- ・店内のトイレも子供と一緒に入れるよう広めにしてほしい。
- ・障害者の車椅子やベビーカーが通れる通路幅の確保。
- ・通路が広く動きやすく、休める場所を作るなど障害者に優しい店にしてほしい。
- ・品数が多く、新鮮で勝つ、店内が明るく、広く、安全・自由でゆっくと買物がしやすい、休憩コーナーも有る環境を求める。

(5-3) 公共・コミュニティ施設 … 11件

- ・公共施設(戸籍・住民票ポストの設置等、市役所の窓口機能)と環境の整備等。(2件)
- ・市民が安価に利用できる施設。展覧会、発表会、講演会など市民の文化発表の場の提供・協力・協賛、(4件)
- ・費用、時間、設定、会場の安全確保など計画性が重要であるが、市民との交流として野外ミニステージなどで音楽、演芸などのサービスをして欲しい。
- ・イベント等ができるような自由に使用出来るスペースの提供
- ・集客力向上、知名度向上のためには、子供が行きたがる店にすることが大切。工作、絵、書道の展覧会、発表会風の催物、幼児教育教室、仲間作りの手助けで市民同士の交流が活発化し、生き生きとした家庭が増え、地域全体に活気が沸くと思う。
- ・コミュニティスペース(カフェテリアなど)の充実

(5-4) カルチャア・アミューズメント施設 … 6件

- ・大型店の中にカルチャースクール等出来れば良いと思う。気楽に参加できる。

(5-5) その他 ・ ・ ・ 3 件

- ・大型店と個人店・商店街との提携、協力（商工会など）（2 件）
- ・銀行の A T M や郵便局があると便利。

(6) 店内商品の充実等

(6-1) 安全・安心な商品の品揃え ・ ・ ・ 11 件

- ・安心・安全な食品を、安い価格で揃えて頂きたい。（7 件）
- ・商店街ならではの良い品があったとしても、店に入りづらいため分からない。大型店でそのような品を置いて欲しい。大型店と小売店が協力し、客の市外流出を食い止めてほしい。地元が繁栄する事のメリット（減税）などがあれば市民も協力すると思う。
- ・安売り競争も節度をもってやってもらいたい。たとえば 2 週間に一度とか、ライバルをたたきつづす方策は、結局そのつけが消費者にまわってくるので良くない。

(6-2) 地場物産等の販売 ・ ・ ・ 22 件

- ・地場の産物（野菜・果物・製品）を店頭と並べて地域の活性化を考えて欲しい。新鮮で安くて、使い勝手のあるものがあると思う。（15 件）
- ・地元産の野菜類を積極的に仕入れ安く販売してもらおう。大型店と商店や病院など提携し、大型店を利用しなくても駐車場を使わせてもらえる様（災害時には避難場所として）にする。資材や食料等の提供を含め協力の取り決めを行ってもらおう。（2 件）
- ・地域性をもっと取り入れて都会の模倣じゃない商品の充実を図るとか、田舎は田舎なりに地域物産をもっと取り扱ってほしい。
- ・大型店でももっと地元の新鮮な物産を安く提供したり、地元コーナーを設けて、並べるだけではなく遊び心があり、買い物が楽しくなるお店にしてもらいたい。

(6-3) 高齢者等向け商品などの取り揃え ・ ・ ・ 10 件

- ・買物に、なかなか行けない山間部の高齢者の為に、商品の配達や、移動スーパー、店までの巡回バスなどのサービスを希望します。（4 件）
- ・高齢者に対するサービスの提供（特別価格設定、割引等）（3 件）
- ・お年寄りや体の不自由な方々へのサービス（配置など）を充実させ、気軽にそのサービスが利用できるが良い。
- ・高齢化社会で一人住まいの増加がある。そうした人達のためきめの細かい食料販売の一層の配慮を望む。一カ所で身体全体の品物が揃えばと願う。飯能市と云う自然に恵まれた環境を促進する情報提供のコーナーがあれば、より生活も豊かになると思う。

(6-4) 商品の充実化 ・ ・ ・ 11 件

- ・二人暮らしにはばら売りや小売の価格を安くしてもらえると嬉しい。1 パック 2 枚というより 1 切れずつ前のように経木に包んでくれると、魚も肉もおいしい物がもう一つ高級な品物に思える。経木は良いと思う。
- ・良い品を安く提供して欲しい。安くても翌日には傷んでしまうものは陳列しないで欲しい。遅い

時間までやって欲しい。土日の早朝開店など、サービス強化を期待。

- ・商品の数をふやして欲しい。地域貢献などはしなくても良い。お客を如何に集めることを考えればおのずと地域貢献になると思う。
- ・専門的なものにならない品物で、小売店的な感じがする場所に。静かさがあがる販売で、人との交流が生まれやすくするもの。
- ・月何回か市内の商店の出前販売フロアを設け、共に活性化を図って欲しい。

(6-5) その他・・・9件

- ・各店共通ポイントカードの発行
- ・巨大な廃墟とならないように望む。閉店時間前にしまう準備を始める店が多い。客に対して失礼であるとともに、プロ意識の低さに愕然とする。大も小も商店主が客の方を向くことを一番にすればおのずと客はついてくる。

(7) 駐車場・交通関係など

(7-1) 駐車場の充実化など・・・16件

- ・商店街を利用することも出来るなど、駐車場の無料提供。(4件)
- ・大型店の出入口の交通監視。
- ・小規模店、商店のためのパーキングの提供。
- ・商店街と大型店と協力し合って、駐車場等の融通し合うことも検討したらと思う。
- ・地域によっては車等を利用しないと買物へ行けないので、駐車場のサービスなど。
- ・自店の利益のみを考えるのではなく、地域の発展を考えた店舗運営を考えて欲しい。(交通の流れが変わったり、地域環境の変化に対して無責任である)

(7-2) シャトルバスなどの要望・・・4件

- ・お年寄りの買い物を手伝う駅からの送迎シャトルバスサービス。(3件)

(8) 地域貢献

(8-1) 大型店舗の地域貢献に期待するもの・・・13件

- ・大型店が出来れば、消費者としては便利なのに加え、パート仕事が増加して良い。
- ・環境・福祉などは公共的分野なので、大型店の収益の一部を地域貢献のため拠出するよう条例を作り、大型店には街の活性化を条件に、相応の見返りを付与したらよいと思う。
- ・大型店の地域貢献としては、飯能市と協力・相談をし、人が集まる店作りが大切だと思う。各イベント等に参加しやすい環境が数多くあるかが、店の人気に繋がりお金を使ってもらえるのではないのでしょうか。大型店に地元飯能をPRしてもらい地域交流を図る。
- ・大型店は進出も早いですが撤退も早いので、撤退して行かない大型店が地域貢献につながると思う。地元の小売店も大事にしないと過疎化は免れない。
- ・70%以上の森林を持つ飯能の中で、最近多くなって来た企業の若い人たちの森林を守るためのボランティアや林業への支援等、森林体験を取り入れる。
- ・災害時のボランティア拠点
- ・地域の環境整備等に協力し、市民と共存の店を目指して欲しい。市民向けに、大型店ならではの

講師によるミニ講座などを開いて頂きたい。

- ・飯能市の地場産業が発展していくような取りくみをしてもらいたい。

(9) その他

(9-1) 大型店舗の設置歓迎意見・・・5件

- ・大型専門店を作って欲しい。温泉施設かスーパー銭湯を作って欲しい。ホームセンターと食料品が一緒に帰るような大型店を造って欲しい。
- ・ショッピングモールのような色々な店。映画館がほしい。夜遅くまであいていると便利だが騒音が心配。
- ・飯能市内は狭いし活気がない。人間も暗い。大型店を作って飯能市内のお店を持っている方の希望により、大型店にテナントとして入ると良いと思う。
- ・大型店に「貢献してもらおう」という発想ではなく、大型店も地域も一体化して街作りに取り組む必要があると思う。

(9-2) 大型店舗に設置不要・期待しない。・・・13件

- ・大型店に地域貢献の期待なし。商店街の発展に「力」が必要。(10件)

(9-3) 地元商店の活用・現状肯定・・・9件

- ・今のままでよいと思う。(3件)
- ・現在ある店に力を入れて行くべきだと思う。
- ・小さくて、それでも信用を重んじて頑張っている個人の店を応援する大型店であってほしいと思う。車に乗らない者には駅周辺での買いものが一番なのです。
- ・各店舗がそれなりの事をやっていると思う。どの事業所・店舗ではなくそれぞれ特色を出している。

(9-4) 東飯能駅の旧まるひろ百貨店跡地の活用・・・5件

- ・飯能の活性化の為に、東飯能駅丸広跡地の再開発（再利用）を早くしてほしい。以前は丸広で買い物をよくしていたが、店仕舞いしてからは市外で買い物をしている。(5件)

(9-5) 行政等への要望・・・5件

- ・大型工場をどんどん作って、税金（市民税）を少なくして欲しい。
- ・昔からの商店街に遠慮しないで自由競争して、市民の生活に役に立ってほしい。売る意思が感じられないような古い商店街を守るために税金を使うのはやめてほしい。

(9-6) その他・・・7件

- ・人口減少、高齢化が進む中で食料品とか衣料類等の売り上げの増大は期待薄であり、例にあるような物が期待されるのではないか。具体的には意見を持っていません。
- ・生命保険会社について、市中心位の町中に自立高齢者同士が共同で住む共同住宅ビルを建設して欲しい。

第5章 資料編

1. 飯能市の人口と世帯

①人口・世帯

図1 飯能市の人口ピラミッド(H20. 1. 1)

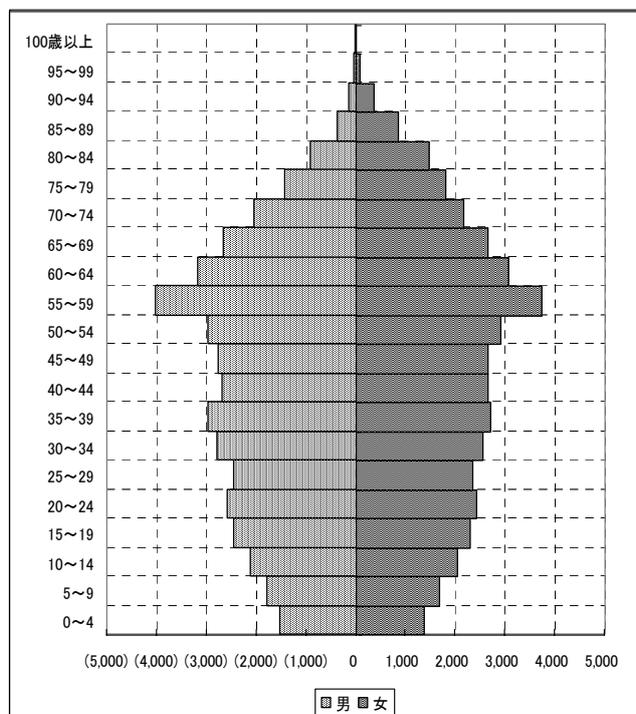


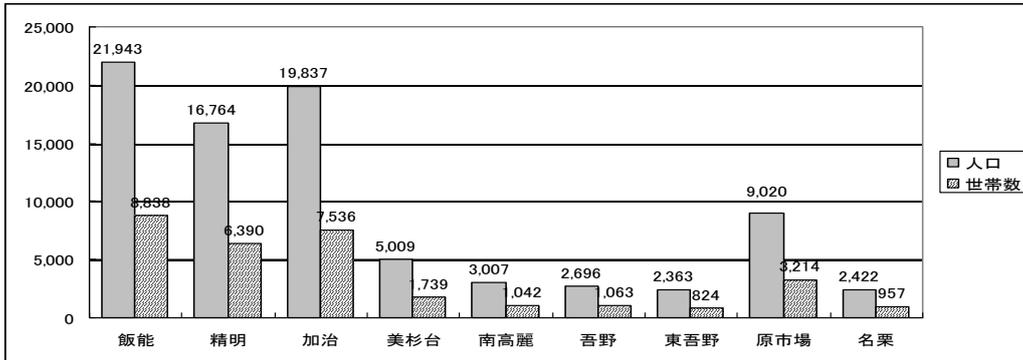
表1 飯能市の5歳階級別総人口(H20. 1. 1)

年齢	男	女	総数	構成比
0～4	1,519	1,375	2,894	3.45
5～9	1,774	1,680	3,454	4.12
10～14	2,114	2,051	4,165	4.97
年少人口計	5,407	5,106	10,513	12.53
15～19	2,458	2,309	4,767	5.68
20～24	2,572	2,430	5,002	5.96
25～29	2,451	2,354	4,805	5.73
30～34	2,791	2,563	5,354	6.38
35～39	2,972	2,719	5,691	6.79
40～44	2,698	2,655	5,353	6.38
45～49	2,752	2,660	5,412	6.45
50～54	2,967	2,910	5,877	7.01
55～59	4,033	3,744	7,777	9.27
60～64	3,185	3,064	6,249	7.45
生産年齢人口計	28,879	27,408	56,287	67.11
65～69	2,667	2,652	5,319	6.34
70～74	2,050	2,181	4,231	5.04
75～79	1,434	1,818	3,252	3.88
80～84	902	1,478	2,380	2.84
85～89	369	867	1,236	1.47
90～94	140	380	520	0.62
95～99	27	90	117	0.14
100歳以上	2	17	19	0.02
老年人口計	7,591	9,483	17,074	20.36
総数	41,877	41,997	83,874	100.00

表2 飯能市の総人口・世帯数推移(各年1月1日現在)

	面積 (km ²)	世帯数 (世帯)	総人口 (人)	人口対前年増 加率	1世帯あた り人口	人口密度 (人/km ²)
平成2年	134.60	21,680	71,933	2.7	3.32	534.4
平成3年	134.60	22,342	73,227	1.8	3.28	544.0
平成4年	134.60	23,076	74,514	1.8	3.23	553.6
平成5年	134.60	23,917	76,204	2.3	3.19	566.2
平成6年	134.60	24,770	77,769	2.1	3.14	577.8
平成7年	134.60	25,803	79,861	2.7	3.10	593.3
平成8年	134.60	26,520	80,986	1.4	3.05	601.7
平成9年	134.60	27,132	81,955	1.2	3.02	608.9
平成10年	134.60	27,646	82,542	0.7	2.99	613.2
平成11年	134.60	28,075	82,765	0.3	2.95	614.9
平成12年	134.60	28,516	83,046	0.3	2.91	617.0
平成13年	134.60	28,933	83,186	0.2	2.88	618.0
平成14年	134.60	29,276	83,054	△ 0.2	2.84	617.0
平成15年	134.60	29,540	82,796	△ 0.3	2.80	615.1
平成16年	134.60	29,905	82,641	△ 0.2	2.76	614.0
平成17年	134.60	31,136	84,982	2.8	2.73	631.4
平成18年	193.16	31,446	84,544	△ 0.5	2.69	437.7
平成19年	193.16	31,728	83,967	△ 0.7	2.65	434.7
平成20年	193.16	32,178	83,874	△ 0.1	2.61	434.2

図2 飯能市の地区別人口・世帯分布(H20.1.1)



②人口動態

図3 飯能市の人口動態

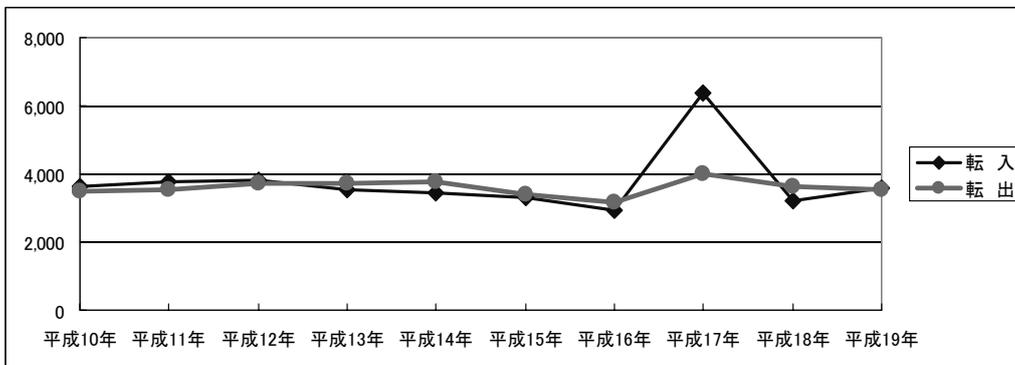
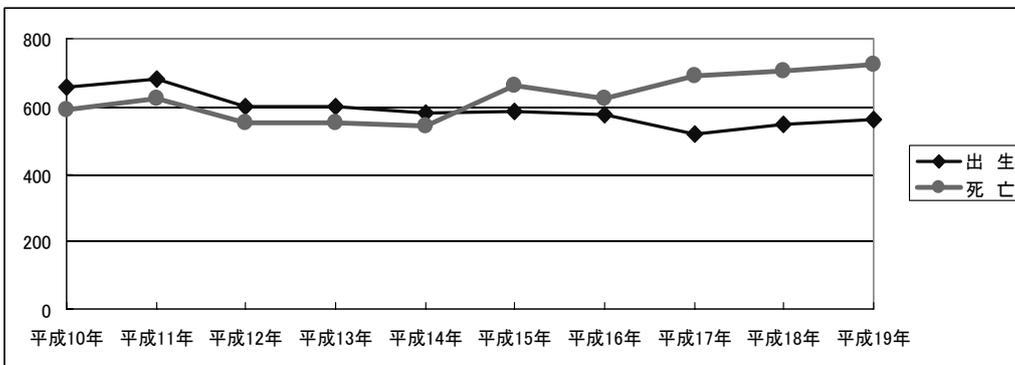


表3 飯能市の人口動態推移(各年1月～12月)

年次	自然動態			社会動態		
	出生 人	死亡 人	増加数 人	転入 人	転出 人	増加数 人
平成10年	657	590	67	3,623	3,467	156
平成11年	681	625	56	3,766	3,541	225
平成12年	600	550	50	3,793	3,703	90
平成13年	599	552	47	3,551	3,730	△ 179
平成14年	580	541	39	3,464	3,761	△ 297
平成15年	585	659	△ 74	3,317	3,398	△ 81
平成16年	577	622	△ 45	2,935	3,168	△ 233
平成17年	518	692	△ 174	6,355	4,000	2,355
平成18年	547	704	△ 157	3,220	3,640	△ 420
平成19年	560	725	△ 165	3,588	3,516	72

2. 飯能市各地区の人口ピラミッド

①飯能地区

図4 飯能地区の人口ピラミッド

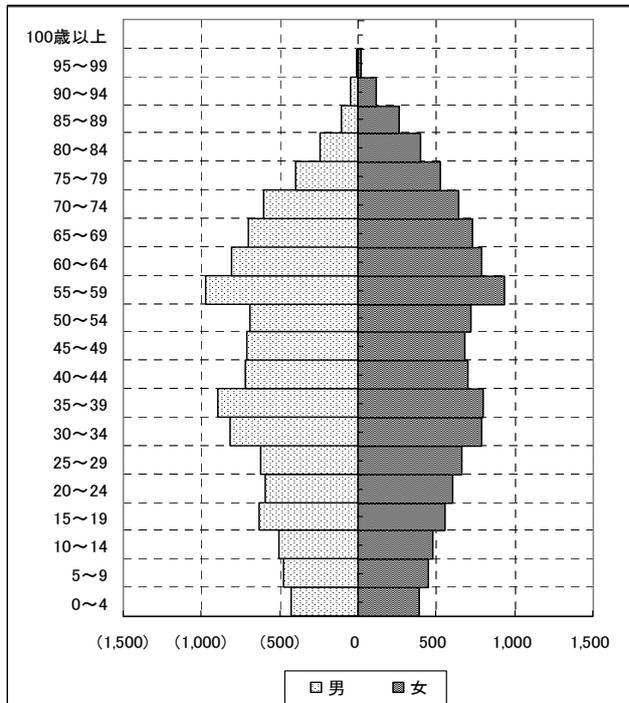


表4 飯能地区5歳階級別総人口(H20.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比
0~4	433	389	822	3.7%
5~9	482	449	931	4.2%
10~14	502	481	983	4.4%
年少人口計	1,417	1,319	2,736	12.3%
15~19	636	557	1,193	5.4%
20~24	592	605	1,197	5.4%
25~29	627	659	1,286	5.8%
30~34	816	789	1,605	7.2%
35~39	899	798	1,697	7.6%
40~44	716	701	1,417	6.4%
45~49	710	683	1,393	6.3%
50~54	695	717	1,412	6.3%
55~59	970	938	1,908	8.6%
60~64	807	789	1,596	7.2%
生産年齢人口計	7,468	7,236	14,704	66.1%
65~69	703	727	1,430	6.4%
70~74	602	646	1,248	5.6%
75~79	396	524	920	4.1%
80~84	246	401	647	2.9%
85~89	109	259	368	1.7%
90~94	45	117	162	0.7%
95~99	9	23	32	0.1%
100歳以上	1	2	3	0.0%
老年人口計	2,111	2,699	4,810	21.6%
総数	10,996	11,254	22,250	100.0%

②精明地区

図5 精明地区の人口ピラミッド

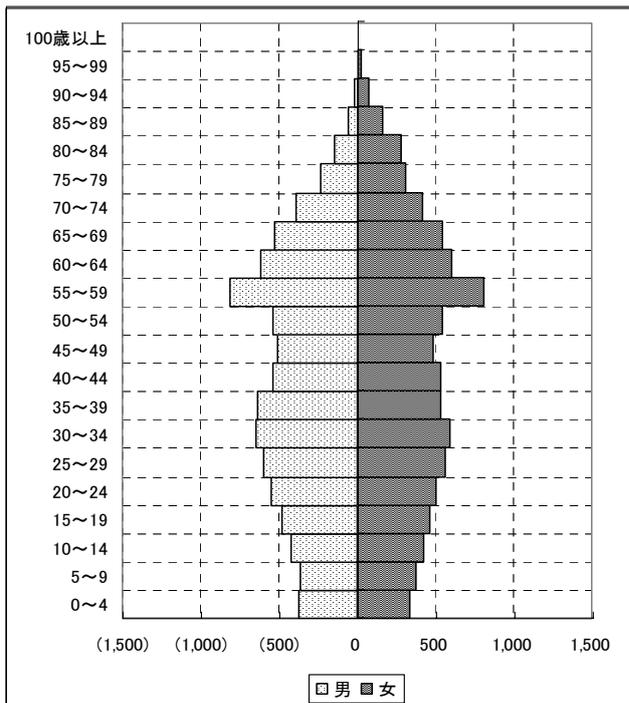


表5 精明地区の5歳階級別総人口(H20.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比
0~4	370	330	700	4.1%
5~9	362	373	735	4.3%
10~14	419	419	838	4.9%
年少人口計	1,151	1,122	2,273	13.4%
15~19	482	463	945	5.6%
20~24	552	498	1,050	6.2%
25~29	594	559	1,153	6.8%
30~34	645	591	1,236	7.3%
35~39	640	532	1,172	6.9%
40~44	542	534	1,076	6.3%
45~49	506	483	989	5.8%
50~54	543	544	1,087	6.4%
55~59	817	806	1,623	9.6%
60~64	617	600	1,217	7.2%
生産年齢人口計	5,938	5,610	11,548	68.0%
65~69	528	540	1,068	6.3%
70~74	393	412	805	4.7%
75~79	237	300	537	3.2%
80~84	148	272	420	2.5%
85~89	56	153	209	1.2%
90~94	23	73	96	0.6%
95~99	4	18	22	0.1%
100歳以上	0	2	2	0.0%
老年人口計	1,389	1,770	3,159	18.6%
総数	8,478	8,502	16,980	100.0%

③加治地区

図6 加治地区の人口ピラミッド

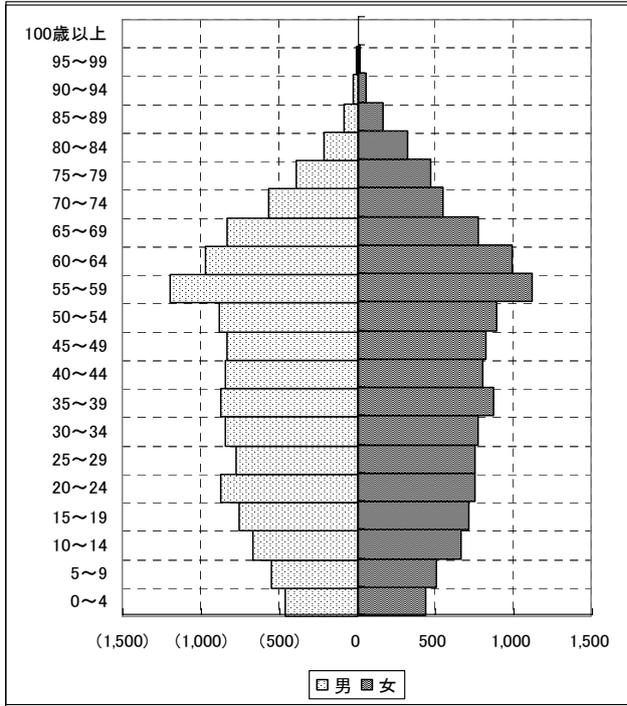


表6 加治地区の5歳階級別総人口(H20.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比
0~4	458	442	900	3.6%
5~9	547	510	1,057	4.2%
10~14	660	663	1,323	5.3%
年少人口計	1,665	1,615	3,280	13.1%
15~19	757	711	1,468	5.9%
20~24	871	757	1,628	6.5%
25~29	775	748	1,523	6.1%
30~34	843	773	1,616	6.5%
35~39	870	869	1,739	6.9%
40~44	842	798	1,640	6.5%
45~49	830	820	1,650	6.6%
50~54	885	890	1,775	7.1%
55~59	1,199	1,121	2,320	9.3%
60~64	970	989	1,959	7.8%
生産年齢人口計	8,842	8,476	17,318	69.2%
65~69	828	772	1,600	6.4%
70~74	563	546	1,109	4.4%
75~79	389	464	853	3.4%
80~84	212	316	528	2.1%
85~89	85	162	247	1.0%
90~94	25	57	82	0.3%
95~99	7	15	22	0.1%
100歳以上	0	4	4	0.0%
老年人口計	2,109	2,336	4,445	17.7%
総数	12,616	12,427	25,043	100.0%

④南高麗地区

図7 南高麗地区の人口ピラミッド

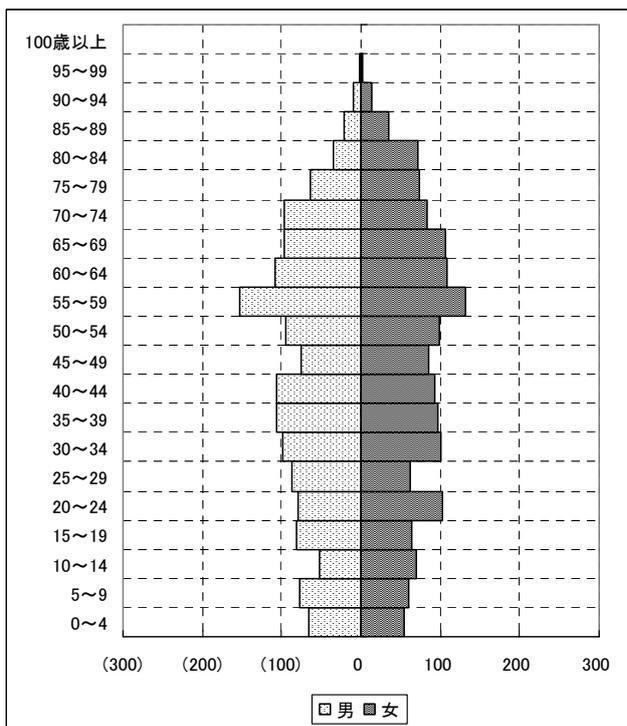


表7 南高麗地区の5歳階級別総人口(H20.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比
0~4	65	54	119	3.9%
5~9	77	60	137	4.5%
10~14	52	70	122	4.0%
年少人口計	194	184	378	12.5%
15~19	82	63	145	4.8%
20~24	79	102	181	6.0%
25~29	87	61	148	4.9%
30~34	99	101	200	6.6%
35~39	106	97	203	6.7%
40~44	106	92	198	6.6%
45~49	76	86	162	5.4%
50~54	94	98	192	6.4%
55~59	152	131	283	9.4%
60~64	109	108	217	7.2%
生産年齢人口計	990	939	1,929	64.0%
65~69	97	107	204	6.8%
70~74	96	84	180	6.0%
75~79	63	74	137	4.5%
80~84	35	71	106	3.5%
85~89	21	35	56	1.9%
90~94	9	13	22	0.7%
95~99	2	2	4	0.1%
100歳以上	0	0	0	0.0%
老年人口計	323	386	709	23.5%
総数	1,507	1,509	3,016	100.0%

⑤吾野地区

図8 吾野地区の人口ピラミッド

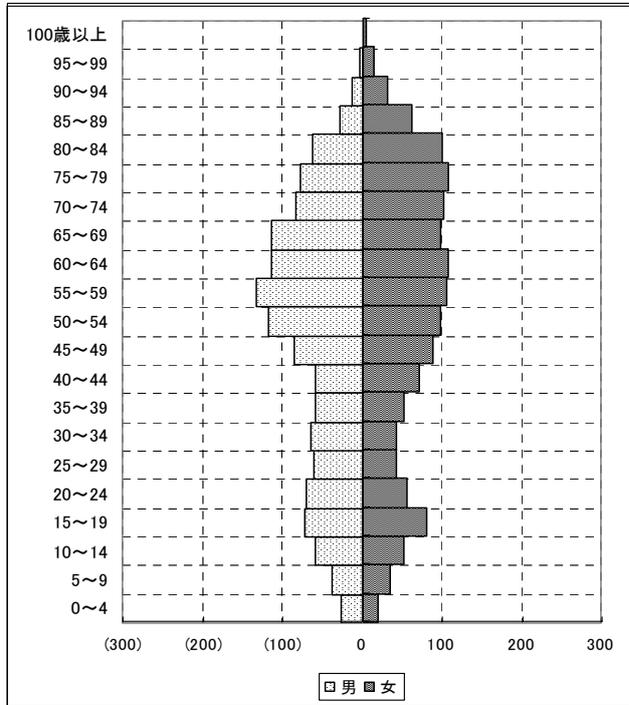


表8 吾野地区の5歳階級別総人口(H20.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比
0~4	25	20	45	1.7%
5~9	38	35	73	2.7%
10~14	59	53	112	4.1%
年少人口計	122	108	230	8.5%
15~19	72	81	153	5.7%
20~24	69	56	125	4.6%
25~29	60	43	103	3.8%
30~34	64	43	107	4.0%
35~39	59	53	112	4.1%
40~44	58	71	129	4.8%
45~49	84	88	172	6.4%
50~54	118	99	217	8.0%
55~59	133	105	238	8.8%
60~64	114	107	221	8.2%
生産年齢人口計	831	746	1,577	58.4%
65~69	114	98	212	7.8%
70~74	82	101	183	6.8%
75~79	78	107	185	6.8%
80~84	61	100	161	6.0%
85~89	28	61	89	3.3%
90~94	12	32	44	1.6%
95~99	2	15	17	0.6%
100歳以上	0	4	4	0.1%
老年人口計	377	518	895	33.1%
総数	1,330	1,372	2,702	100.0%

⑥東吾野地区

図9 東吾野地区の人口ピラミッド

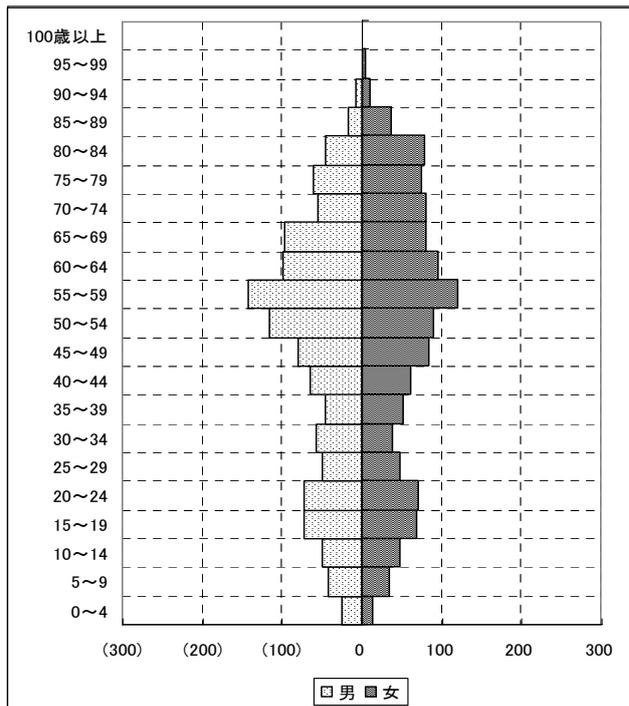


表9 東吾野地区の5歳階級別総人口(H20.1.1)

年齢	男	女	総数	構成比
0~4	24	13	37	1.6%
5~9	41	35	76	3.2%
10~14	49	47	96	4.0%
年少人口計	114	95	209	8.8%
15~19	72	69	141	5.9%
20~24	73	70	143	6.0%
25~29	50	48	98	4.1%
30~34	57	38	95	4.0%
35~39	46	51	97	4.1%
40~44	65	61	126	5.3%
45~49	79	84	163	6.9%
50~54	116	89	205	8.6%
55~59	143	120	263	11.1%
60~64	99	94	193	8.1%
生産年齢人口計	800	724	1,524	64.2%
65~69	97	79	176	7.4%
70~74	55	80	135	5.7%
75~79	60	74	134	5.6%
80~84	46	78	124	5.2%
85~89	18	36	54	2.3%
90~94	7	9	16	0.7%
95~99	0	3	3	0.1%
100歳以上	0	0	0	0.0%
老年人口計	283	359	642	27.0%
総数	1,197	1,178	2,375	100.0%

⑦原市場地区

図 10 原市場地区の人口ピラミッド

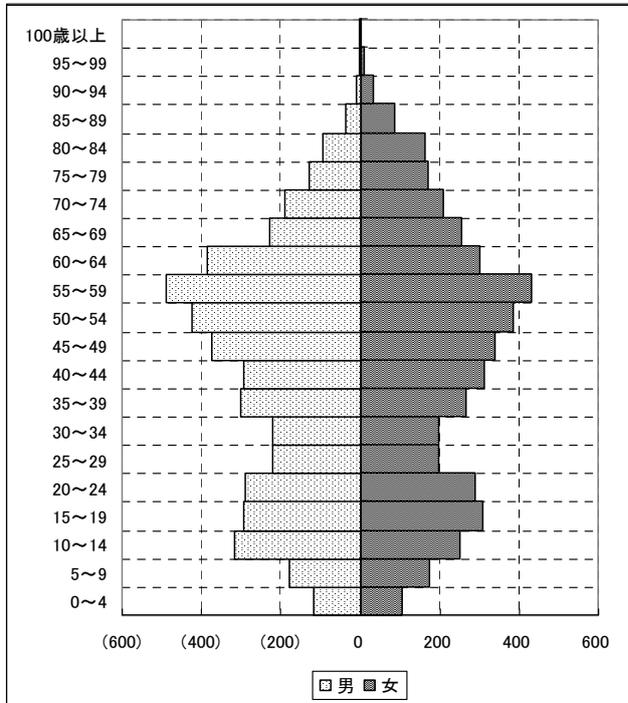


表 10 原市場地区の5歳階級別総人口(H20. 1. 1)

年齢	男	女	総数	構成比
0~4	116	104	220	2.4%
5~9	180	173	353	3.9%
10~14	316	250	566	6.2%
年少人口計	612	527	1,139	12.5%
15~19	293	310	603	6.6%
20~24	291	289	580	6.4%
25~29	219	197	416	4.6%
30~34	220	197	417	4.6%
35~39	301	268	569	6.3%
40~44	292	314	606	6.7%
45~49	374	339	713	7.9%
50~54	423	387	810	8.9%
55~59	488	432	920	10.1%
60~64	387	302	689	7.6%
生産年齢人口計	3,288	3,035	6,323	69.6%
65~69	230	255	485	5.3%
70~74	189	210	399	4.4%
75~79	128	172	300	3.3%
80~84	93	163	256	2.8%
85~89	38	85	123	1.4%
90~94	11	33	44	0.5%
95~99	1	9	10	0.1%
100歳以上	0	0	0	0.0%
老年人口計	690	927	1,617	17.8%
総数	4,590	4,489	9,079	100.0%

⑧名栗地区

図 11 名栗地区の人口ピラミッド

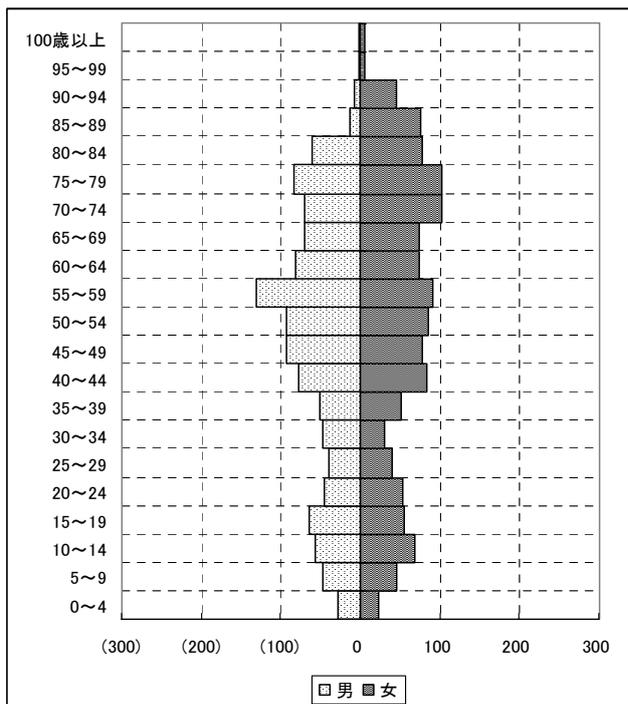


表 11 名栗地区の5歳階級別総人口(H20. 1. 1)

年齢	男	女	総数	構成比
0~4	28	23	51	2.1%
5~9	47	45	92	3.8%
10~14	57	68	125	5.1%
年少人口計	132	136	268	11.0%
15~19	64	55	119	4.9%
20~24	45	53	98	4.0%
25~29	39	39	78	3.2%
30~34	47	31	78	3.2%
35~39	51	51	102	4.2%
40~44	77	84	161	6.6%
45~49	93	77	170	7.0%
50~54	93	86	179	7.4%
55~59	131	91	222	9.1%
60~64	82	75	157	6.5%
生産年齢人口計	722	642	1,364	56.2%
65~69	70	74	144	5.9%
70~74	70	102	172	7.1%
75~79	83	103	186	7.7%
80~84	61	77	138	5.7%
85~89	14	76	90	3.7%
90~94	8	46	54	2.2%
95~99	2	5	7	0.3%
100歳以上	1	5	6	0.2%
老年人口計	309	488	797	32.8%
総数	1,163	1,266	2,429	100.0%

お買物アンケート

■ 調査の目的

飯能市では、市民がどこで、どのような買物をするかという買物行動の実態や、買物に際しての意向、中心市街地に対する意見等を把握し、市民が求める商店街および商店づくりなど、飯能市の商業振興策ならびにまちづくりを推進する上での基礎資料として活用することを目的に本調査を行うことといたしました。

■ ご協力をお願い

このアンケートの対象となる世帯は、住民台帳から統計的手法（くじ引きのような方法で調査対象者を選ぶ方法）によって、無作為に抽出いたしました。

つきましては、ご多忙のところ大変恐縮ですが、アンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

なお、このアンケートは、平成19年10月1日現在の住民台帳の世帯主へ送付しておりますが、世帯主が代わられている場合もご協力くださいますようお願いいたします。

■ 調査主体について

飯能市役所、飯能信用金庫、駿河台大学、飯能商工会議所の産官学共同で実施いたします。

■ 記入上のお願い

- 日常のお買物をされる方に記入をお願いします。
- 記入にあたっては家事全般のこと（例えば、ご主人やお子様の買物など）を考えてご記入ください。
- 無記名で結構です。
- 平成19年10月1日現在の状況でお答えください。
- 調査の結果は集計し公表します。結果公表の際に、ご協力いただいた方のお名前や個人が特定できる形でデータが出ることはありません。
- ご回答いただいたアンケート用紙は、同封の返信用封筒にて、**11月30日(金曜日)までに**投函してください。

平成19年10月

■ この調査に関するお問い合わせ先

飯能市役所 市民生活部 商工観光課
〒357-8501 埼玉県飯能市大字双柳1番地の1
TEL 042-973-2111（内線631）FAX 042-974-6737
メールアドレス syoko@city.hanno.saitama.jp

質問 I

問1 お住まいはどちらですか。下表の町名の該当する番号に○をつけてください。

居住地区	町名					
飯能	101. 山手町	102. 本町	103. 八幡町	104. 東町	105. 柳町	106. 仲町
	201. 稲荷町	202. 南町	301. 栄町	302. 緑町	401. 中山	402. 新町
	403. 原町	501. 飯能	502. 久下	503. 久須美	504. 小瀬戸	
	505. 永田	506. 永田台	507. 小岩井	508. 大河原		
精明	601. 下加治	602. 小久保	603. 宮沢	604. 平松	605. 川崎	606. 下川崎
	607. 新光	608. 芦荻場	609. 双柳	610. 青木	611. 中居	
加治	701. 岩沢	702. 笠縫	703. 川寺	704. 阿須	705. 落合	706. 前ヶ貫
	707. 矢嵐	708. 征矢町	709. 美杉台			
南高麗	801. 岩渕	802. 下畑	803. 上畑	804. 荻生	805. 下直竹	
	806. 上直竹下分		807. 上直竹上分			
吾野	901. 坂石町分	902. 坂石	903. 吾野	904. 上長沢	905. 高山	
	906. 北川	907. 坂元	908. 南川			
東吾野	1001. 白子	1002. 平戸	1003. 虎秀	1004. 井上	1005. 長沢	
原市場	1101. 原市場	1102. 下赤工	1103. 上赤工	1104. 赤沢	1105. 唐竹	
	1106. 中藤下郷	1107. 中藤中郷		1108. 中藤上郷	1109. 南	
名栗	1201. 上名栗	1202. 下名栗				

問2 ご職業（主たる収入のある方の）は何ですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. お勤め（飯能市内） | 2. お勤め（県内の他の市町村） |
| 3. お勤め（東京都の23区内） | 4. お勤め（東京都の市町村） |
| 5. お勤め（埼玉県及び東京都以外） | 6. 商工関係の自営業 |
| 7. 自由業 | 8. 農業 |
| | 9. その他（年金、不動産収入など） |

問3 普段、主に買物をされている方の職業について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. 有給の仕事（常勤・パート等）に就いている
2. 有給の仕事には就いていない（専業主婦など）

問4 普段、主に買物をされている方の年代について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|---------|---------|-----------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 |
| 4. 50歳代 | 5. 60歳代 | 6. 70歳代以上 |

問5 買物は週に何日くらい行きますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|------------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4～5日 | |
| 3. 週に2～3日 | 4. 週に1日くらい | 5. その他（月に数日程度など） |

問6 1日の買い物の予算は平均いくらくらいですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|------------------|-------------------|------------------|
| 1. 2,000円以下 | 2. 2,001円～4,000円 | 3. 4,001円～6,000円 |
| 4. 6,001円～8,000円 | 5. 8,001円～10,000円 | 6. 10,001円以上 |

問7 普段、買物によく利用する交通手段は何ですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | | |
|-------|--------|---------|--------------------------------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク | 4. 自動車 |
| 5. 電車 | 6. バス | 7. タクシー | 8. その他（ ） |

問8 普段、買物をする主な時間帯は何時ごろですか（「平日」「土日」でそれぞれ1つお選びください。

- 平日
- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 7～10時 | 2. 10～12時 | 3. 12～18時 |
| 4. 18～20時 | 5. 20～翌7時 | 6. 不定 |

- 土日（祝日含む）
- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 7～10時 | 2. 10～12時 | 3. 12～18時 |
| 4. 18～20時 | 5. 20～翌7時 | 6. 不定 |

問9 パソコンの保有状況とインターネットの利用状況について、該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. パソコンを持っており、インターネットを利用している
2. パソコンを持っているが、インターネットは利用していない
3. パソコンを持っていない

問10 通信販売（生協を含む）を利用していますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. よく利用している
2. ときどき利用している
3. 現在、利用していないが、今後利用してみたい
4. 現在、利用していないが、今後も利用するつもりはない

【問10で1.または2.とお答えの方のみ記入してください。】

問11 通信販売（生協を含む）を主に利用している媒体は何ですか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. テレフォンショッピング（テレビ・ラジオ）
2. インターネットショッピング
3. 新聞・雑誌
4. 通販業者等から送られてくるカタログ（生協からの注文票含む）

問12 通信販売ではどんな商品を購入していますか。次の中から主なもの3つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------------------------|-------------|----------------|
| 1. 肉・魚・野菜・果物 | 2. 一般飲食料品 | 3. 日用・家庭雑貨 |
| 4. 呉服・帯等 | 5. 寝具 | 6. 紳士服 |
| 7. 婦人服 | 8. ベビー・子供服 | 9. 洋品雑貨 |
| 10. 下着・肌着 | 11. 靴・履物 | 12. カバン・ハンドバック |
| 13. 家具・インテリア | 14. 家庭用電化製品 | 15. 自転車 |
| 16. 時計・メガネ | 17. 医療品・化粧品 | 18. 書籍・文具 |
| 19. 楽器・CD | 20. 玩具 | 21. スポーツ用品 |
| 22. その他（ ） | | |

問13 飯能市内の商店街で週に何日くらい買物をしますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

1. ほとんど毎日
2. 週に4～5日
3. 週に2～3日
4. 週に1日くらい
5. その他（月に数日程度など）

【問13で5.を選んだ方のみ記入してください。】

問14 飯能市内の商店街をほとんど利用しない理由は何ですか。次の中から主なものを3つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 商店数が少ない | 2. 魅力ある商品が少ない |
| 3. 品質・鮮度がよくない | 4. 商品情報がとぼしい |
| 5. 一箇所で買物がすまない | 6. 品数が少ない |
| 7. 価格が高い | 8. 接客態度がよくない |
| 9. 店に入りにくい | 10. 店に清潔感がない |
| 11. 閉店時間が早い | 12. 駐車場がない |
| 13. 踏切があり商店街に行きづらい | 14. その他 () |

【問13で1.~4.を選んだ方のみ記入してください。】

問15 より魅力的な商店街にするためには何が重要だと思いますか。次の中から主なものを2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | |
|--|-------------------------------|
| 1. 豊かな生活が送れる商品情報の提供 (例えば、商品のユニークな使い方や生活を便利にする商品等の紹介) | 3. 大型商業施設の設置 |
| 2. 商店数をもっと増やす | 4. 街路灯やカラー舗装などの環境整備 |
| 5. 駐車場・駐輪場の充実 | 6. 閉店時間の延長 |
| 7. 催事やイベントなどの積極実施 | 8. 公共的施設の設置(コミュニティセンター、金融機関等) |
| 9. 交通アクセスの向上(道路整備、踏切の立体交差など) | 10. 空店舗活用の取組を進める |
| 11. その他 () | |

問16 飯能市内の買物施設で、身近にあればよいと思うのは次のうちどのようなものですか。次の中から主なものを2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | | | |
|---------------|----------------|---------|-----------|
| 1. 百貨店 | 2. 商店街 | 3. 小売市場 | 4. 総合スーパー |
| 5. 食品スーパー | 6. ホームセンター | | |
| 7. ディスカウントストア | 8. 郊外型専門店 | | |
| 9. ドラッグストア | 10. コンビニエンスストア | | |
| 11. その他 () | | | |

問17 ドラッグストアは週に何日くらい利用しますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|------------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4~5日 | |
| 3. 週に2~3日 | 4. 週に1日くらい | 5. その他(月に数日程度など) |

--

問18 ドラッグストアではどんな商品を購入していますか。次の中から主なものを2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------|--------------|------------|
| 1. 医薬品 | 2. 化粧品 | 3. 菓子類 |
| 4. 日用雑貨 | 5. 食料品(飲料含む) | 6. その他 () |

問19 コンビニエンスストアは週に何日くらい利用しますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- | | | |
|-----------|------------|------------------|
| 1. ほとんど毎日 | 2. 週に4~5日 | |
| 3. 週に2~3日 | 4. 週に1日くらい | 5. その他(月に数日程度など) |

--

問20 コンビニエンスストアではどんな商品を購入していますか。次の中から主なもの2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 食料品（飲料含む） 2. 菓子類 3. 日用雑貨 4. 雑誌
5. 金融サービス 6. 公共料金等の支払 7. その他（ ）

問21 買物をする店を選ぶ際に、最も重視する要件は何ですか。次の中から主なもの2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 立地条件 2. 駐車場の有無 3. 品揃え 4. 品質
5. 価格設定 6. 接客態度 7. 店の雰囲気 8. 店の清潔感
9. 営業時間 10. その他（ ）

問22 買物で、景気動向や環境問題を意識したことがありますか。次の中から2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 不要不急のものは買わないようにしている
2. 価格や質についてこれまで以上に比較するようになった
3. 安いものがあれば多少遠い店へも出かけるようになった
4. リサイクルに対する関心が高まった
5. エコバックを利用するようになった
6. 意識したことはない
7. その他（ ）

問23 高齢化社会への商店および商店街の取組みについて、何に力を入れるべきだと思いますか。次の中から2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 配達などのサービス強化
2. 少量販売やバラ売りなどの販売方法
3. 陳列方法や値札の大きさなど、店内の改善
4. 道路と店舗の段差解消などの安全対策
5. 高齢者との交流・コミュニケーション機会の提供
6. 移動スーパーの導入
7. その他（ ）

問24 商店および商店街が行うべき環境保全に対する取組みとしては何に力を入れるべきだとお考えですか。次の中から2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

1. 簡易包装の徹底、ビニール袋の自粛、エコバックの推奨
2. 牛乳パック、トレイ、空き缶などの回収
3. リサイクル商品の販売
4. 清掃・美化運動、植樹や鉢植えの設置
5. 放置自転車対策
6. 街路灯などの防犯対策
7. その他（ ）

問 2 5 現在の景気は、過去と比べ、どのように感じますか。該当する番号に1つだけ○をつけてください。

- 1. 収入が増えており、景気は良くなったと実感している。
- 2. 収入は増えていないが、景気は良くなったと感じている。
- 3. 収入は変わらず、景気の変化は感じられない。
- 4. 収入は変わらないが、景気は悪くなったと感じている。
- 5. 収入が減少しており、景気は悪くなったと実感している。
- 6. その他 ()

問 2 6 収入が増加した場合、家庭内で購入したいもの、もしくは使いみちは何ですか。次の中から2つ以内を選び、該当する番号に○をつけてください。

- 1. 自動車（買い換えを含む）
- 2. デジタル放送対応型テレビ
- 3. エアコン・冷蔵庫など家電製品
- 4. パソコン
- 5. デジタルカメラ
- 6. 家具類
- 7. 衣類等身の回り品
- 8. 海外旅行
- 9. 国内旅行
- 10. エステ・リラクゼーション等
- 11. お稽古ごと
- 12. その他 ()

問 2 7 駅周辺の中心部に今後必要だと思うもの、力を入れていったほうがよいと思うことは何ですか。

(例：子育て施設、環境、福祉、地域交流、中心市街地再開発など、自由意見をお書きください)

問 2 8 市内の大型店に地域貢献としてどんなことを期待しますか。

(例：環境、福祉、市民との交流など、自由意見をお書きください)

質問Ⅱ

お宅では、次の表の品物（A 群から E 群の購買品目）を、主にどこにあるお店や商店街でお買い求めになりますか。

また、F 群のような場合には主にどこにあるお店や施設にお出かけになりますか。

次頁の飯能市内買物場所一覧表を参考に、最も多く利用する店舗等の番号を1つだけ回答欄に記入してください。

なお、普段買わない品物については、記入しなくて結構です。

品物一覧（買物品目）		回答欄	
A 群	1	肉・魚・野菜・果物	
	2	一般の飲食料品	
	3	調理済み食品（総菜、弁当等）	
	4	日用・家庭雑貨	
B 群	5	呉服・反物	
	6	寝具	
	7	紳士服・紳士用品雑貨	
	8	婦人服・婦人用品雑貨	
	9	子供服・ベビー服	
	10	下着・肌着	
C 群	11	靴・はきもの	
	12	カバン・ハンドバッグ	
D 群	13	家具・インテリア	
	14	家庭用電気機器(パソコン含む)	
	15	自転車	
E 群	16	時計・カメラ・メガネ	
	17	医薬品・化粧品	
	18	書籍・文具類	
	19	楽器・CD	
	20	玩具（おもちゃ）	
	21	スポーツ用品	
	22	園芸用品・花木・生花	
F 群	23	家族で買物を楽しむ場合	
	24	飲食（外食）を楽しむ場合	
	25	新しい流行を知る場合	
	26	サービス（理美容・旅行会社等）を利用する場合	
	27	病院を利用する場合	
	28	塾・おけいごと等を利用する場合	

区域		店舗番号・名称等	
飯能市内	飯能	1	駅周辺の商店街
		2	西武飯能ペペ
		3	丸広百貨店飯能店
		4	ヤオコー飯能店
		5	高橋ストア
		6	サビア(いなげや)
		7	ビッグ・A 緑町店
		8	ベルク緑町店
		9	島忠エッサン飯能店
		10	セキド飯能店
		11	バイゴー飯能永田店
		12	バイゴー飯能緑町店
		13	ウエルシア薬局飯能柳町店
		14	ウエルパーク飯能稻荷町店
		15	飯能地区のコンビニ
		16	その他飯能地区の商店・店舗
	精明	17	スーパーアルプス(マツモトキヨシ、西松屋、ダイソー)
		18	スーパービバホーム
		19	精明地区のコンビニ
		20	その他精明地区の商店・店舗
	加治	21	ジャパンホームバリュー飯能店
		22	カインズホーム飯能店
		23	加治地区のコンビニ
		24	その他加治地区の商店・店舗
	南高麗	25	バイゴー岩淵店
		26	南高麗地区のコンビニ
		27	その他南高麗地区の商店・店舗
	吾野	28	吾野地区のコンビニ
		29	その他吾野地区の商店・店舗
	東吾野	30	バイゴー東吾野店
		31	東吾野地区のコンビニ
		32	その他東吾野地区の商店・店舗
	原市場	33	エコス原市場店
		34	バイゴー原市場店
		35	原市場地区のコンビニ
		36	その他原市場地区の商店・店舗
	名栗	37	名栗地区の商店・店舗

区域		店舗番号・名称等	
埼玉県内	38	入間市	
	39	狭山市	
	40	所沢市	
	41	日高市	
	42	川越市	
	43	秩父市	
	44	その他県内	
	埼玉県外	45	池袋・新宿など都内
46		青梅市	
47		瑞穂町	
48		武蔵村山	
49		立川・八王子	
50		その他県外	

市街地周辺図



平成19年度 飯能市消費動向調査報告書

駿河台大学	飯能市阿須 698 tel 042-972-1211
飯能信用金庫	飯能市栄町 24-9 tel 042-973-8111
飯能商工会議所	飯能市本町1-7 tel 042-974-3111
飯能市役所	飯能市大字双柳 1-1 tel 042-973-2111